



追手門学院大学  
**笑学研究所年報**

第 5 号



2019 年度  
追手門学院大学笑学研究所

# 目 次

---

## 寄 稿

|                                                     |       |   |
|-----------------------------------------------------|-------|---|
| 「生きることのおかしさ」をめぐる人間学的一試論<br>ー滑稽で、いぶかしくて、すばらしいー ..... | 鳶野 克己 | 1 |
|-----------------------------------------------------|-------|---|

## 活動報告

|                                        |       |    |
|----------------------------------------|-------|----|
| 第3回「思わず笑顔になるコンテスト」について .....           | 真銅 正宏 | 15 |
| 日本笑い学会オープン講座「越境する笑いの力ーユーモアの行動科学」 ..... | 浦 光博  | 23 |
| 日本笑い学会オープン講座「スポーツ場面での笑い」 .....         | 辰本 頼弘 | 25 |
| 落語のような『谷繁』 .....                       | 横田 修  | 27 |

## 研究会報告

|                                          |       |    |
|------------------------------------------|-------|----|
| 〈我流〉を貫く関西の美術家 .....                      | 木村 未来 | 43 |
| 大学生の日常生活の笑いに関する考察 .....                  | 瀬沼 文彰 | 49 |
| 「耳の聞こえない人、オモロイやん！と思わず言っちゃう本」執筆の舞台裏 ..... | 大谷 邦郎 | 53 |

## 共同研究報告書

|                                                                                                |       |    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----|
| 2018 年度特色ある研究<br>「笑いが解るコミュニケーション力アップのためのプログラム（大阪版）」開発研究<br>ー追手門学院大学生の「笑い」に関する意識調査の結果と分析ー ..... | 高垣 伸博 | 61 |
| 2019 年度笑学研究所活動記録 .....                                                                         |       | 97 |
| 2019 年度笑学研究所所員および研究員一覧 .....                                                                   |       | 98 |
| 追手門学院大学笑学研究所規程                                                                                 |       |    |

寄 稿

## 「生きることのおかしさ」をめぐる人間学的一試論 —滑稽で、いぶかしくて、すばらしい—

追手門学院大学笑学研究所客員研究員、立命館大学教授 鷲野 克己

### 1. 身近な笑いの見知らぬ淵辺へ

誰もが笑う。赤ちゃんも笑えば、子どもも笑う。若い人も笑えば、若くない人も笑う。そして男性も笑えば、女性も笑う。すぐに笑う人、よく笑う人、あまり笑わない人、滅多に笑わない人、人によって程度や頻度の違いはあっても、これまで生きてきた中で一度も笑ったことがないという人はまずいないだろう。

また、笑うべきでないと言われる場面で、抑えきれず笑えてきたり、笑っておくほうがよいと思われる状況なのに、顔が強ばりなかなか笑えなかったりもする。いつでもどこでも何にでも笑いの種を見出して容易に笑うことができる人がいる一方で、笑うことへのある種の抵抗やためらいからか、笑うことは苦手であり得意ではないという人もいるだろう。しかしながら、総じて、笑うことは常に悪徳だと断ずる人は少ないだろうし、笑うことは大嫌いという人は稀だろう。そして、笑うことを知らないという人はいないだろう。

毎日の生活を振りかえると、私たちは、時や場所は異なれど、日々何度となく笑顔に出会い笑顔返し、笑い声を上げ笑い声を耳にしていることに改めて気づかされる。ことほどきように、笑いは、私たち人間の生活における、極めて身近で日常的な事象であって、笑うことはまことに馴染み深い慣れ親しい体験であると言えよう。しかし、笑いのもつそうした日常性や親近性は、私たち人間における笑いという事象や笑うという体験の機能や意味の全容が隅々まで自明で単純素朴なものであることを証している訳ではない。

親に「タカイタカイ」と抱き掲げられて赤ちゃんはキャッキヤと笑い、仲の良い友達に脇の下をくすぐられて子どもは身をよじって笑い、先生に褒められて生徒ははにかんで笑う。手品師の見事な演技に感嘆して笑い、漫才師の破天荒なボケと切れの良いツッコミにおなかを抱えて笑い、セーターを前後逆に着ていることを告げられ赤面して笑う。苦勞して取り組んだ仕事を終えて安堵して笑い、久しぶりの同窓会で旧友と肩をたたき合って笑い、上司のいつものギャグにお追従で笑う。微笑、目笑、黙笑、含笑、一笑、巧笑、歛笑、朗笑、放笑、大笑、哄笑、苦笑、失笑、憫笑、嗤笑、冷笑、調笑、嘲笑、窃笑、嬌笑、艶笑……。こうして挙げていけばきりが無いほど、私たちの



生活の中で実に様々な笑いが笑われている。しかも、中には、親しみや懐かしみの情から発する柔らかな笑いと侮りや蔑みの思いから発する棘のある笑いのように、笑う対象に向けられる意図が、明らかに対極的な機能や意味を担うと考えられるものもある。

また、笑いが心身の健康に如何に寄与するかという関心から、医療や看護、教育や福祉などの領域で、その臨床や実践の現場における笑いの効用について、様々な実証的なデータに基づく研究が蓄積されている。さらには、広く社会生活における人間関係やコミュニケーションの問題にかかわる領域でも、諸課題の解決や相互理解の進展にとって笑いがもつ効能や有効性について、様々な形で研究成果が示され、具体的で実行可能ないくつもの実践方法が紹介され提言されもしている。

小論は、心身の健康問題や社会生活上の諸課題への関心から、笑いについての理論的実践的研究に取り組むことの学問的意義や、そこから得られる研究成果に基づく笑いの活用を提言することの社会的価値に異論をはさもうとするものではない。そうした実生活上の「笑いの効能や効用」を解き明かす研究は、笑いへの学問的関心を人々に広く喚起してきた。また笑いの基本的な善さを活かすために磨かれた知恵と工夫の助けを借りて、心身の辛い症状が改善したり、人間関係の悩みが軽減したり、失われた自信が回復したりした人も現に少なくないことだろう。笑いの研究を通じて示された、明るく積極的で前向きな生活を営む上で笑いが大きな力を持っているという知見は、今日、ますます深く広く社会に浸透しつつあると言ってよい。

しかしながら、笑いという現象に魅せられ、笑いへの学問的関心を有する者の一人として、笑いの研究をめぐるこれらの状況を喜びつつも、私は、「笑いの効能や効用」の彼方にあるものに眼差しを注ぎ、笑うことを、私たちの人間としてのあり方、生き方の根本問題として原理的に捉え直す必要があると考える。それは、生活の中で笑われている多種多様な笑いのあり様への驚きから出発しつつ、そうした笑いへの問いを、「人間とは何か」という問いと不可分に問い続け、問い抜こうとする「笑いの人間学」の問題意識に基づいている。「笑う人間とは何か」、「人間にとって笑いとは何か」という基本的な問題意識に立って、今回、「笑う存在」としての人間のあり方、生き方の根底を貫流する「おかしさ」について、ささやかな一試論を提示しておきたい<sup>(1)</sup>。

考察の対象とするのは、私たちが人間としてこの世に生きることの出発点と終着点をなす事象である。具体的には、「生まれてきたこと」、「死んでいくこと」である。それは、今ここにこうして生きていることにかかわって「人間とは何か」を考える上で、最も端的で、厳粛かつ重大な事象ではあっても、一見するところ、「笑い」とは無縁の、おかしくも何ともない事象である。取りあげて議論を始めても、「笑いとうどう結びつくというのだ」、「そののどこがおかしいのだ」といった応答が返ってくるような事象であるとも言える。

だが敢えてこの試論では、これらの事象に胚胎する「おかしさ」に意を注ぎ、人間学的視点からその「おかしさ」の現れと展開のありさまを、丁寧に辿っていく。考察を通じて、「生まれてきたこと」と「死んでいくこと」というとてつもない「おかしさ」を両極に抱え込んでいる「生きることのおかしさ」<sup>(2)</sup>に一層思いを深めることができたなら、ひとまず今回の試論の目的は達せられる。



## 2. 「おかしい」のおかしさ

「生まれてきたこと」と「死んでいくこと」をめぐるおかしさについて論じていく前に、本章ではその準備作業としてまず「おかしい」というやまとことばを取りあげる。「おかしい」という言葉が意味するものの特質を把握することを通して、「生きることそれ自体のおかしさ」を見出すための基本的視点を明らかにしておきたいからである。具体的には、いくつかの辞典における「おかしい」の語義説明の要点を、小論の問題意識に照らして整理していく。

まず、極めて浩瀚詳密な国語辞典である小学館の『日本国語大辞典』から見ていこう。同辞典では、「おかしい」について、大きく三種の語義が示されている。一つ目の語義は、「普通と違って、笑うべきさまである」とされた上で、滑稽なさま、おもしろおかしいという説明に始まり、軽蔑の笑いをおぼえるさま、ばからしいと続き、見ぐるしい、聞きぐるしい、つまらない、つたないという意味にまで及ぶとされる。二つ目は、やはり普通とは違うが、「格別なおもむきがあるさま。賞すべきさまである。魅力のあるさまである」と説明された後、感興をおぼえる、興味深い、風情がある、美しく魅力的である、可愛く愛すべきであるといった語義が並び、さらには、ことばのやりとりなどが上手で趣きがある、気がきいている、人物や態度が立派である、満足であるといった意味が挙げられている。三つ目も、普通でないものにかかわっての語義から説明が始まるが、上の二つとはさらに視点が異なる。すなわち、「普通の状態でないものに対して、いぶかしさや奇異を感じざるさま」とされるのである。そして以下、いぶかしい、怪しげである、変だ、妙だといった意味が列挙されている。

次に、これも同じく浩瀚な古語辞典である角川書店の『角川古語大辞典』における「をかし（おかし）」の語義を見てみる。まず、「をかし」とは、名詞「痴（をこ）」の形容詞化したもので、「可笑（ヲカシ）」の用例を引きつつ、笑うべきさまをいうのが原義であるとした上で、動詞「招（をく）」の形容詞化で、手もとに引き寄せて賞翫する意とする説もあると紹介している。そして、『日本国語大辞典』と同じく、大きく三種類の語義を区別している。すなわち、一つ目は、「笑いを誘うようなさま。おもしろい。滑稽である」と述べられる。二つ目は、「感興をそそられるさま。情趣深い。風景、絵画、音楽、人物の容姿・態度・技能などに対して、微笑を誘うようなもの、興趣を呼び起されるようなものとして、これをほめたたえるのに用いる」と説明される。三つ目は、「笑うべきさまの意から、他人が見れば笑い出すであろうの意に転じて、奇妙な、変わったものをさしている」、さらには「自分のことに関して謙遜している」のにも用いるとされている。

また、最もよく知られる国語辞典の一つである『広辞苑』においても、「おかしい」の語について、まず「笑いを誘われるようなさま」とした上で、「こっけいである。つい笑いたくなる感じである」と説明されている。そして、「変だ。かわっている。いぶかしい。あやしい」といった語義が続き、「粗末である。みすばらしい」という意味にも言い及んでいる。次に、「物事を観照し評価

以上の三種類の辞典における「おかしい」の語義は、その説明の細部に幾分かの見解のずれや力点の置き方の相違がありつつも、基本的本質的な内容はほぼ一致していると言ってよいだろう<sup>(3)</sup>。こうした認識のもとに、「おかしい」の語義に関する上記三辞典の内容を、ここでは以下のようにまとめておく。

(1) 普通とは違うところがあり、笑いたくなるようなさま。笑いを催すような面白さがある。ばかばかしく珍妙だ。滑稽だ。

(2) 普通とは様子や状態が違うことに気づいて、いぶかしく疑わしく感じられるさま。奇異だ。変わっている。変だ。不審だ。疑問だ。怪しい。

(3) 普通とは違う格別の情趣や風情が感じられるさま。見事で心が強く惹かれるさま。すばらしい。美しく魅力的だ。可愛い。興味深い。

今日、私たちが「おかしい」の語から通常思い浮かぶ語義は、(1)の「普通とは違うところがあり、笑いたくなるようなさま」と(2)の「普通とは様子や状態が違うことに気づいて、いぶかしく疑わしく感じられるさま」だろう。要するに、「おかしい」の語は、一般に、「滑稽だ」と「いぶかしい」のどちらかの意味で用いられている。だが留意すべきは、「おかしい」には、本来(3)の「普通とは違う格別の情趣や風情が感じられるさま」、「心惹かれて興味深い、すばらしい、魅力的だ、可愛い」などと言い表される語義が歴然と存在することである。日常生活における用法では今日もはや稀となってしまったが、古語「をかし」では、この「心惹かれる、魅力的だ」といった(3)の語義は確たる位置を占めていたのである。

— 4 —



つけば私たちは、頬が緩み口許が綻んでいる。その頬の緩みや口許の綻びは、「滑稽さ」と「いぶかしさ」としての「おかしさ」が、「すばらしさ」としての「おかしさ」と結びつく中で、自ずと立ち現れてきたものだとは言えないだろうか。

また、このような分析視点に立つとき、私たちは、通常、そのままでは笑いを催す「おかしさ」とは捉えられないように思われがちで、「いぶかしく怪しげなもの」に面した「おかしさ」の感覚においても、往々にしてある種の濃密な笑いの表情を浮かべつつあると見ることができるのではない。すなわち、「どうも怪しいぞ」と言いながら、私たちは改めて対象を凝視しつつ笑うのである。もとよりその笑いは、素朴な快や単純な心地よさからくる直截的なものではない。見出された「いぶかしさ」や「怪しさ」を通じて対象の新たな面が出現することへの期待と懸念が複雑に混淆した感覚によってもたらされた襲深い笑いである。

このように「おかしい」における笑いは、専ら「滑稽な面白さ」に面してのみ現れるというのではなく、その根底に、「奇妙ないぶかしさ」や「魅力的なすばらしさ」に感応する笑いが湛えられている。「おかしい」とは、極めて複合的で重層的な、しかし同時に人間として生きることによって、最も根源的な感覚の一つであると言えることができる。

「おかしい」をめぐる以上の準備的考察を踏まえて、次章以降私たちが人間として生きることの根幹に横たわる「おかしさ」へと考察を進めていく。

### 3. 生まれてきたことのおかしさ

まず、この世における私たち一人一人の誕生の出来事を取りあげよう。子どもが親に次のように問いかけることを想定してみる。

「おかあちゃんは、なんでわたし（ぼく）のこと産んだん？」

これに対する親の応答として、試みに以下の三つを掲げ、それらを手がかりにして「生まれてきたことのおかしさ」について考えてみる。

- ①「あんたが欲しかったから」
- ②「子どもが欲しかったんや」
- ③「なんでやろなあ、ようわからん、おかしいなあ」

①の「あんたが欲しかったから」は、常識的には、尋ねた子どもの心情を慮った最も模範的な応答とも言えようが、容赦なく見れば、この応答にはある種の欺瞞性が潜んでいることが明らかであ

②の「子どもが欲しかったんや」は、少なからぬ親たちにとって、真情に近い物言いではなからうか。親としては、特段この子が欲しいと選んだ訳ではないが、子をなすこと自体は通常選べるからである。そして、②は①に比べて、よりツッコミしやすい応答でもある。当然ながら子どもからは、例えば次のようなツッコミの矢が放たれるだろう。「ほな、別にわたし（ぼく）やのうてもかまへんかったんちゃうのん。自分の子どもやったら、生まれるのは誰でもよかったんちゃうのん」。この放たれた矢の威力は相当なもので、何とか誠実であろうとする親は、「いやいや、そんなことはあらへん。誰でもええことなんか絶対あらへん。あんたやないとあかん。やっぱりあんたが生まれてきて欲しかった」と懸命に弁明もすることだろう。

ところが、「わたし（ぼく）やのうてもかまへんかったんちゃうのん」という子どもからの問い質しには、③の「なんでやろなあ、よおわからん、おかしいなあ」に通じるもう一つの応答も可能なのである。すなわち、「そやなあ、そう言われれば、別にあんたやのうてもよかったんやなあ、別に誰でもよかったんかもしれんなあ」という応答である。これは、通常の教育や福祉の立場からすれば、あってはならない、最悪の応答である。「なぜ自分を産んだのか」という子どもの問いは、子どもの自己形成や親との関係の根本にかかわる切実で重大な問いであるとされるからである。この問いに対する、こうしたいわば身も蓋もない応答に対しても、子どもは「なにを無責任なこと言うてんのん、なんちゅう親や、かわいそうな子どもの顔が見てみたいわ、あ、それはわたし（ぼく）か」とボケ混じりのツッコミで返すことはできる。そしてこのツッコミに対して、「誰でもよかったというか、誰がええとかこの子が欲しいとか選べへんのが親や」と親が応じるなら、子どもはおそらく、「子どもかて、親を選べへんわ」とでも返すことになるのだろう。

— 6 —



きたのかは、畢竟全くもって定かではない。親もまた自分の親（子どもから見れば祖父母）から生まれたことに間違いはないだろう。だが、その自分の親から生まれるのが、なぜ他でもないこの自分であらねばならなかったのかという根拠を問うても、どんな親も、自分の親からその説明を得ることはできない。親もまた、自分の親から生まれるのは「別に殊更自分でなくてもよかった」のである。「なぜ自分を産んだのか」という子どもの親からの問いに、子どもの親の親が答えられないのと同じく、子どもの親もまた、自分の子どもからのこの問いに答える術を持たない。

「別にあんたやのうてもよかったんやなあ、別に誰でもよかったんかもしれんなあ」という親からの応答に面して、先程は、「子どもかて、親を選べへん」と言い返す子どもを想定したが、強く反発し激しく嘆く子どもも少なくないだろう。やはり、この応答はとんでもない、許されない応答だろうか。小論は、そうではないと考える。なぜなら、この応答に続けて親は次のように語ることができるからである。すなわち、「確かに誰でもよかったのに、どういう訳か、あんたが生まれてきた。たまたまあんたやったというだけや。ほんまに全然あんたやのうてもよかったのに。こっちが逆に訊きたいわ。なんであんたなん。けどな、これだけは、ほんまや。世界中の人が、あんたのことを大外れやていうても、わたしにとっては、正真正銘の大当たり。下調べして品定めして選んだわけやない。えいとばかりに引いたらたまたま大当たりのあんたやった。大当たりのあんたはたまたまやってきた。たまたまほだめでたいことはない。ほんまにめでたい」。

親からこう言われて、「なんで自分を産んだのか」という問いの鉾を子どもが収めるとは限らないだろう。しかし少なくとも、自分がこの世に生まれてきたことの根拠を親に質しても親は答えられないこと、またその答えられないということは親の咎では毛頭ないこと、さらには、そうした自身で選んだわけではない目の前の子を大当たりとして喜んで受け入れる親という人間がこの世に存在することの意味を改めて問い直す可能性に、その子は開かれるのではないか。そしてその問い直しを通じて、自分が人間として生まれてきたことの不思議さに気づき目覚めうるのではないか。

こうした文脈において考えるとき、③の「なんでやろなあ、よおわからん、おかしいなあ」は、一見投げやりで粗野な応答のように映るが、そこには、私たちが人間として生まれてきたことの深い謎の奥底に触れる感覚が息づいている。私たちは、自分が何故この世に生まれてきたのか、よくわからないのである。ましてや自分の子どもが何故他の誰でもなくこの子だったのか、わかるはずもない。わからないまま、それでも子どもをなした。人間はそうに営々と「何故」と自問し、営々と「わからない」と自答を繰り返しながら、生まれ続け、産み続けてきた。

子どもが、「なんで自分を産んだのか」という問いに対する確答を求めるなら、「なんでやろなあ、よおわからん、おかしいなあ」という親の応答に面して、その子はあるいは落胆し失望することだろう。しかし、上に触れた問い直す営みへとその子が開かれるなら、この「わからない」という応答に面することは、むしろその子にとって、人間として生まれてきたことの根源的な「おかしさ」の感覚に触れる出来事である。すなわち、その「おかしさ」とは、自分の生まれてきたことについて「何故」と問うてしまう人間という生き物は滑稽であり、いくら問うても生まれてきたこと



はいぶかしく怪しいのだが、それはいぶかしく怪しいままで、いやいぶかしく怪しいからこそ、すばらしくて魅力的だという感覚である。

「なんでやろなあ、よわからん、おかしいなあ」といいながら、親は間違いなく笑っている。そしてきっと、「ほんま、しゃあない親やなあ」といいながら子どもも笑う。こうしてひとしきり笑い合った後、「ほな、ご飯にしようか」。

#### 4. 死んでいくことのおかしさ

上に見たように、私たちは、自分がこの世に生を享けたことの根拠を親に問い質しても、決して答えを得ることはできない。私たちの誰もが、生まれてくるのが私でなければならないという「故もなく」「根拠もなく」生まれてきたのだが、その「故のなさ」と「根拠のなさ」は深く省みれば、なんとも「滑稽」で、考えれば考えるほど「いぶかしく」て、そしてしみじみと「すばらしい」のであった。「生まれてきたこと」は、このように如何ともし難く「おかしい」のである。さてこうした生まれてきたことのおかしさを否応なく抱え込んで生きる私たちはまた、例外なく死んでいかねばならない。享けたいのちは有限である。

死についての人間学的思索は永く深い伝統を持っているが、ここはその伝統の全容を考察の対象とする場ではない。「死んでいくこと」に向けられる一つの象徴的問いかけを取りあげ、それに対する応答の試みを三種類想定し、その問いかけと応答をめぐるおかしさの意味について考察していく。

「なあ、人間で死んだらどうなんの？」

①「あの世へいくんや、あの世でまたみんなに会えるんや」

②「生まれてきたもんは、死ぬ、消える、なくなる、それだけのことや、虫も死ぬ、鳥も死ぬ、獣も死ぬ、寿命ちゅうもんや、寿命」

③「みんな死んでいったけど、こっちへ帰って来た人はおらんから聞けへん、どうなんのかなあ、わからんなあ」

①の「あの世へいくんや、あの世でまたみんなに会えるんや」という応答は、私たちにとって馴染み深いものの一つだろう。「死んだらどうなる？」と問いかける人の不安や怯えを慮り、できる限りそれを和らげようとする姿勢から発せられる応答である。「あの世でまた会える」、「あの世でゆっくり休める」といった言葉に接すると、私たちは例えば身近な人の臨終に際しての辛さや苦しさ、寂しさや悲しさから、少しは救われる心地がすることだろう。

だが実のところ、この單刀直入さは、「死んだらどうなるん?」という問いに込められた心情を蔑ろにしようとするものでは決してなく、上に触れたように、むしろ人間が生きているということによって「死んでいくこと」が、理を尽くしたどのような説明によっても収まりがつかないほど度し難い「いぶかしさ」を伴う「おかしい」事象であることの痛切な実感に基づいている。「誕生が構造的に死を胚胎している」という事実の自明性と、その事実が人間にとって意味するものの「い

そして、この応答は、さらに次のような「おかしい」表現へと展開されうるだろう。「わからんけど、こんだけ次から次へといっぱい死んでいくのに、いっぺん死んだら誰も帰ってこんところを見ると、死んだらよっぽどええとこへいくんやろうなあ」。ここには、私たちが人間として生きていく中で折に触れ立ち現われ立ちはだかり、最後は例外なく襲いかかる「死んでいくこと」という闇に満ちた謎を前にして、私たちに恵まれた「おかしさ」を見出す感覚が際だって優れた形で表れている。この表現を得て、「死んでいくこと」をめぐる「おかしさ」は、「すばらしくて、魅力的なさま」としての「おかしさ」となる。もはや「サゲ」は決まった。「私も、いっぺんだけ死んでみたい」。

この私が、こうしてこの世に「生まれてきたこと」の根拠や理由をいくら親に問い質しても、親は答えを持っていない。もちろん私自身もその答えを持っていない。生まれたのがなぜこの親の許でなのか、なぜこの国なのか、なぜこの時代なのか、そもそも、生まれたのがなぜこの私なのか。それは永久にわからない。「生まれてきたこと」は、かくも「怪しく、いぶかしい（おかしい）」のである。私たちはみな、この「いぶかしさ」を生捩抱え込んで生きていく。

一方でまた、私たちはみな、生まれてきたこの世における人生を、いつとは断言できないが必ず到来する最期の日まで、営々と歩み続ける。そして歩む人生のそれぞれの段階で、様々な目標を持ち計画を立てる。日々の生活の中で、様々な課題を引き受け役割を担う。仕事に取り組み余暇を楽しむ。いろいろな人とかわり、世話し世話され、育て育てられ、励まし励まされ、支え支えられ、愛し愛され、去り去られ、看取り看取られ、生きていく。「生まれてきたこと」と「死んでいくこと」の根本的な「いぶかしさ」は微塵も変わらず、依然として答えはないのに、日々の生活におけるこれらの具体的な諸事象の成否や顛末に一喜一憂する。こうした私たちの人間としてのあり方それ自体が、やはり圧倒的に「滑稽だ（おかしい）」と言わざるを得ない。

この「訳わからんなあ」という「ぼやき」は、生死全体を貫く「いぶかしさ」と「滑稽さ」のあ



りさまに向けられる非難や異議でも、怒りや恨みでも決してない。それは、根本的な「いぶかしさ」のまま、人生の諸事に一喜一憂する「滑稽さ」を生きる他はないという実感からわき上がる「生きることのおかしさ」の感覚の、最期で最高の「すばらしくて、魅力的な（おかしい）」表現である。そんな「ぼやき」を手本として、人生における事ある毎に「訳わからんなあ」とぼやいてみせるという生き方をさらに夢想してみる。その生き方は、「なぜ生まれてきたのか」、「なぜ生きるのか」、「なぜ死んでいくのか」、「なぜこのようになったのか」、「なぜあのようにならないのか」と苦く渋い顔でぼやきまくるのだが、解答や解決を求めない。もとより解答や解決などないからである。解答や解決のないまま「訳わからんなあ」と口にし続けることは、それ自体また「滑稽」なのだが、「ぼやき」は、自身のそうした「滑稽さ」を知りつつ、なおもぼやくのである。

このように見るとき、「訳わからんなあ」とぼやくことは、「生まれてきたこと」と「死んでいくこと」にはさまれた人生における、如何ともし難い「いぶかしさ」と「滑稽さ」の痛切な自覚を通して、「生きることのおかしさ」そのものをむしろ深くいとおしみ、いつくしむことであるように思われる<sup>(4)</sup>。それ故、「ぼやく」人は、苦く渋い顔をしながら笑っている。そして、その「ぼやき」を聞く人もまた、「ぼやく」人の苦く渋い顔の意味するところに、自身の人生の歩みを重ね合わせながらやはり笑う。

「生きること」は一生ぼやき続けられるほど「おかしい」のである。

#### 注

- (1) 「笑いの効能や効用」に関する研究文献や研究資料は夥しい数に上り、ここに適切に紹介することはほぼ不可能である。また「人間学の問題意識」に限定した一試論としての小論の趣旨に鑑みても、必ずしもその必要はないと考える。とはいえ、「笑いの効能や効用」という関心からの研究を含め、日本における笑い学の現在を概観する学術誌として、笑いに関する我が国随一の専門学会である「日本笑い学会」（1994年設立）の発行する『笑い学研究』の名はやはり挙げておかねばならない。年刊であり、2020年1月現在26号を数えるに至る。また、笑いの人間学的研究の基礎を学ぶ上で有益な入門的日本語文献も少なくはないが、ここではさしあたり、日本笑い学会にもかわりの深い3人の研究者の該当書（井上2004、織田2013、森下2003）を注に挙げておくに留める。
- (2) 「生きることのおかしさ」という人間学の問題意識に関わって思い起こされるのは、落語を通じて、笑いの極限を見つめようとし続けた不世出の噺家桂枝雀（2006）の残した、「SR（Short Rakugo）」と名付けられる、なんとも「おかしい」小品群である。今回は主題的に取りあげて論じることができなかった。準備を整えて他日を期したい。
- (3) 辞書の語義というより、臨床心理学的・精神分析学的観点からの分析と解釈というべきものなのでここでは取りあげなかったが、北山修監修・妙木浩之編『日常臨床語辞典』における項目「おかしい」（北山2006）および「笑い」（浅田2006）の記述内容は、小論の人間学の問題意識と部分的に関連し合う側面を持っている。
- (4) この「いとおしみ」や「いつくしみ」の論点は、私にとって「笑いの人間学」と並ぶ最も中心的研究テーマである「かなしみの人間学」と密接なつながりを持っている。その「かなしみ」とは「悲しみ・哀しみ・愛しみ」であり、小論で論じてきた生きることをめぐる「おかしさ」の感覚は、その最も根底において、生きることにおける不可避的な「かなしみ」の感覚と響き合っている。そういった観点から文献欄に挙げた「かなしみ」に関する私の人間学的研究（鳶野2012、2017a、2017b、2020）を参照願えれば幸いである。ま



た、これまで私が公にしてきた「笑い」に関する人間学的論考の中で、小論と密接に関連する最も新しいものは「笑いと「この世ならざるとどこか」」(鳶野 2019)である。併せて参照願えば有難い。

#### 文献

- 浅田由美子 2006 「笑い」北山修監修・妙木浩之編『日常臨床語辞典』誠信書房
- 井上宏 2004 『笑い学のすすめ』世界思想社
- 織田正吉 2013 『笑いのこころ ユーモアのセンス』岩波書店
- 桂枝雀 2006 『上方落語 桂枝雀爆笑コレクション2 ふしぎななあ』筑摩書房
- 北山修 2006 「おかしい」北山修監修・妙木浩之編『日常臨床語辞典』誠信書房
- 新村出編 2018 『広辞苑(第7版)』岩波書店
- 鳶野克己 2012 「「生きることのかなしみ」という力 -かなしみの教育人間学に向けて-」田中毎実編『教育人間学 -臨床と超越-』東京大学出版会
- 鳶野克己 2017a 「「生きることのかなしみ」再考」教育哲学会編『教育哲学研究』115号
- 鳶野克己 2017b 「「いのち」をかなしむ -道德教育の基盤への一視点-」田中耕治編『道德教育(教職教養講座第6巻)』協同出版
- 鳶野克己 2019 「笑いと「この世ならざるとどこか」」日本笑い学会編『笑い学研究』26号
- 鳶野克己 2020 「「生きることのかなしみ」に目覚める -教育人間学は教育の本質をどのように語るか-」全国私立大学教職課程協会編集委員会編『教師教育研究』32号 東信堂
- 中村幸彦・岡見正雄・阪倉篤義編 1999 『角川古語大辞典』第5巻 角川書店
- 日本大辞典刊行会編 1973 『日本国語大辞典』第3巻 小学館
- 森下伸也 2003 『もっと笑うためのユーモア学入門』新曜社



## 第3回「思わず笑顔になるコンテスト」について

追手門学院大学笑学研究所所員、副学長 真銅 正宏

2019年度、第3回「思わず笑顔になるコンテスト」が催されました。第2回の内容を踏襲し「作文・エッセイの部」「つぶやき」「写真の部」の三部に分け、読む人、見る人の「笑顔」を募集しました。概要は、資料1に掲げた、募集のチラシのとおりです。

その結果、資料2に掲げました「応募総数」のとおり、本年度は、合計6580作品（昨年度8356作品）の応募で、昨年よりは減少しましたが、質の高い作品が多く集まりました。

今年度も、本学のライティングセンターおよび当笑学研究所の全面的な協力体制の下、図書館を中心に、厳正な審査が行われました。いずれもご多忙のなかでの献身的なご尽力でした。厳しい審査、ではありますが、対象が対象ですので、笑いも絶えない、和やかな審査会議により、受賞作品が決定されました。

名誉審査委員長には、昨年同様、本学4期卒業生で、通天閣観光（株）会長となられた西上雅章氏、名誉顧問には、これも昨年同様、笑学研究所設立にご尽力された、前学長の坂井東洋男氏に引き続きご就任いただいております。お二人は、我が笑学研究所の特別顧問でもあります。

最終審査結果は、資料3「受賞者一覧」のとおりです。表彰式は、2020年2月8日（土）13時から15時までの予定で、これも例年同様、通天閣のSTUDIO 210にて開催されます。なお、資料4には、表彰式のプレスリリースを掲げています。

「思わず笑顔になるコンテスト」は、追手門学院大学の笑いをめぐる活動の重要な一つです。応募作品の詳しい紹介等もございますので、多くの方々が、2月8日には通天閣にお運びくださり、「思わず笑顔にな」っていただくことを願っております。

2020年1月11日



追手門学院大学 通天閣観光係

たくさんの  
「笑顔作品」を  
募集します

第3回 思わず笑顔になるコンテスト

募集作品 作文・エッセイ／つぶやき／笑顔になる写真

募集期間 2019年9月30日まで

スマホ  
からでも  
簡単応募！

追大と企業がプロデュースする  
文章と写真のコンテストです。

主催： 追手門学院大学 共催： 通天閣

後援： HITACHI FUJITSU TAMURAOKAMA

追手門学院校友会山桜会 追手門学院大学校友会

主催：追手門学院大学 共催：通天閣観光株式会社  
後援：株式会社日立製作所、富士通株式会社、田村製作株式会社、追手門学院校友会山桜会、追手門学院大学校友会

資料 1-1 【チラシ1面】 第3回思わず笑顔になるコンテスト



## 第2回 最優秀作品賞受賞作品

### ひいおじいちゃんへの手紙

私と「ひいおじいちゃん」の年の差は八十三歳。たった一人のひ孫として、生まれたときからとても可愛がってくれました。一年一年、できることが増えていく私に比べ、ひいおじいちゃんは一年一年できることが少なくなっています。私は幼いながらも、可愛がってもらった恩返しに「お世話」を精一杯しました。

でも、私が小学二年生のときに、悲しい別れがやってきました。「明日もまた来るから待つてね。」そう言った翌日、ひいおじいちゃんは、私たちの到着後、顔を見たらすぐに安心したように亡くなりました。

それから毎日法要が続きました。お坊さんの説教の中に、私の心に響いたことがあります。「おじい様は現世を離れ、左も右もわからない状態で日々修業をしながら仏様の元へ向かっています。」

それを聞いた私は、ひいおじいちゃんに手紙を書く事になりました。

「ひいおじいちゃん、ぺんぎんががんばってね。はやく右と左がわかるといいね。えんぴつをもつほうが右だよ。かぞくはみんな右ききだよ。はやくおぼえてね。」

今では笑い話になった、「ひいおじいちゃんへのお世話」のお話です。

### 『おなかの中にいた私はどう思っていたのか』

私が産まれる前のことだ。

母はおなかの中の私をビデオテープで撮り、祖父の家にそのテープを持っていったらしい。

しかし、母はその日祖父の家にテープを置いて帰ってしまいい次の日、テープを取り映像を見ると、

おなかの中の私の映像は、火曜サスペンスに書き送られていた。

### 【写真の部】



山口 紀子  
（昭和・東京都）

爆笑

夕食の支度中

ハブリカを半分に切ったら

爆笑しているように見えた

ので撮影した

資料 1-2 【チラシ 2 面】 前年度受賞作品



## 第3回 思わず笑顔になるコンテスト

募集要項

**テーマ** ➡ 「読めば 見れば みんながしあわせになる」  
(楽しいこと・ほほえましいこと・ユーモアあふれること など)

**募集作品** ➡

1. 作文・エッセイ: 原稿用紙400～600字以内
2. つぶやき: 140字以内
3. 笑顔になる写真  
(笑顔になれる一言をそえてください) 140字以内

※ホームページにて各府県教育委員会(各都道府県)がダウンロードできます。

※応募者のプライバシーの作品に載ります。

※応募作品は返却いたしません。

**対象** ➡

小学生  
中学生  
高校生  
大学生(短大生・専門学校生 などを含む)  
一般

**募集期間** ➡

2019年9月30日まで

**応募方法** (笑顔になる写真はPCからスマホまで応募ください)

PC : <https://www.cole-otemon.ac.jp/egao/> (応募フォーム)

スマホ : 専用のQRコードから応募フォームにアクセスできます。

郵送/FAX : 応募用紙(ホームページにも掲載)に必要事項記入し、下記までご郵送ください。

E-mail : メールから作品と応募用紙に添付されている応募票(応募用紙)までご郵送ください。

**応募/お問い合わせ**

近畿門学院大学図書館  
思わず笑顔になるコンテスト係

〒567-8502 大阪府東大阪市西宮城2丁目1番15号  
TEL: 072-641-9636 FAX: 072-643-9786  
E-mail: [egao@otemon.ac.jp](mailto:egao@otemon.ac.jp)  
<https://www.cole-otemon.ac.jp/egao/>

**賞**

**最優秀作品賞** 賞状、および副賞(5万円相当)、後援企業からの副賞

**優秀作品賞** 賞状、および副賞(2万円相当)、後援企業からの副賞

**進歩賞** 賞状、および副賞(1万5千円相当)、後援企業からの副賞

**審査員特別作品賞** 賞状、および副賞(1万円相当)

**佳作** 賞状、および副賞(5千円相当)

**名誉審査委員長** 西上健幸 (進歩賞審査員(株)代表取締役社長: 本学4期生)

**名誉顧問** 坂井晃洋男 (本学初学級)

**審査員** 本学小・中・高・大学教員 など

**審査結果発表** 2019年12月中旬  
思わず笑顔になるコンテストのホームページ上で行うとともに、入賞者へ通知いたします

**表彰式** 2020年2月8日(土) 大阪通天閣STUDIO210(つうてん)

成人年齢の取り扱いについて  
は募集の趣意等に基づきましては厳格に管理をします。応募者で年齢が18歳未満の応募者がある場合は、応募者の個人情報保護に配慮し、電子・ホームページ上などでは公表せず

資料 1-3 【チラシ3面】募集要項

資料 1-4 【チラシ 4 面】応募用紙



## 第3回 思わず笑顔になるコンテスト

応募総数 第3回 : 6,580 作品

### つぶやき

|              | 第1回   | 第2回   | 第3回   |
|--------------|-------|-------|-------|
| 小学校          | 22    | 143   | 647   |
| 中学校          | 334   | 664   | 879   |
| 高等学校         | 1,609 | 1,541 | 1,539 |
| 大学・大学院・短大・専門 | 405   | 266   | 311   |
| 一般           | 1,043 | 1,005 | 119   |
| 合計           | 3,413 | 3,619 | 3,495 |

### 作文・エッセイ

|              | 第1回   | 第2回   | 第3回   |
|--------------|-------|-------|-------|
| 小学校          | 935   | 855   | 413   |
| 中学校          | 1,230 | 960   | 1,055 |
| 高等学校         | 2,094 | 1,994 | 653   |
| 大学・大学院・短大・専門 | 66    | 56    | 93    |
| 一般           | 153   | 118   | 108   |
| 合計           | 4,478 | 3,983 | 2,322 |

### 写真

|    | 第2回 | 第3回 |
|----|-----|-----|
| 合計 | 754 | 763 |

資料2 第3回応募総数



「第3回 思わず笑顔になるコンテスト」受賞者一覧

【つぶやきの部】

|          | 氏名    | 学校名             |
|----------|-------|-----------------|
| 最優秀作品賞   | 石川 花恵 | 防府市立桑山中学校 2年    |
| 優秀作品賞    | 末澤 晴夏 | 追手門学院小学校 2年     |
| 進天賞      | 酒井 理桜 | 追手門学院小学校 6年     |
| 審査員特別作品賞 | 富田 潤  | 長崎県立長崎明誠高等学校 1年 |
|          | 寺園 翼  | 追手門学院大学心理学部 3年  |
| 佳作       | 山名 大喜 | 熊本市立必由館高等学校 2年  |
|          | 矢野 愛佳 | 長崎女子高等学校 2年     |
|          | 中島 琴音 | 北海道三笠高等学校 2年    |
|          | 前園 麻美 | 新大阪歯科衛生士専門学校 3年 |
|          | 大石 直美 | 一般・福岡県          |

10名

【作文・エッセイの部】

|          | 氏名     | 学校名             |
|----------|--------|-----------------|
| 最優秀作品賞   | 吉川 葉乃花 | 追手門学院小学校 3年     |
| 優秀作品賞    | 人見 真衣子 | 新大阪歯科衛生士専門学校 1年 |
| 進天賞      | 戸部 義延  | 一般・群馬県          |
| 審査員特別作品賞 | 西村 真夢  | 神戸市立葦合中学校 2年    |
|          | 松田 良弘  | 一般・大阪府          |
| 佳作       | 来島 昊   | 追手門学院小学校 4年     |
|          | 宇澤 達暁  | 臼杵市立南中学校 1年     |
|          | 石川 優菜  | 清水国際高等学校 2年     |
|          | 小松 佳奈  | 岩手県立北上翔南高等学校 3年 |
|          | 森根 瑞喜  | 沖縄県立琉陽高等学校 2年   |

10名

【写真の部】

|          | 氏名     | 学校名          |
|----------|--------|--------------|
| 最優秀作品賞   | 川島 綾夏  | 川口市立高等学校 2年  |
| 優秀作品賞    | 伊神 もも子 | 一般・大阪府       |
| 進天賞      | 大西 岳彦  | 一般・千葉県       |
| 審査員特別作品賞 | 法隆 直史  | 一般・埼玉県       |
|          | 本村 税   | 一般・沖縄県       |
| 佳作       | 有馬 広海  | 一般・福岡県       |
|          | 大堂 詩織  | 伊丹市立伊丹小学校 3年 |
|          | 加藤 良子  | 一般・兵庫県       |
|          | 西村 理沙  | 一般・京都府       |

9名

受賞者合計 29名

資料3 受賞者一覧



報道機関各位



学校法人  
**追手門学院**

〒567-0008 大阪府茨木市西安曇 2-1-15 URL: <http://www.otemongaku.ac.jp/>

プレスリリース No.56

2020年1月22日配信

## 笑顔になる作文、つぶやき、写真が6580点 通天閣で思わず笑顔になるコンテスト表彰式開催

全国で初めて「笑い」をテーマとして運営する笑学研究のある追手門学院大学（大阪府茨木市・学長 田原俊明）は、2月8日に「思わず笑顔になるコンテスト」の表彰式を大阪・通天閣で開催しました。

これは学校法人追手門学院創立130周年記念事業の一つとして2017年度から開催しているもので、「笑いは健康になんがとあわせになる」をテーマに、昨年の9月30日まで、全国の小学生以上を対象に1400名～2000名以内の作文・エッセイと2140字以内のつぶやき、それに40字以内のひとことを出して笑顔になる写真の募集を行いました。

応募総数は6,580作品。このうち①作文・エッセイの部では3,422作品から10作品、②つぶやきの部では3,495作品から10作品、③写真の部では763作品から9作品が入賞し、最優秀作品賞をはじめ、優秀作品賞、通天閣にちなんだ通天閣賞を選定しました。

表彰式では本学の田原俊明理事・学長から表彰状授与を行い、受賞作品の朗読も行ないます。本学1期卒業生で、通天閣観光株式会社の上西雅章会長と笑学研究の特別顧問で行る阪井重洋財団学長からの講話もあります。



作品募集時のチラシ

### 【ポイント】

- 笑学研究のある追手門学院大学が「思わず笑顔になるコンテスト」の表彰式を開催
- 応募総数 6,580 作品
- 大阪の観光名所・通天閣との共催。ビリケン（追手門学院大学笑学研究名誉所長）

### 【表彰式開催概要】

日 時 2020年2月8日（土）13時～15時  
会 場 通天閣 STUDIO10210（大阪府浪速区恵美須東1-18-6）  
賞 最優秀作品賞、優秀作品賞、通天閣賞、審査員特別作品賞、佳作の計29作品  
参 加 者 受賞者、通天閣観光株式会社上西雅章会長、追手門学院関係者  
後援企業 株式会社日立製作所、富士通株式会社、田村駒株式会社

この資料の配付先：北摂記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立

資料4 プレスリリース（2019.1.22 配信）

## 日本笑い学会オープン講座 「越境する笑いのカーユーモアの行動科学」

追手門学院大学笑学研究所所員、心理学部教授 浦 光博

このオープン講座は、日本笑い学会がほぼひと月に一度ずつ大阪で開催しているものである。2019年第2回のオープン講座「越境する笑いのカーユーモアの行動科学」は2月10日に関西大学梅田キャンパスで開催され、所員の浦 光博が担当した。その内容は以下のようなものである。

「大統領、最近耳が聞こえにくくなったというわさがありますが、いかがですか」

これは、アメリカ合衆国第40代大統領ロナルド・レーガン（任期：1967年～1975年）に対してある記者が投げかけた質問である。ハリウッド俳優からカリフォルニア州知事を経て合衆国大統領まで上り詰めたレーガンは、レーガノミクスと呼ばれる強力な経済政策によって不景気にあえいでいたアメリカ経済を劇的に改善させたことで有名である。一方で、その経済政策は結果的に「双子の赤字」と呼ばれる大幅な赤字を生み出す結果となったこともあって、批判にさらされることも多かった。レーガンはまた、歴代2番目の高齢で選出された大統領であり（着任時、69歳349日）、そのこともまた一部からの批判にさらされていた。

ある記者会見で、レーガンに批判的な立場にあると思われる記者が冒頭の質問を投げかけた。高齢であることを揶揄することが目的だったのだろう。

会見場に緊張が走る。しかしこのとき、レーガンは耳の後ろに手を当ててこう聞き返した。

「えっ、よく聞こえなかったのだけど、もう一度言ってくれないか」

会見場は一瞬の静寂の後、大きな笑いに包まれた。記者からのおしつけない質問に対して怒ることもできただろうし、無視することもできただろう。しかしレーガンはそうしなかった。その質問に対して絶妙なユーモアで切り返し、会見場の緊張を一瞬にして解いたのである。その後記者会見がスムーズに進んだことは言うまでもない。

笑いやユーモアにはこのような力がある。このようなというのは、立場の違いや対立による対人間の緊張を解き、互いに気持ちよく相互作用ができるようにする力である。私たちはユーモアや笑いの持つこのような力を「越境する力」と呼んでいる。

大阪は歴史的に「商都」であると同時に「笑都」であるとも言われている。実際、大阪をはじめとする関西は今でも笑いのメッカとして知られている。これは、古くから商取引が活発に行われて



いた大阪で、売り手と買い手という時として利害の対立しがちな当事者同士が、その利害の境界を越えてスムーズに交渉を進めるための仕掛けとして笑いやユーモアを利用してきたことの表れであると考えられている。ここにも、越境する笑いの力の存在が見て取れる。

私たち笑学研究所の活動も、この越境する笑いの力を意識したものである。2018年3月12日(月)に開催した「生涯と笑いー笑って、知って、理解して」(於:茨木市男女共生センター ローズ WAM)では、発達障害を持つ当事者がメンバーとなっているコント集団「エムズトリック」が「発達障害にまつわるエトセトラ」と題するコントを披露した。見えない障害と言われることの多い発達障害を持つ者には独特の行動パターンがあり、それは時として周囲の人びとに笑いをもたらすものになる。しかしそれを当事者以外の者がコントとして披露することは憚られる。エムズトリックはあえて当事者である自分たちがコントとして披露することで、観客の笑いを誘いつつ、彼女らの日常生活上の困難がどのようなものかについて理解を促そうとしているのである。ここにも、障害を持つ者と持たない者の間の境界を超える笑いの力を見ることができる。

行動科学の研究結果もまた、越境する笑いの力を具体的に示している。たとえばある研究では次のような結果が報告されている。街角で見知らぬ人に調査協力を依頼する際、依頼者が笑顔で近づいた場合には50.4%の人が笑顔を返したのに対して、無表情で近づいた場合には33.3%しか笑顔を返さなかった。さらに、笑顔になった人たちのうち31%の人びとが調査に応じてくれたのに対して、笑顔にならなかった人のうち協力依頼に応じた人は23%にとどまった。自分の笑顔が他者の笑顔を生み、それが協力的な関係性の構築につながるということである。このように、笑いには見知らぬ人同士の間にある目に見えない境界を越えさせる力を持っている。

越境する笑いの力についての教育と研究の推進は、建設的な関係性の構築に寄与するところが大いと言える。

## 日本笑い学会オープン講座 「スポーツ場面での笑い」 (関西大学梅田キャンパス 2019. 11. 10. 日)

追手門学院大学笑学研究所所員、社会学部教授 辰本 頼弘

オープン講座では、講演タイトルに興味ある一般の方（特に中高年の方）や笑い学会所属の方が参加され熱心に聴いていただきました。また講演後も多くの方と活発な質疑応答を交換し盛況に講演会は終了しました。

講演の要旨は以下の通りです。

講演では、自身が笑いと運動・スポーツの関係を研究してきた中で大胆な仮説を紹介した。

- ① 幼少期の運動・スポーツ場面で、笑いの表出が多い子どもは、運動・スポーツの能力が高くなるのではないかなど。
- ② 運動・スポーツ場面で笑いの表出が多い者は、その種目の上達が早いのではないかなど。

スポーツ場面における笑いの表出は、様々な場面により意味が異なることを説明。

例えば、プレーが成功した時の笑い（快の笑いや安堵の笑い等）、プレーが失敗した時の笑い（苦笑いや照れ笑い）は、笑いの質量とも違う。特に失敗した時は、笑い自体が不謹慎なものとして考えられるため、次のプレーへ早くの切り替えるために笑いが短時間で終わる傾向がある。また、試合が終わった時の緊張感から解放された緊張緩和の笑いや勝利が決定した時の歓喜の笑い等、スポーツには喜怒哀楽が凝縮されている。

笑いは、選手個人のみならず、チーム全体の場の雰囲気や和ませたり、勇気づけたり、また、観客（応援）との一体感にも大きな効果をもたらすことがあり大変重要な性格をもつ。しかし、スポーツ場面では、「白い歯を見せるな」「ニヤニヤするな」等、笑いが生じると不真面目と捉える傾向があり、叱咤・叱責の聲が上がることもある。

高齢者施設でのレクリエーション中の笑いを分析すると、楽しさの評価は「ゲーム」が最も高い（笑いの総計時間、平均持続時間とも）ことから、レクリエーションの構成要素としてゲームプロ



グラムの内容が、レクリエーションの満足度に大きな影響を及ぼしていると考えられる。

大学女子ソフトテニス部に9名に集ってもらい、1回1時間における自由会話を5日間実施した。各人の笑いの総計時間を比較すると、競技レベルの高い学生の方が総計時間に長い傾向がみられた。

(高齢者およびテニス部の学生の笑いは、特殊な機器を用い、すべて左大頬骨筋の直上で筋電図で計測した)

大学女子サッカー部監督に、部員16名の練習中に見せる笑いの表出頻度と身体能力を主観的に判断して順位をつけてもらった。またサッカーの特性である脚筋力の結果も加え考察すると、笑いをよく表出する者ほど身体能力が高い可能性が示唆された。

これらのことから、運動・スポーツ時の笑いの表出は、スポーツパフォーマンスに影響を及ぼすのではないかと考えられる。また、笑いと運動能力の関係を明らかにすることが出来れば、スポーツパフォーマンスの向上に期待ができるのではないかと考えられる。

特に、物事に素直に反応する子どもたちは、ひとつの事象に対しての笑いの表出は数量とも多いと推測されることから、冒頭の仮説が解明できれば、スポーツ能力向上に笑いが一役を買うことにつながるのではないかと考えられる。ひいては幼少期から将来のトップアスリートへの可能性も見いだせるのではないかと考えられる。

## 落語のような『谷繁』

追手門学院大学笑学研究所所員、社会学部准教授 横田 修

### ○はじめに

『谷繁』とは、私が2012年に描いた不条理劇である。昨年、私が主宰する劇団にてもう一本の短篇と合わせて上演した。2016年に追手門学院大学社会学部と産学協働人材育成機構 AICE の共同主催にて実施した舞台表現プロジェクト（通称 STEP）第一回公演の演目でもあるから、ご覧頂いた奇特な方もいるかもしれない。

さて。そんな演目『谷繁』について、落語を切り口に語るのが本稿の目的である。本来、落語と演劇は異なる表現ジャンルであるが、演劇の中身を紙面を通して伝える上で、落語が良いフックになるのではと考えた。あくまで演目『谷繁』についての紹介がメインである。

それにしても、拙作について自身で語るとは身もフタもない話である。しばし笑ってお付き合い頂きたい。

### ○「落語みたい」な芝居

以下、公演企画書に書いた紹介文である。

訳ありの引っ越し屋でバイトする男と女。ある夜、仕事先で「ハイキ」の紙が貼られたソレと遭遇する。何ゴミなのかと迷っていたら、ソレはおもむろに動き出して・・・不条理な表題作『谷繁』ほか、馬鹿馬鹿しさ満載の落語チックな短編集。

“落語チック”とは、落語好きの方にお叱りを受けそうな表現である。しかし当時、確かに私は落語みたいな演目を創りたいと考えていたのだ。果たして、落語みたいな演目とは何だろう。以下、麻生芳伸編『落語百選 春』のまえがきからの引用である。

この麻生の説明には、多くの方が同意してくれるのではないかと。まへがきは以下の様に続く。

まえがきがなくなつたが、面白い、楽しいということは、その事柄と交渉をもつことによつて生じる、人間の感性の営為であり、その面白く、楽しいことは、より多くの人びとが共有することで、いっそう精彩を放つ。——大衆の娯<sup>エンターテインメント</sup>楽としての「落語」が、今日なお、そうした人びとの想いを反映しているところに、普遍性がある。(同上)

- ① 身近にある面白く、楽しいことであること
- ② 「ばかばかしい」「他愛ない」「呆れた」「尋常ではない」こと
- ③ <sup>かわわり</sup>交渉によって生じる人間の感性の<sup>いとなみ</sup>営為であること

①身近にある面白く、楽しいことであること

— 28 —



### ①-1 距離感

\*二〇三〇年。第四次産業革命の真っ最中である。

場所は日本。深夜。

マンションの居間のような場所。

中央にガラクタが積んであり、各々に「ハイキ」の張り紙が貼ってある。

どうやら皆、粗大ゴミのようだ。

第四次産業革命の真っ最中とは、つまり今である。この設定は、先の条件①が表す（時間的な意味での）身近な距離感に該当するだろう。二〇三〇年とは近未来である。正確なところは分からない。しかし産業革命は益々進むだろうと想定しての設定である。ちなみに、このような背景を示す文言が直接台詞に出ることは少ない。しかし、落語がその語り口に創作当時の時代背景や精神を反映するように、ト書きは劇中の状況や交わされる対話に反映し、観客の想像力を刺激するのだ。演じる俳優達とイメージを共有するためにも重要な文言である。

ト書きの後半に、「ハイキ」の張り紙が貼られたガラクタが登場する。この粗大ゴミの中に、あらずじに書いたソレが居る。以下、ト書きの続きである。

\*男がゴミの一つを見ている。

人間のような存在が横たわっているのだ。

全身緑色で、その背中に「ハイキ」と書かれた紙が貼ってある。

この戯曲の登場人物は三人。男、女、「緑色の存在」である。最後の「緑色の存在」とは、男が見ているガラクタの一つであるが、果たしてソレを人として扱うべきか否か・・・劇では当然俳優が演じるため人物と表記しているに過ぎない。この辺りが、この演目における②の入り口であるのだが、②については改めて後述する。

### ①-2 「谷繁」という名前

二つ目には、演目のタイトルである『谷繁』という名前について考えてみたい。以下、登場人物の三者が交わす会話からの抜粋である。

女           あの、  
緑色の存在   はい、  
女           名前？あなたの、



緑色の存在 や、失礼しました、谷繁と申します、  
 男 良い名前ですね、  
 緑色の存在 ありがとうございます、まあ、主人が勝手にそう呼んでるだけなんですけどね、  
 実際は、  
 女 どういうことですか？  
 緑色の存在 本来、自分達は名前を持ちません、  
 女 自分達って？  
 緑色の存在 谷繁です、  
 女 何、谷繁って？  
 男 さあ、  
 緑色の存在 全く、名前を付けないと気が済まない生き物なんですよねぇ、人間というの  
 は、、、や、失敬、  
 男・女 ……

個体を識別するための名前なのか、種(?)の名称なのか。分からないことが多すぎて今一つ腑に落ちないが、男と女は「緑色の存在」のことを「谷繁さん」と呼ぶことにする。私達の身近な日常でも、同じようなことが行われているだろう。誰かの名前や経歴を知るのは大概本人の申告や又聞きでしかない。いちいち住民票や戸籍を取り寄せて確認することはまずない(最近はネットで検索ぐらいはするかもしれないが)。名前とはその程度のものであるにもかかわらず、呼ばれるとわけもなく嬉しかったりするから不思議なものだ。江戸落語において定番の名前である「熊五郎」(熊さん)や「八五郎」(八つつあん)も、キャラクターの類型を表す記号的な側面だけでなく、その呼び方で愛着や親しみが表現されていると言えるだろう。名前とは、寄る辺ない世界で他者と繋がるための合い言葉なのかもしれない。

タイトルの『谷繁』とは、つまり「緑色の存在」の呼称から取ったものののだが、そもそもなぜ「谷繁」という呼称なのか。大した意味はない。「松風」でも「高砂」でも「養老」でも「小林」でも何でも良かった。語呂と雰囲気である。先にも論じたとおり、名前とはその程度のものであり、その程度のものであることが重要なのである。

### ①-3 人間とは何か

大きな問いである。まずは以下の台詞を読んで頂きたい。

女 あの、  
 緑色の存在 何でしょう、



女            ロボット、なんですよ、  
緑色の存在   そんな風に見えます？  
女            だって、(コンセントを指して)  
緑色の存在   あー、はいはい、これね、  
女            電気で動いてるんでしょう？  
緑色の存在   さあ、  
女            え、だって、  
緑色の存在   よく分かんないんですよ自分でも、充電切れたら意識無くなっちゃうんで、、、  
でもほら、皆さんだって、夜寝るでしょう、  
男            確かに、  
緑色の存在   そんなに違わないと思いますよ、  
女            ……ちょっと、  
男            何ですか、  
女            いいから、

\*男と女、別室へ。

果たして「緑色の存在」とは何なのか。AI 技術の発達が人間の仕事を奪うと叫ばれて久しい。しかし、どこまで行っても計算機である以上、AI が人間の知性を越えることは起こらないと言われている。しかし将棋や囲碁で人間に勝ち、大学受験でさえ突破する AI が存在する昨今、むしろ問い直されるべきは「人間とは何か」の方ではないだろうか。あくまで劇中の虚構である「谷繁」と私達人間は、この問いによって繋がるのである。例えば、充電が不十分のためコンセントが抜けないように振る舞う「谷繁」は、人間からもっとも離れた存在であるにも関わらず、劇中で誰よりも人間くさい。一体、私達が「谷繁」ではないと何をもって言えるのだろう……ここに、この演目の楽しさと面白さの一つがあると私は考えている。



写真1 タテヨコ企画第37回公演『谷繁』撮影：神山靖弘

## ②「ばかばかしい」「他愛ない」「呆れた」「尋常ではない」こと

次は条件②について見ていく。先にも若干触れたが、そもそも「緑色の存在」の設定自体が条件②を満たしている。しかし、ここで大切にしたいのは、そんな「緑色の存在」と、あるいはそんな「緑色の存在」を媒介して、登場人物達の中に（場合によっては観客とも）どのようなやり取り（コミュニケーション）が生まれるのかということである。この点を具体的に示す、三つのシーンについて論じる。

### ②-1 ソレをどう認識するか

芝居の冒頭、男が「谷繁」と遭遇する。間もなく別室から女が登場すると、以下の様な台詞が交わされる。

|   |                      |
|---|----------------------|
| 女 | 駄目よ、写真は、             |
| 男 | 分かってますよ、あの、          |
| 女 | 何？                   |
| 男 | これなんですけど、（緑色の存在を指さす） |



女           それが、どうかしたの？  
男           人間ですかね、  
女           こんな緑色した人間がいるわけないでしょう、  
男           じゃあ、何だと思います？  
女           知らないよ、そんなこと、  
男           ．．．

男と女は訳ありの引っ越し業者である。要は夜逃げの真っ最中なのだ。二人共「ハイキ」と書かれたゴミはちゃっちゃと片付けて処分したいのである。

男           どうします、これ、  
女           積み込みますよ、そりゃ、  
男           その後は、  
女           さあ、捨てると思うけど、  
男           ．．．んー、  
女           何よ、さっきから、  
男           いや、でもこれ、何ゴミなんですか？  
女           粗大ゴミかな、大きさ的には、  
男           ．．．んー、  
女           ねえ、あんた、分かってる？  
男           何がですか？  
女           私達の仕事、  
男           引っ越し屋ですよ、  
女           そう、とっととトラックに荷物を積んでこの家をカラッポにするの、それだけ、  
男           分かってますよ、それぐらいは、、、、でも、もし人間だったら、  
女           人形でしょう、  
男           え？  
女           人形、違う？  
男           ．．．だとしたら、めちゃくちゃリアルですよ、ねえ、

\*二人、緑色の存在をじいっと見る。

写真1の通り、「谷繁」は緑色の全身タイツを着た人間が演じているのだ。これほど馬鹿げたやり取りもない。観客が（あるいは演者も）劇世界を一段外からみるメタ視点的な楽しみ方である。



ところで、昨年の公演ではこのシーンをどう演じるべきか、俳優達と稽古場で何度も話し合いを持った。舞台俳優はできる限り嘘のない芝居作りを目指す。そのほうが観客は虚構の世界をリアルに感じることができるからだ。人間を人間以外のものとして認識する芝居はさほど難しくない。しかし本来人間であるものを見て「果たして人間なのだろうか？」と迷う芝居というのは案外と難しい気がする。ところが、俳優がどう認識しようとも、その演技を観客がどのように受け取るか（認識するか）は別問題なのだ。

## ②-2 コンセント

\*男、緑色の存在から、何かが出ているのを見つける。

男            長谷川さん、これ、  
 女            何、  
 男            これ、なんですか？  
 女            コンセントでしょ、  
 男            ですよね、  
 女            馬鹿にしてんの？  
 男            こいつから出えますけど、  
 女            はあ？

\*確かに、コンセントケーブルは緑色の存在から出ている。

男            ……家電？  
 女            ……なんか、エッチなやつなんじゃないの？  
 男            どういう意味ですか？  
 女            知ってるくせに、  
 男            だったら、もっと可愛く作るんじゃないですかねえ、  
 女            挿してみたら、  
 男            えー、  
 女            物は試しよ、(コンセントのことだ)  
 男            んー、

\*男、コンセントを壁コンに挿す。

すると起動音らしき音と共に、緑色の存在が動き出す。



女            あらあら、  
男            離れて！

＊物陰に避難する二人。

緑色の存在、フラフラ起き上がると椅子に腰掛ける。するとお腹側にも  
「ハイキ！」の張り紙がある。見知らぬ二人に気がつく。

緑色の存在    ・・・・あの、  
男            はい、  
緑色の存在    どちら様ですか？  
女            いえ、そちらこそ、  
              ・・・・

理解不能だった存在が、コンセント一つで理解可能になるのである。昨年夏、三つの会場（東京、大阪、静岡）で上演した全 17 ステージのすべてにおいて、「家電？」の台詞で笑いが起きた。さらに後半、「緑色の存在」とのファースト・コンタクトまで、俳優達の安堵・驚き・興奮を伴う交歓が観客を大いに盛り上げていた。いずれも狭い会場である。さらに観客は異物の存在がもたらす緊張感溢れる空間から、コンセント付きのごく普通の日常空間へ、そして未知（緑色の存在）との遭遇を果たす神聖な空間にまで変質する、場の空気も敏感に感じ取っていたに違いない。馬鹿馬鹿しくもダイナミックな展開であり、この短い芝居前半におけるクライマックスである。

### ②-3 同情／皮肉／ブラックユーモア

＊緑色の存在は一人になると「ハイキ！」と書かれた張り紙を握りしめ、  
悔し涙を流す。声に気づいて戻ってくる二人。

男            元気出して、谷繁さん、  
緑            ありがとうございます、  
女            長谷川って言いますけど、私、  
緑            これはどうも、谷繁です、  
女            ちょっと今、話したんですけど、二人で、  
緑            为什么呢、  
女            あなたは何ゴミなんですか？  
緑            はあ？  
女            ですから、遺体なのか、死骸なのか、ただの粗大ゴミなのか、、（ゴミの分別

男　　うち、来ます？

緑色の存在　え、

男　　どうせ行く宛もないんですよね、

女　　竹原－、（＊著者注：男の名字）

男　　なんか可哀想になってきちゃって、だって、

緑色の存在　ありがとうございます！いやあ、ありがとうございます！

女　　駄目よ、

男　　どうしてですか？

女　　ルール違反だから、

男　　だって、どうせ捨てるんですよね、

女　　何を言いだすか分からないでしょう、

緑色の存在　大丈夫ですよ、何も知りませんから、私、あと、何にもできません、私、ほん  
と、役立たずなんですよ！

男　　こう言ってますけど、



女 エライことになるわよ、もし社長にバレたら、  
 男 何ですか、エライことって、  
 女 バイト代ゼロ、  
 男 あー、ごめん、  
 緑色の存在 ……

世知辛い世の中である。それにしても、人間は何にだって同情することができるのだ。そして一旦は引き取ろうとまでした男が、バイト代のためにあっけなく放棄する様は、現代社会を生き急ぐ私達への皮肉にも取れるだろう。このシーンだけではない。演目『谷繁』のプロットの多くは、私達自身へ向けた自虐的な表現なのだ。殺処分されるペットたち、あるいは孤独死問題など。演目『谷繁』は、実にブラックユーモアの塊のような作品である。

### ③<sup>かわり</sup>交渉によって生じる人間の感性の<sup>いとなみ</sup>営為であること

さて、最後に③について論じる。先の二つの観点に比べると若干込み入っているため、私なりに文言を希釈してから始めようと思う。営為<sup>いとなみ</sup>にはいくつか意味があるが、落語を表現する文言であることから類推すると、日々の暮らしのことであろうか。感性とは解釈が難しい言葉である。デジタル大辞泉には以下のように書いてある。

#### かん－せい【感性】

- 1 物事を心に深く感じ取る働き。感受性。「感性が鋭い」「豊かな感性」
- 2 外界からの刺激を受け止める感覚的能力。カント哲学では、理性・悟性から区別され、外界から触発されるものを受け止めて悟性に認識の材料を与える能力。

ここでは1を採用する。まとめると、③とは「他者と関わる中で、心に深く感じ取る働きが見て取れる日々の暮らしが描かれていること」となるだろうか。なんとなく、落語を言い当てた解釈のようにも聞こえるが、今一つはっきりしない。もう少し③をかみ砕く必要がありそうだ。そこで『谷繁』の分析を進める前に、落語『粗忽長屋』について考えてみる。

以下、麻生の『落語百選 冬』のテキストを元に私が書いた『粗忽長屋』のあらすじである。好きな演目の一つである。

浅草寺の近くで行き倒れの顔を見た八五郎は、「(じッと見て) これあ、熊の野郎だ」「今朝もちょっと寄ってやったら、ぼんやりしてましてねえ、..」と言う。しかし行き倒れが出



たのは昨晚である。人違いだと役人は指摘するが、聞く耳を持たない八五郎は長屋へ戻ると、隣に暮らす熊五郎へお前が死んでいたと告げる。いやいや自分は生きていると反論する熊五郎。しかし「お前は粗忽者だから死んだことに気づいていない」と言われ、熊五郎は自分の死体を引き取るため八五郎と浅草寺へ向かうのだ。そして自分の死体を担いだ熊五郎は「抱かれているのは確かに俺だが、抱いている俺は一体誰だろう？」とつぶやくのである・・・

この不条理極まりない筋書きはもちろんであるが、「粗忽長屋」の面白さは、言葉の隅々から漏れ聞こえる江戸に暮らす庶民の営みにこそあると思う。あらすじには書いていないが、実は冒頭に、長屋の隣同士の部屋に暮らす不精な男（熊五郎）とまめな男（八五郎）のそそっかしいやり取りがある（タイトルの元である）。その後、まめな男が浅草の観音様へ参拝に行き、帰りに浅草門を出たところで行き倒れと遭遇するのだ。以下、役人とのやり取りである。

「おう、どうした？」

「(じいっと見て) これァ、熊の野郎だ」

「おう、熊の野郎だなんてえとこ見ると、知ってるんだね」

「知ってるもいいとこだよ。こいつァおれの家の中にいるんだよ。仲良くつきあってンだァ、こいつとァ。兄弟同様につきあってンだからねえ。生まれるときは別々だが、死ぬときは別々だってえ仲だ」

「あたりめえじゃねえか」

(麻生芳伸編 1975『落語百選 冬』、三省堂)

行き倒れを熊五郎であると思い、八五郎は心を痛めるのである。もちろん勘違いであるのだが、この勘違いの演じ方次第で、その後の展開は大きく左右されるように思う。別の台詞で、熊五郎には妻も居らず身寄りもないことが語られる。あくまで私の想像だが、八五郎もそうではないか。独身の男二人が長屋で暮らす生き様が、行き倒れた自分の死体（だと思っているもの）を大事そうに抱きかかえ、二人で去る最後を切なくさせるのである。泣きと笑いの入り交じった素晴らしいラストである。

『粗忽長屋』に描かれる「他者と関わる中で、心に深く感じ取る働きが見て取れる日々の暮らし」とは、男二人の長屋暮らしである。落語家の力量が試される、まさに“見どころ”である。このように、人物の暮らし（背景）が描かれ、その行為へと反映する表現であることが、私の考える「落語みたい」な演目の条件の一つと言えるだろう。

さて、ここまでくれば『谷繁』の話に戻れそうである。演目『谷繁』の時代は二〇三〇年、近未



来だが、第四次産業革命が進行中の現代にとっても近い身近な時間である。夜逃げの引っ越し業務という誰にも言えない仕事をする男と女には、もちろん事情がある。独り身の女は妻子ある会社の社長と不倫中だ。男はあえて定職に就かず人知れず小説を書いている。男のほうは割と真っ当な夢ある若者のように聞こえるかもしれない。しかし昨年の公演で男を演じた劇団員はどう見ても四十オーバーだ。彼女とも別れ話が持ち上がっており、まるで冴えない状況なのである。そんな二人に対して、自身の運命（廃棄処分）を悟った上で「谷繁」は、親切心から以下のように語り出すのだ。

緑色の存在 いい人ですね、お二人共、

女 別に、そんな、

緑色の存在 最後に話をしたのが、お二人で良かったです、

男 そんな風に言われちゃうとなあ、

緑色の存在 じゃあ、一つだけ教えましょう、竹原さん、

男 何ですか？

緑色の存在 彼女とは別れなさい、

男 ……は？

緑色の存在 とんでもないことになりますよ、今、手を切っておかないと、

男 ……

女 どういうことですか？

緑色の存在 竹原さんの為を思って言ってるんですよ、私は、

男 えーと、

女 （大笑い）え、え、何で分かるんですか、そんなこと？

緑色の存在 ここだけの話ですけどね、私、世の中の十年先ぐらいのことが見えるんですよ、

女 すごい機能じゃん！

男 ……

「谷繁」の実に便利な機能が明かされると、女は身勝手な未来予想図を聞き出したり、一転「谷繁」を教祖のように祭り上げたりと狂気の世界へ突入する。同情的だった男も堪忍袋の緒が切れコンセントを抜こうとする。しかし、それでも「谷繁」は最後まで粘り強く、男への説得を試みるのだ。

男 とにかく、詐欺師の手口ですよ、こんなこと、

女 失礼でしょう！

男 よく考えてください、長谷川さん、

女 ……



男           これは、電化製品です、  
女           だから？  
男           自分の未来を、電化製品に托していいんですか？  
緑色の存在   お察しますよ、お気持ちは、竹原さん、  
男           ・・・  
緑色の存在   もちろん、私の言うことだって百パーセントの正解率じゃありません、特に十年  
              以上先のことについてはね、  
男           当たり前だよ、  
緑色の存在   でも、ここ一、二年とか、少し先のことなら、ほぼ百パーセントなんですよ、経  
              験上、  
男           ・・・  
緑色の存在   ねえ、竹原さん、  
男           言うな、聞きたくない、  
緑色の存在   変えられるんですよ、未来は、  
男           ・・・  
緑色の存在   確定した未来なんてありません、多くの物事は、その本質は、誰にだって切り開  
              くことができるんです、  
男           それっぽいこと言うよねえ、  
緑色の存在   小説、書いてるでしょう、竹原さん、  
男           ・・・  
緑色の存在   読まれてますよ、百年後も、  
男           え？  
緑色の存在   あなたの書いたものは、この国の文学史に残ります、  
女           すごいじゃない、  
男           ちょっと待って、  
緑色の存在   ただし、それは竹原さんが生きていれば、です、  
男           ・・・どうして、  
緑色の存在   ・・・  
男           どうして、知ってるんですか、小説のこと、ネットにもアップしたことないのに、  
緑色の存在   書きながら、どんどん変わっていくでしょう、小説の筋は、  
男           ・・・  
緑色の存在   一緒ですよ、  
男           え？  
緑色の存在   未来は変わるんです、変えられるんです、



男 . . .

ここに採り上げた台詞の前後も含めて、舞台終盤における三者の掛け合いに、③が示す人物の暮らし（背景）が反映した行為を描いたつもりである。俳優にとっての“見せ場”であると同時に、観客にとっては“見どころ”である。最終的に男は「谷繁」のコンセンートを抜き、彼女と別れないことを宣言する（彼女ヘラインする）。コンセンートを抜かれた「谷繁」は動きを止め元の状態になるが、次の瞬間、男も動きを止める（＝死）。「谷繁」の予言が成就するのである。最終的に「谷繁」と同じ粗大ゴミが一つ増えるという、人間存在の儚さを垣間見せる皮肉な幕切れである。

#### ○まとめ

ここまで演目『谷繁』について、麻生の言葉から引き出した三つの観点から作品の内容を俯瞰しつつ、如何に「落語みたい」な演目であるかを論じてきた。手前味噌な内容で誠にお恥ずかしい限りであるが、紙面から舞台の様子的一端でも垣間見て頂けたならこれ以上の悦びはない。

先に書いたとおり、そもそも落語と演劇は全く違う表現ジャンルである。しかしこれだけ「落語みたい」な演目なのだから、いつの日か落語として上演される日を夢想する今日この頃なのである。やりませんか、どなたか。



## ◎上演記録

タテヨコ企画第三十七回公演『谷繁』 作・演出 横田修

### 【東京公演】

時・・・二〇一九年八月二十六日（月）～九月一日（日）

於・・・sancha teatretto（東京都世田谷区）

### 【大阪公演】＊一般社団法人表現者工房協力公演

時・・・二〇一九年九月十三日（金）～十五日（日）

於・・・表現者工房（大阪市生野区）

### 【藤枝公演】

時・・・二〇一九年十月十二日（土）～十三日（日）

於・・・白子ノ劇場（静岡県藤枝市）

## ◎キャスト

『稽古前の時間、あるいは超能力に関するメモ』

市橋 市橋朝子

加藤 加藤和彦

西山 西山竜一

館 館智子

久行 久行しのぶ

## 『谷繁』

男 西山竜一

女 久行しのぶ

緑色の存在 館智子

## ◎スタッフ

舞台美術／濱崎賢二（青年団） 音響／中村光彩 照明／中佐真梨香（空間企画）

宣伝美術／水主川緑 舞台写真／神山靖弘

制作／三國谷花（PATCH-WORKS／舞台芸術創造機関 SAI）〈東京公演〉

尾崎商店〈大阪公演〉 若旦那家康〈大阪公演〉 タテヨコ企画制作部

制作協力／一般社団法人表現者工房 池田直隆 製作／タテヨコ企画

協力／（株）アートエンターテインメント 空間企画 青年団 （株）ナノスクエア

助成／平成三十一年度芸術文化振興基金助成事業

## 〈我流〉を貫く関西の美術家

追手門学院大学笑学研究所客員研究員、国際教養学部非常勤講師 木村 未来

### 1. はじめに

政治、経済、そして文化の中心地である東京のアーティストは、潮流に無関心ではいられない、とよく言われる。一方、東京と距離をおく関西では、伝統を継承しながらも、我流を貫き、個性豊かで破天荒な表現者が、自由な制作を展開するケースがしばしば見られる。例をあげながら、その理由を考察したい。

### 2. 京都画壇と大坂画壇

京狩野や土佐派といった様々な流派が腕を競った近世の京都において、近代化を推し進めたのが円山四条派だ。江戸中期、円山応挙（1733～95）によって始められた、対象を正確にとらえる写実的な絵画の流派、円山派と、その流れをくむ応挙門下の呉春（1752～1811）を祖とする四条派の併称である。円山応挙や呉春ら、「主流」の絵師に対して、京都画壇には、力を持ちながらも独自の道をゆく「傍流」の絵師がいた。

例えば、京に生まれ、応挙と同時代を生きながらも、彼をライバル視していた曾我蕭白（1730～81）。奇怪な八人の仙人を、鮮烈な色彩を用いて描写した《群仙図屏風》（重要文化財）などを手がけ、アクの強い作風から「狂気」「異端」の絵師といわれた。「画を望まば我に乞うべし。絵図を求めんとならば円山主水（応挙）よかるべし」と語った、ともされ、写生を重んずる応挙の絵は、現実を写しただけの「絵図」に過ぎない、絵ではない、とさげすんで認めなかったらしい。

やはり、京で生まれた伊藤若冲（1716～1800）も「傍流」である。錦市場の青物問屋の長男だった若冲は、身近な野菜や、庭で飼っていた鶏を観察して描いた。40歳を前に隠居し、草花や魚介、鳥といったモチーフを細部まで描き込み、極彩色で彩った「動植綵絵」などに取り組んだ。彩色画のみならず、即興的な筆致で力の抜けた味わい深さと、ユーモラスな雰囲気兼ね備えた水墨画も手がけた。



曾我蕭白《群仙図屏風》(重要文化財) 右隻 1764年 文化庁蔵  
図版 = <https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/188162/2>



伊藤若冲《動植綵絵》より  
「群鶏図」1757～66年頃  
宮内三の丸尚蔵館蔵  
図版 = <https://www.kunaicho.go.jp/culture/sannomaru/syuzou-12>

一方の大坂画壇。文人画を手掛けるとともにコレクター、本草学者でもあり、多様な文人墨客と交流した木村兼葭堂(1736～1802)や、猿など動物画を得意とした森狙仙(1747～1821)らがいた。また、近代における大阪を代表する美人画家といわれたのが、明治から昭和にかけて活動した北野恒富(1880～1947)だ。「画壇の悪魔派」と称される恒富は、端正な美人画にとどまらず、「鏡の前」や「道行」といった退廃的で妖艶な女性像にも挑み、深い情念が宿る「淀君」も手がけた。そのなまめかしさは際立っており、体温まで感じさせるほどだ。



北野恒富《鏡の前》1915年 滋賀県立近代美術館蔵  
図版 = <http://www.shiga-kinbi.jp/db/?p=5841>



### 3. 現代美術

現代美術で着目したいのは 1954 年、阪神間の美術家らが結成した「具体美術協会」だ。リーダーは吉原治良（1905～72）。「人のまねをするな」と繰り返して指導したことから、白髪一雄（1924～2008）は天井からさげたロープにつかまって足で描き、村上三郎（1925～96）は走って紙を突き破り、田中敦子（1932～2005）は電球を点滅させた「電気服」を身に着けた。

まさに、〈我流〉の奇想天外な表現を知った人々は「具体に入るとアホになる」と噂したほどだった。だが、フランスの批評家、ミシェル・タピエは、その活動を評価し、海外に紹介した。

吉原が亡くなった 1972 年、具体は解散するが、国際的な評価は高く、2013 年にはニューヨークのグッゲンハイム美術館で「具体」の展覧会が開催され、話題となった。作品の価格も上昇する。



足で描く白髪一雄  
図版 = <https://casabrutus.com/art/7018>



紙を突き破る村上三郎  
図版 = <http://www.nukaga.co.jp/feature-saburo-murakami.html>



《電気服》を身に着ける田中敦子  
図版 = <https://bijutsufan.com/bijutune/201911/>

具体の解散後、1980 年代には、森村泰昌（1951～）らが登場。若手作家の意欲的な動きは、「関西ニューウエーブ」と言われ、美術の世界は「西高東低」とも評された。森村が挑んだのは、ゴッホの自画像になりきった自分自身を撮った「セルフポートレート」だった。それまで、東京の潮流を意識した「ハイセンス」な作品を制作していたが、全く芽が出ない。やけになった森村は、作風を一転させて、「アクが強く、こてこてのゴッホ」に扮した自らを写した写真作品で脚光をあびる。以後も、マリリン・モンローやオードリー・ヘプバーンら女優に扮した姿を撮影するなど、独自の表現世界を探り続けている。

森村泰昌と同様に「セルフポートレート」に取り組んだアーティストに、澤田知子（1977～）がいる。成安造形大の卒業制作で、街中の証明写真機を利用し、メイクや服装、髪形を変えて 400 人



に扮した自身を撮影した。



森村泰昌《肖像（ゴッホ）》1985年  
図版 = <http://www.morimura-ya.com/category/gallery/west/page/3/>



澤田知子《ID 400》（部分）1998年  
図版 = <https://global.canon/ja/newcosmos/gallery/selected-artists/tomoko-sawada/index.html>

#### 4. おわりに

権威ある画家を中心に、師から弟子へとピラミッド型のヒエラルキーとなる画派が中心であるのが東京画壇（江戸画壇）であるとするならば、京都画壇は、ピラミッド型の集団にはおさまらない個性ある多様な人材を受け入れる豊かな風土のもとで発展し、町人文化を背景とする大坂画壇では、格式や門閥にとらわれず、自由で闊達な活動が繰り広げられた。

それは日本画の世界だけのことではない。現代美術においても、破天荒ともいえる関西の作家らの創作は、非常に個性が強く、時には、「笑い」を誘うほどだ。潮流に縛られず、自由に、また伸びやかに創作することで、魅力ある作品を制作してきたのが関西の美術家といえるのではないか。

ちなみに、京都画壇における「異端」の絵師、曾我蕭白と伊藤若冲の2人は、美術史家、辻惟雄が1970年に美術出版社から出版した『奇想の系譜』でとりあげた絵師である。当時、『奇想の系譜』は、研究者の間で着目されたものの、一般の人々には親しまれていなかった。そうした状況のなかで、この2人の展覧会を開催したのが、京都国立博物館に所属していた美術史家の狩野博幸だった。2000年に没後200年を記念し、伊藤若冲の展覧会を企画、「こんな絵描きが、日本にいた」とコピーをつけ、2005年には「曾我蕭白 無頼という愉悦」展を「円山応挙が、なんぼのもんぢゃ」のコピーでアピールした。伊藤若冲、曾我蕭白の名は、これらの展覧会で広く名を知られ、日本美術ブームが到来するきっかけとなった。

狩野は、京都ゆかりの絵師として、京都国立博物館できちんと取り上げるべきだと考えて企画し

潮流を生み、いわば、潮流の中心にある東京と距離をおいた地であるからこそ、独自性あふれる絵師、美術家が登場し、そして、そんな「傍流」の絵師に焦点をあてようとする「我流」の眼をもつ学芸員も力を発揮できるのだろう。結果として、そうした「我流」の眼が、新たな潮流を生むこともあるのだ。



## 大学生の日常生活の笑いに関する考察

追手門学院大学笑学研究所客員研究員、西武文理大学サービス経営学部専任講師 瀬沼 文彰

2019年8月20日に行われた追手門学院大学笑学研究所の研究会にて、筆者は、2018年に、関西大学堺キャンパスで行われた日本笑い学会第25回大会にて行ったポスター発表の「愛想笑いに関する研究－大学生は愛想笑いを生活にどのように取り入れているのか」を加筆修正したもの、及び、2019年、岡山理科大学で行われる日本笑い学会第26回大会にてポスター発表する予定であった『『面白い人』の条件とは何か－若者たちのユーモアセンスについて考える』（その後、日本笑い学会の発表では、その場で行われた意見交換等を参考に加筆修正を行った）の計2本の若い世代、とりわけ大学生の笑いについての論考に関する発表を行った。

### 愛想笑いに関する研究－大学生は愛想笑いを生活にどのように取り入れているのか

一本目の報告の目的は、若い世代（調査対象者の大学生）が、(1) 愛想笑いをどのように考えているのかの詳細を探ること、(2) 若い世代の愛想笑いに関する調査の報告、(3) 調査結果をふまえ、現代社会のなかの愛想笑いの意味やコミュニケーションのなかでの役割についての考察を行うことであった。

行った調査の概要については、以下の通りである。調査対象者は、133人の大学生（男性50人、女性75人、無回答8人）、東京郊外、および、埼玉の私立大学1年生（文系の学部、看護学部）である。調査では、調査協力は任意であること、個人情報調査目的以外には使用しないことを告げて行った。質問は全15問、うち14問は、4件法で回答を求めた。

本報告では、2015年に青砥弘幸と行った笑いの調査をもとに、大学生は愛想笑いを多くしていたことを前提とし、以下の4項目を仮説とした。(1) 愛想笑いは多いが親しくなると減る、(2) 愛想笑いは、高校時代のほうが多い、(3) 周りの友人たちはよく愛想笑いをしてしていると認識している、(4) 面白さを分かってもらいたいという承認欲求がある。

調査の結果については、全15問のデータの概要を報告し、その後、筆者の考察を述べた。2000年以降、社会学の若者論で論じられてきた友人に過剰なほどに気を遣う若い世代を前提として、愛想笑いに関しては、どちらかといえば、初対面の相手に多くするが、親しい友人に足しては減少する傾向があるものの、本調査の結果では、親しい友人の前で愛想笑いをよくする割合が61.7%だ



った。このことから、親しい友人の前では、心からもよく笑うものの、愛想笑いも多いと指摘した。

また、友人の愛想笑いを見抜く自信があると考える調査対象者が59.5%であったことを述べ、大学生は、愛想笑いを見抜く自信が比較的あるものの、56.2%の大学生は、自分の愛想笑いは見つからないと考えていた。さらに、他者の愛想笑いを見抜けるについて、「自信がある」4を選択したのは、調査対象者の22.9%だったのに対し、自分の愛想笑いは友人に見つかっているについて「よく見つかっている」の4を選択したのは、5.4%であった結果をふまえると、他人には厳しく、自分には甘い傾向が見られた。

年齢と愛想笑いの関係については、高校時代の方が、愛想笑いが多いと仮説を立てていたものの、実際は、大学の方が多い傾向があった。大学の人間関係よりも、高校時代の人間関係の方がクラスや部活などでずっと同じ時間を共有している分、気を使わないため、愛想笑いも少ないと考察したことを報告した。

自分の面白いと思うものには共感してほしいかどうかという点については、調査対象者は「そう思う」の3、4にあたる回答をしたのが77.1%ということから、相手に期待する姿勢が読み取れる。空気を読む若い世代は、これに応えようするのではないだろうか。さらに、これらの共感への期待は、友人たちにプレッシャーになる可能性があり、自由に自分らしく振る舞う日常というよりも、他者からの期待ばかりを意識し、煩わしく思ってしまう危険性があることを指摘した。とはいえ、現状、愛想笑いが多かったとしても、笑って疲れたりするほどストレスフルなことではないと論じた。

本報告では、発表後に、愛想笑いは、人にとってばらつきがある概念である可能性があるため、今後研究を続け調査を行う際には、「愛想笑いの状況の定義」が必要なのではないかという指摘をいただいた。また、愛想笑いが表情のことなのか音声上のことなのかなどについてももっとはっきりと定義をしたほうがいいというアドバイスや、笑っているフリをすることと愛想笑いの違いは何かなどの質問をいただき、改めて愛想笑いの研究の難しさと奥深さに気づくことができた。これらの意見を参考に、大学生に限らず、調査対象を他の世代にも広げていき「愛想笑いとは何なのか」についてももっと掘り下げていきたいと思った。

#### 1. あなたは、愛想笑い【スマイル】をどのくらいしますか。

《よくする》 4    3    2    1 《全くない》

| 4     | 3     | 2     | 1    |
|-------|-------|-------|------|
| 37人   | 61人   | 31人   | 4人   |
| 27.8% | 45.9% | 23.3% | 3.0% |
| 73.7% |       | 26.3% |      |



#### 4. あなたは、愛想笑い【ラフ】をどのくらいしますか。

《よくする》 4      3      2      1 《全くない》

| 4     | 3     | 2     | 1    |
|-------|-------|-------|------|
| 43 人  | 52 人  | 29 人  | 9 人  |
| 32.3% | 39.1% | 21.8% | 6.8% |
| 71.4% |       | 28.6% |      |

#### 「面白い人」の条件とは何か——若者たちのユーモアセンスについて考える

二本目の報告の目的は、調査対象者である大学生が、どのような人を面白いと考えているのかを探ることが最大の目的である。また、調査を通じて、ユーモアセンスへの自信、性格や地位などとの関係について考察を行うこと、及び、先行研究で扱われているユーモアセンスとの比較を行うことが2つ目の目的である。

まずは、大学生はユーモアセンスということばよりも、ギャグセン＝(ギャグのセンス)ということばを使用することのほうが多いと仮説を立てていたため、それを調べるためにも、彼／彼女たちに合わせ、調査ではギャグセンということばを用いた。

調査は、東京郊外、および、埼玉の私立大学1年生(文系の学部)、140人の大学生(男性78人、女性62人)を対象とし、調査協力は任意であること、個人情報調査目的以外には使用しないことを告げて行った。アンケート調査のタイトルは、「ギャグセン(ギャグ線)に関するアンケート調査」で、設問は全10問(自由記述の設問が3問、及び、3件法の設問が5問、5件法の設問が1問、多岐選択法が1問)であった。

結果は、ギャグセンということばを・使うことがある人と、聞いたことはある人を合わせると全体の94.9%であった。このことから、大学生のギャグセンということばの定着率の高さが明らかになった。

ギャグセンの高い条件としては、面白い、面白いことを言う人、頭の回転、頭の切れ、頭がいい、言葉、ことば(思いもつかない、豊富)、語彙力、ボキャブラリー、空気コミュニケーション、コミュ力、ボケ、ツッコミ、フリ、リアクション、トーク、オチなどがあげられた。なお、これらのことばについては、軽量テキスト分析のできるKH Coderを用いた。

ギャグセンが高いと思うメディアは、テレビよりも、YouTubeであった。ギャグセンについては、自信がないと考える大学生の割合が54.1%であったこと、恋愛の際に、女性が男性にギャグセンを求める一方(61.3%)で、男性は女性にギャグセンをあまり求めない(23.2%)であったことなどを論じた。

なお、約25%の調査対象者がユーモアセンスということばを知らないことが明らかになった。



背景には、学力、語彙力の問題もあると思われるが、この質問が後半にあったため面倒に思われた可能性もあると補足した。とはいえ、ユーモアということば自体、大学生はあまり使用しない可能性もある。そもそも、最近では、ユーモアということばは、誰もが使用するのブラックユーモアくらいになってしまっているのではないだろうか。この点については、今後、様々な年齢、大学、高校などで調査をしてみると面白いと筆者の課題を述べた。

なお、大学生の考えるギャグセンは、彼らの自由記述を見る限り、基本的には、話すことがメインであった。しかし、研究者の考えるユーモアセンスは、もっと広いもので、笑いを見つけることや、探そうとすること、覚えておくこと、上手に活用しストレスとうまく向き合っていくことなども含まれるという意味で違いがあると論じ、今後、ユーモア教育などが必要になる際には留意すべきであることを論じた。

最後に、「友人にするならギャグセンは高い方が好ましいですか」という設問に対し、68.5%の大学生が「はい」と回答している。これは、愛想笑いが各自に求められている点と共通する。話すことがメインのギャグセンに関しても、各自に求められている現状は、「友人関係の中では、面白いことを言わなければならない圧力」と化し、煩わしいようにも思えると筆者の意見を述べた。

発表後、ギャグセンに関しては、「東京での流行りことばなのではないか」という意見をいただいた。確かに、大阪は「おもしろい」ということばがあるため、ギャグセンということばはそこまで定着していない可能性がある。今後調査を行う際には、関西でも同じ質問をしてみると案外くっきりと違いが出るかもしれない。笑いの文化に関しては、関東と関西で様々な部分で違いが出る可能性がある。そのあたりについても関心があるため、東西の笑いの文化的差異についても研究していきたいと強く思う研究会であった。

様々な領域の研究者が集い笑いについて議論をすることで、全く別の見方ができることを改めて実感する研究会であった。今後も、是非、発表する機会を与えてほしい。まずは、そのために、今回はっきりと見つかった課題を少しずつ整理していきたいと思う。

## 「耳の聞こえない人、オモロイやん！と思わず言っちゃう本」 執筆の舞台裏

追手門学院大学笑学研究所客員研究員 大谷 邦郎

何とも長くて、何とも大胆なタイトル。当事者の皆さんから怒られないのかと、少しビクビクしながら書き上げた拙著が、去年の7月に上梓され、幸い増刷もされました。今回は、その舞台裏に関して少しご紹介させていただきたいと思います。多分、その他の先生方のご寄稿は、内容も濃く、格式も高いのであろうと推察いたしますが、「箸休め」的に、小生の拙文にもお目を通していただければ幸いです。

もちろん、そんな拙文であっても「笑い」という視点から書き綴る訳ではありますが、今回この本を書きながら改めて痛感したのが「笑いは奥が深い」と言うことであります。こう書くと、反対に全く奥深くない感じがいたしますが、事実だから仕方ありません。一口に笑いと言っても、今回の取材対象者である聴覚障害者の皆さんの周囲に存在するものは「嘲笑」「自虐的笑い」「追従の笑い」「諦めの笑い」「理解を促す笑い」「距離を縮める笑い」等様々。

笑いは時に人を傷つける矛となり、また、人を守る盾ともなります。まさに笑いは矛盾の存在であることを実感したのであります。

まずは、この本の概要や、制作に至ったその経緯からご説明いたしましょう。

大阪を本拠として活動する「手話エンターテインメント発信団・oioi（オイオイ）」と言う団体があります。



十数年前に耳の聞こえない仲間たちと、耳の聞こえる仲間たちとが一緒になって、誰の心にも巢くう偏見だとか差別と言った“バリア”を、手話歌や手話ダンス、さらに手話コントを通してぶっ壊すと言う理念を基に成立された団体です。

実際に彼らと知り合ったのは、多分4年ほど前のこと。彼らのパフォーマンスを初めて見て、本当に驚きました。まず、狂言回し役の聴者のメンバーが、手話も使いながら、団体には聴者と聴覚障害者が混在することを説明し、今から始まるパフォーマンスについて、その概要を紹介してくれたのです。我々観客側はフムフムと頷き、次の展開を待っておりました。すると彼らは、全く予想外の行動に出たのです。その様子を再現するとこうなります。

「さあ、今から本編のスタートです。ここまでは、聴者の我々が説明してきましたが、ここからは聴覚障害のあるメンバーにも登場してきてもらいましょう！みんな～、出ておいでえ～！」

そう呼び込もうとしたのです。分かりますか？もう一度書きますが「みんな～、出ておいでえ～！」と呼び掛けた、声を掛けたのです。当然、聴覚障害のあるメンバーには、そうした声は聞こえない。よって、暫しの静寂。しかし、彼らはもう一度呼び掛けます。「みんな～、出ておいでえ～！」当然、再びの静寂。彼らは十分“間”を取っておいて、こう言い放ったのです。

「あっ、聞こえないんだったっけ！」と。

観客は思わず互いの顔を見つめ合い、これって笑っていいのか？と言うことを確かめ合い、笑ってもいいのかも！と思えた瞬間、会場はドツと大きな笑い声に包まれたのでありました。いや、本当に驚愕の体験でした。「聞こえないことを笑ってもいいんだ」と、大げさでなく初めて思い知ったのです。

この時から、「手話エンターテイメント発信団・oioi」の熱烈なファンとなり、いつかは、彼らのことを「本」にして、もっと世の中に知らせたいと思っていました。その企画を実行に移した



のが、一昨年暮れ。とりあえず、耳の聞こえない主要メンバー5人に対してインタビューをするところからスタート。その彼女らの声を核に周辺取材も続け、「聞こえない」と言うことはどう言うことか、また聴覚障害者の日常とはどう言うものかを描いて行こうと考えていたのですが、当人たちからは、こんなリクエストが出されました。

「障害者くさい本にしたくない」

「面白く、楽しい本にして欲しい」

「本屋さんでは、福祉のコーナーではなく、お笑いのコーナーに置いてもらいたい」と。いやはや、これはなかなかのハードルです。しかし、それに加えて、彼らはこんな注文も付けてきたのです。

「耳の聞こえない人、オモロイやんけ！と思わず言っちゃう本と言うタイトルがいい」と。

ムムムム。これは、相当ハードルが高い。

障害を面白いと笑い飛ばすには、なかなかの勇気が必要です。この本の費用を、全部筆者が（小生のことですが）持つと言うのであれば、そのタイトルを拒めたでしょうが、この出版費用は、彼らがクラウドファンディングで調達することになった。（実際に当初の目標を大きく上回る二百数十万円が集まったのですが）ならば、タイトルの決定権は彼らにある訳で、せめてもの抵抗が、「耳の聞こえない人、オモロイやんけ！・・・」ではなく「耳の聞こえない人、オモロイやん！・・・」と、僅かに「け」を抜くだけと言う、まさに彼らには「毛」ほども痛くない抵抗をしただけだったのです。

しかし、このタイトルは本当にプレッシャーでした。繰り返し書きますが、障害を面白いと笑い飛ばすことなど出来るのであろうか？と書き始める前から本当に思い悩みました。そこで思い至った結論は、「人」は笑わないでおこう、その代わり「こと」を笑おう、と。笑いの対象を人物にせず、その行動を笑うと言う手法です。これであれば、たとえ笑ったとしても、その人物はあまり傷つなくて済むのではないかと思ったからです。例えば、こうです。

「お腹の鳴る音は聞こえるのですか？オナラはどうですか？」と言う質問をしてみたんですが「お腹は身体の中で聞こえるが、オナラは外なので聞こえない」とのこと。オナラにかけて言うわけではありませんが、「へ～」と言う感じ。「自分では“すかつし屁”をしているつもりだったのに、『聞こえてるで！』と言われた」であるとか「私の耳が聞こえないことをいいことに、歴代の彼氏は、私の横でオナラをしていた。オナラの音は聞こえなくとも、その臭いでバレるっっちゃうねん」と息巻く女性のエピソードなどは、確かに笑えました。

さらに「愛の囁きをしたことがあるのか？」と聞いてみました。彼らは自分の声も聞こえない。そのため今話している声大きいのか、小さいのかも分からない。そんな彼らに「彼女の耳元で愛を囁いてみたことがあるのか？」と聞いたのです。

ある男性は言いました。

「それくらい、ありますよ！」





でも、本当は嫌だなと思うことも多かった。でもね、僕が笑わないと、場が持たないということも分かった。だから、何言うてんねん！とツッコミを入れて、自分でも笑っておかないと、自分がしんどくなるんですよ」

さて、この「笑い」も、何の笑いと言えはいいのでしょうか？そもそも、これは「笑い」なんですか？

また、最も気になっていた「障害をネタにして笑いをとること」に関しても、メンバーに話を伺いました。

「聞こえないことをネタにしだして、お客さんが笑ってくれた時に、これいいなあ！これ行ける！と思ったんです。障害の話って、こっちが重く言うと、なかなか受け止めてもらえない。また、可愛そうだと言う目でも見て欲しくない。もっとサラッと言うのが大事ななと思っていたところ、お客さんに引かれることなく、普通に聞いてくれて、さらに笑ってくれて、これだ！と思いましたね」

周囲からの冷たい笑いに傷ついてきた彼ら。時に自ら小さく笑うことによって、自らを守ってきた彼ら。しかし、自らの障害を大きく笑うことで、聴者と聴覚障害者の壁を壊す道具として、この「笑い」を活用し出したのです。その効果をこう表します。

「距離が近づきますよね。障害のある人と、ない人とがね。自分の困ったことをネタにして笑ってもらえると、自分のことを理解してもらえるわけですよ。結果的に自分の生活が楽になりますよね。また、障害の無い人も、障害について今まで言ったらあかんと思っていたものが、言ってもいいんだと思ってもらえるようになって、障害のある人と、ない人との距離が随分近づくと思いますね」

もちろん、どのメンバーも始めから諸手を挙げて自らの障害を笑いにすることに賛成ではなかったと言います。しかし、次第次第に、その笑いを自らのエネルギーに変えだしたのです。

「パフォーマンスを重ねているうちに、お客さんから『良かったよ』とか、もっとシンプルに『面白かったよ』とか、さらに『聴覚障害についてもっと知りたくなったよ』とか声を掛けてくれるようになると、ああ、僕はこの場にいていいんだと思えるようになって、自信がつくようになって、聞こえない自分を受け止められるようになりましたね。そこから自分の“聞こえない”と言うことをもっと知ってもらいたいと思うようになり、コントにも積極的に参加するようになりましたね」



笑いのエネルギーの正と負の振れ幅は、何と大きいことか。oioi の障害をネタにするコントを観て、クレームを訴えてきた観客は、これまでいないと言うものの、メンバーたちも、「聴覚障害者全員が全員とも、障害を笑いにしても良いと思っているとは限らない」とも認めています。

結局この本は、そのタイトル通りに「耳の聞こえない人、オモロイやん！」と本当に思ってもらえたのでしょうか。甚だ不安です。それどころか、「笑い」の種類の高さ、さらに、その「笑い」の効果や悪影響の幅の広さに、ただただ驚き、口をポカンと開けていただけに過ぎない気がいたします。結局は、この本の中で紹介したそれぞれの笑いに関して、今の私は、残念ながら、詳細に分析する能力を皆目持ち合わせていなかったと言うことが分かっただけなのかもしれません。

しかし、いつの日か実力をため、改めて挑戦してみたいと言う決意を表明して、この拙文を締めることにいたします。最後まで、お読みいただき、本当にありがとうございました。



参考：「耳の聞こえない人、オモロイやん！と思わず言っちゃう本」A5判・188頁 本体価格 1,500円 出版社：星湖舎

## 2018 年度特色ある研究

### 「笑いが解るコミュニケーション力アップ のためのプログラム（大阪版）」開発研究

#### ～追手門学院大学生の「笑い」に関する意識調査の結果と分析～

追手門学院大学笑学研究所所長、国際教養学部教授 高垣 伸博

#### はじめに

笑学研究所の設立方針は『教育・文化のグローバル化に対応できるコミュニケーション力を備えた人材育成のための笑いとの融合をめざした、総合的な学術研究所』であり、目的のひとつに「笑いを活用した教育プログラムの研究」を掲げている。

この研究はその一環として、ユーモアを解したコミュニケーション能力のある人材育成のための教育プログラムの開発に繋がることを目標とするものである。

ここで振り返っておくが、2016 年度にこの調査・研究を開始し、参考にしたのが青砥弘幸の研究である。彼は『現代の若者の「笑い」に関する実態とその課題』（日本笑い学会論文、笑い学研究第 22 号 2015）の中で『学校教育における「ユーモア能力」育成の在り方を検討してゆくための基礎的な知見を得ることを目的として、大学生に対して実施した』と述べた上で、8つの観点からの意識調査を行っている。その8つの観点とは、①人間関係形成力としての笑い、②レジリエンスとしての笑い、③言語能力としての笑い、④伝統文化としての笑い、⑤笑いによる過剰な攻撃、⑥笑いに関する判断力の不足、⑦笑いによる呪縛、⑧笑いによる逃避、である。また、『学校教育の枠組みの中で「ユーモア能力」の意図的・系統的な育成の実現を目指していくためには、その「目標」が指定され、それに基づいた具体的かつ現実的な「方法」や「教材」が開発される必要がある。そして、そのようなカリキュラムの作成・実践するためには、さらに前提として2点について検討が必要となる。それは、第1に「生活の中で適切・効果的に〈笑い〉を活用できるとはどのような状態を指すのか」という問題であり、第2に「現代の子ども・若者は〈笑い〉に関してどのような意識や態度をもっているのか（実態・課題）」という問題である。』と指摘し、その2点目に焦点を当てて研究を行うと述べている。この青砥の調査は本研究に大いに参考になるものであり、特に興味深いのが前述の8つの観点の内の①人間関係形成力としての笑い、③言語能力としての笑い、④伝統文化としての笑い、である。



我々の調査はこの3つの観点（3つの笑い）を中心に、追手門学院大学生の「笑い」に関する意識を調査し、考察を続けている。

## 調査方法

調査方法はこれまでと同様の無記名による紙アンケート用紙記入方式で、設問は全部で24問、主に5段階（1～5）の中からの選択回答方式と解答例からの選択、また自由記述も用意した。（p95 アンケート用紙参照）

なお5段階選択方式の集計に関しては、4、5の回答をまとめて「当てはまる（積極派）」、1、2の回答をまとめて「当てはまらない（消極派）」として報告している。

なお、「現代の若者」の代表として本学学生を調査対象とし、2016年度が482人（男子238人・女子228人・不明16人）、2017年度が377人（男子216人・女子150人・不明11人）、2018年度が432人（男子253人・女子168人・不明11人）、総計1291人（男子707人・女子546人・不明38人）から回答を得た。

## 1. 人間関係（コミュニケーション能力）と家庭環境

言うまでもないが、人間関係を構築するためにはコミュニケーションは不可欠である。そのコミュニケーションとは「喋る」という行為に他ならない。（この際、ノンバーバルコミュニケーションは除外する。）

「あなたはよく喋るタイプですか？」（表①-a）との問いには、3か年ともに半数弱が「当てはまる」、つまり、「よく喋るタイプ」だと自認しているということが確認できた。ただし、言葉のキャッチボールとして「よく喋る」のか、相手を無視して「よく喋るのか」は定かではない。一方で

表①-a あなたはよく喋るタイプですか？

|      |    |       |        |        |        |        |      |
|------|----|-------|--------|--------|--------|--------|------|
| 2016 | 無口 | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | よく喋る |
|      |    | 19    | 105    | 134    | 152    | 72     |      |
|      |    | 3.90% | 21.80% | 27.80% | 31.50% | 14.90% |      |
| 2017 | 無口 | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | よく喋る |
|      |    | 12    | 76     | 118    | 102    | 69     |      |
|      |    | 3.20% | 20.20% | 31.30% | 27.10% | 18.30% |      |
| 2018 | 無口 | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | よく喋る |
|      |    | 13    | 80     | 162    | 103    | 71     |      |
|      |    | 3.03% | 18.65% | 37.76% | 24.01% | 16.55% |      |
| 合計   | 無口 | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | よく喋る |
|      |    | 44    | 261    | 414    | 357    | 212    |      |
|      |    | 3.42% | 20.26% | 32.14% | 27.72% | 16.46% |      |



| よく喋る |               | 無口   |               |
|------|---------------|------|---------------|
| 2016 | 224人 (46.47%) | 2016 | 124人 (25.73%) |
| 2017 | 171人 (45.36%) | 2017 | 86人 (23.34%)  |
| 2018 | 174人 (40.56%) | 2019 | 93人 (21.73%)  |
| 合計   | 569人 (44.18%) | 合計   | 305人 (24.68%) |

「無口」に「当てはまる」と回答した学生は平均 24.68%、つまり 4 分の 1 の学生が「無口」と自認しているということだ。この数字は看過できない割合かもしれない。

では男女で違いはあるのだろうか。(表①-b) 3 か年平均で「よく喋る」は男性が 40.1%、女性が 50% と女性のほうが 10% 上回っている。やはり女性の方が「お喋り」と言える。また「無口」は男性が女性に比べ 10% 以上多いことがわかる。つまり、積極的ではなくとも、女性の方が男性よりもよく喋ると言える。

表①-b あなたはよく喋るタイプですか？ 男女別

| 無口   | 1      | 2   | 3   | 4      | 5   | よく喋る |
|------|--------|-----|-----|--------|-----|------|
|      | 28.50% |     |     | 40.10% |     |      |
| 【男性】 | 36     | 165 | 221 | 171    | 111 |      |
| 【女性】 | 6      | 86  | 181 | 179    | 94  |      |
|      | 16.85% |     |     | 50%    |     |      |

では、どういう状況で、あるいは誰とよく喋るのか。

「友人とはよく喋りますか？」(表②-a) との設問では 3 か年とも 70% 以上が「当てはまる」という結果だ。男女別 (表②-b) でみると女子の方が 5% 男子を上回っている。

一方、友人とは「喋らない」との回答も気になるところだが、3 か年で多少の差はあるもののいずれも 1 割を満たさない範囲である。

表②-a 友人とはよく喋りますか？

|      |      |       |       |        |        |        |    |
|------|------|-------|-------|--------|--------|--------|----|
| 2016 | 喋らない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 喋る |
|      |      | 7     | 28    | 87     | 169    | 191    |    |
|      |      | 1.50% | 5.80% | 18.00% | 35.10% | 39.60% |    |
| 2017 | 喋らない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 喋る |
|      |      | 9     | 17    | 80     | 122    | 149    |    |
|      |      | 2.40% | 4.50% | 21.20% | 32.40% | 39.50% |    |
| 2018 | 喋らない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 喋る |
|      |      | 5     | 21    | 94     | 143    | 168    |    |
|      |      | 1.16% | 4.87% | 21.81% | 33.18% | 38.98% |    |
| 合計   | 喋らない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 喋る |
|      |      | 21    | 66    | 261    | 434    | 508    |    |
|      |      | 1.63% | 5.12% | 20.23% | 33.64% | 39.38% |    |



| 喋る   |               | 喋らない |             |
|------|---------------|------|-------------|
| 2016 | 360人 (74.69%) | 2016 | 35人 (7.26%) |
| 2017 | 271人 (71.06%) | 2017 | 26人 (6.90%) |
| 2018 | 311人 (72.16%) | 2018 | 26人 (6.03%) |
| 合計   | 942人 (73.02%) | 合計   | 87人 (6.74%) |

表②-b 友人とはよく喋りますか？ 男女別

| 喋らない | 1     | 2  | 3   | 4      | 5   | 喋る |
|------|-------|----|-----|--------|-----|----|
|      | 8.49% |    |     | 71.00% |     |    |
| 【男性】 | 18    | 42 | 145 | 226    | 276 |    |
| 【女性】 | 2     | 21 | 108 | 188    | 226 |    |
|      | 4.22% |    |     | 75.96% |     |    |

いずれにせよ男女ともに7割以上が友人とよく喋るということがわかった。

では、より気心が知れている家族との会話はどうか。「家族とよく喋りますか？」(表③-a) との問いに「当てはまる」と回答したのは2018年が62.27%と若干高いが、平均しても追大生の約6割は家族と喋っているという好ましい結果である。

表③-a 家族とよく喋りますか？

|      |      |       |        |        |        |        |    |
|------|------|-------|--------|--------|--------|--------|----|
| 2016 | 喋らない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 喋る |
|      |      | 23    | 56     | 118    | 149    | 136    |    |
|      |      | 4.80% | 11.60% | 24.50% | 30.90% | 28.20% |    |
| 2017 | 喋らない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 喋る |
|      |      | 14    | 30     | 109    | 109    | 115    |    |
|      |      | 3.70% | 8.00%  | 28.90% | 28.90% | 30.50% |    |
| 2018 | 喋らない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 喋る |
|      |      | 13    | 37     | 113    | 132    | 137    |    |
|      |      | 3.0%  | 8.6%   | 26.2%  | 30.6%  | 31.7%  |    |
| 合計   | 喋らない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 喋る |
|      |      | 50    | 123    | 340    | 390    | 388    |    |
|      |      | 3.90% | 9.50%  | 26.30% | 30.20% | 30.10% |    |

| 喋る   |               | 喋らない |               |
|------|---------------|------|---------------|
| 2016 | 285人 (59.13%) | 2016 | 79人 (16.39%)  |
| 2017 | 224人 (58.42%) | 2017 | 44人 (11.67%)  |
| 2018 | 269人 (62.27%) | 2018 | 50人 (11.57%)  |
| 合計   | 778人 (60.26%) | 合計   | 173人 (13.40%) |

この家族との関係性においては、前述のように家族の誰とよく喋るかということが重要なものかもしれないが、それはさておき男女によっても差があるのではなかろうか。そこで3か年の男女別を見ると(表③-b)「家族とよく喋る」のは女性が69.6%で男性の53.32%を上回っており、女性の方が家族とよく喋っていることがわかる。



表③ーb 家族とよく喋りますか？ 男女別

| 喋らない | 1      | 2  | 3   | 4      | 5   | 喋る |
|------|--------|----|-----|--------|-----|----|
|      | 15.84% |    |     | 53.32% |     |    |
| 【男性】 | 36     | 76 | 218 | 215    | 162 |    |
| 【女性】 | 13     | 42 | 111 | 162    | 218 |    |
|      | 10.07% |    |     | 69.60% |     |    |

では次に、「よく喋る」タイプが「友人ともよく喋る」のか「家族ともよく喋る」のか、それぞれの関係性を見てみることにする。

まず、「よく喋るタイプ」と自認している学生のうちで「友人とよく喋る」に「当てはまる」(表④)、つまり「よく喋り」「友人ともよく喋る」は2016年が44.80%、2017年が43%、2018年が38.32%である。17年と18年では5%弱の差があるものの、3か年平均では42.61%と、よく喋ると答えた内の4割強が友人とよく喋るということである。

表④ あなたはよく喋るタイプですか？×友人とはよく喋りますか？

| 2016 |       | 喋らない |    |     | 喋る  |     |        |
|------|-------|------|----|-----|-----|-----|--------|
|      | Q1/Q3 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5   |        |
| 無口   | 1     | 7    | 2  | 4   | 2   | 4   | 27     |
|      | 2     | 18   | 40 | 38  | 9   |     | 5.60%  |
|      | 3     |      | 5  | 38  | 57  | 34  |        |
|      | 4     |      | 2  | 4   | 66  | 80  | 216    |
| よく喋る | 5     |      | 1  | 1   | 6   | 64  | 44.80% |
| 2017 |       | 喋らない |    |     | 喋る  |     |        |
|      | Q1/Q3 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5   |        |
| 無口   | 1     | 5    | 2  | 3   |     | 2   | 18     |
|      | 2     | 3    | 8  | 32  | 29  | 4   | 4.77%  |
|      | 3     | 1    | 4  | 39  | 46  | 28  |        |
|      | 4     |      | 2  | 6   | 39  | 55  | 162    |
| よく喋る | 5     |      | 1  |     | 8   | 60  | 43%    |
| 2018 |       | 喋らない |    |     | 喋る  |     |        |
|      | Q1/Q3 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5   |        |
| 無口   | 1     | 4    | 3  | 4   |     | 2   | 19     |
|      | 2     |      | 12 | 30  | 25  | 13  | 4.44%  |
|      | 3     |      | 6  | 51  | 66  | 38  |        |
|      | 4     | 1    |    |     | 43  | 50  | 164    |
| よく喋る | 5     |      |    |     | 7   | 64  | 38.32% |
| 合計   |       | 喋らない |    |     | 喋る  |     |        |
|      | Q1/Q3 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5   |        |
| 無口   | 1     | 16   | 7  | 11  | 2   | 8   | 64     |
|      | 2     | 3    | 38 | 102 | 92  | 26  | 5.03%  |
|      | 3     | 1    | 15 | 128 | 163 | 100 |        |
|      | 4     | 1    | 4  | 10  | 148 | 185 | 542    |
| よく喋る | 5     |      | 2  | 1   | 21  | 188 | 42.61% |



また「よく喋るタイプ」と自認している学生のうちで「家族ともよく喋る」に「当てはまる」(表⑤) のも各年で大差なく、平均3割強であった。

表⑤ あなたはよく喋るタイプですか? ×家族ともよく喋りますか?

| 2016 |       | 喋らない |    |     | 喋る  |     |               |
|------|-------|------|----|-----|-----|-----|---------------|
|      | Q1/Q4 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5   |               |
| 無口   | 1     | 8    | 4  | 4   |     | 3   | 35<br>7.26%   |
|      | 2     | 4    | 19 | 30  | 41  | 11  |               |
|      | 3     | 4    | 12 | 48  | 44  | 26  |               |
|      | 4     | 3    | 18 | 26  | 48  | 57  |               |
| よく喋る | 5     | 4    | 3  | 10  | 16  | 39  | 160<br>33.20% |
|      |       |      |    |     |     |     |               |
| 2017 |       | 喋らない |    |     | 喋る  |     |               |
|      | Q1/Q4 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5   |               |
| 無口   | 1     | 5    | 1  | 4   | 1   | 1   | 21<br>5.57%   |
|      | 2     | 5    | 10 | 28  | 21  | 12  |               |
|      | 3     | 2    | 8  | 48  | 33  | 27  |               |
|      | 4     | 1    | 5  | 19  | 42  | 35  |               |
| よく喋る | 5     | 1    | 6  | 10  | 12  | 40  | 129<br>34.20% |
|      |       |      |    |     |     |     |               |
| 2018 |       | 喋らない |    |     | 喋る  |     |               |
|      | Q1/Q4 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5   |               |
| 無口   | 1     | 3    | 3  | 4   |     | 3   | 12<br>2.80%   |
|      | 2     | 5    | 12 | 25  | 27  | 11  |               |
|      | 3     | 2    | 12 | 58  | 52  | 38  |               |
|      | 4     |      | 4  | 19  | 43  | 37  |               |
| よく喋る | 5     | 3    | 4  | 6   | 10  | 48  | 138<br>32.20% |
|      |       |      |    |     |     |     |               |
| 合計   |       | 喋らない |    |     | 喋る  |     |               |
|      | Q1/Q4 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5   |               |
| 無口   | 1     | 16   | 8  | 12  | 1   | 7   | 68<br>5.32%   |
|      | 2     | 14   | 30 | 83  | 89  | 34  |               |
|      | 3     | 8    | 32 | 154 | 129 | 91  |               |
|      | 4     | 4    | 27 | 64  | 133 | 129 |               |
| よく喋る | 5     | 8    | 13 | 26  | 38  | 127 | 427<br>33.44% |
|      |       |      |    |     |     |     |               |

「友人とも家族ともよく喋る」(表⑥) も3か年とも同様の結果となり、追大生の51.27%が「友人とも家族ともよく喋る」のである。その反面「友人とも家族とも喋らない」という学生が3%弱存在している。この割合は少ないものの、心配な学生であることは間違いない。



表⑥ 友人とはよく喋りますか？×家族とよく喋りますか？

| 2016 |       | 喋らない |    |     |     | よく喋る |  |        |
|------|-------|------|----|-----|-----|------|--|--------|
|      | Q3/Q4 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5    |  |        |
| 喋らない | 1     | 6    | 1  | 0   | 0   | 0    |  | 15     |
|      | 2     | 0    | 8  | 9   | 9   | 2    |  | 3.11%  |
|      | 3     | 1    | 16 | 47  | 16  | 7    |  |        |
|      | 4     | 9    | 17 | 34  | 82  | 27   |  | 251    |
| よく喋る | 5     | 7    | 14 | 28  | 42  | 100  |  | 52.07% |
| 2017 |       | 喋らない |    |     |     | よく喋る |  |        |
|      | Q3/Q4 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5    |  |        |
| 喋らない | 1     | 4    | 0  | 2   | 1   | 2    |  | 9      |
|      | 2     | 2    | 3  | 5   | 6   | 1    |  | 2.39%  |
|      | 3     | 1    | 5  | 49  | 18  | 7    |  |        |
|      | 4     | 4    | 14 | 35  | 44  | 25   |  | 189    |
| よく喋る | 5     | 3    | 8  | 18  | 40  | 80   |  | 50.13% |
| 2018 |       | 喋らない |    |     |     | よく喋る |  |        |
|      | Q3/Q4 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5    |  |        |
| 喋らない | 1     | 3    | 0  | 0   | 0   | 2    |  | 10     |
|      | 2     | 4    | 3  | 10  | 1   | 3    |  | 2.32%  |
|      | 3     | 3    | 13 | 48  | 19  | 11   |  |        |
|      | 4     | 1    | 10 | 41  | 65  | 26   |  | 233    |
| よく喋る | 5     | 2    | 11 | 13  | 47  | 95   |  | 54.06% |
| 合計   |       | 喋らない |    |     |     | よく喋る |  |        |
|      | Q3/Q4 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5    |  |        |
| 喋らない | 1     | 13   | 1  | 2   | 1   | 4    |  | 34     |
|      | 2     | 6    | 14 | 24  | 16  | 6    |  | 2.64%  |
|      | 3     | 5    | 34 | 144 | 53  | 25   |  |        |
|      | 4     | 14   | 41 | 110 | 191 | 78   |  | 673    |
| よく喋る | 5     | 12   | 33 | 59  | 129 | 275  |  | 52.17% |

さて、人間の成長に家庭環境が大きくかわることは言うまでもない。そこで、追大生が自分の家庭のことをどう感じているのか。

「楽しい家庭ですか？」(表⑦) という問いに「当てはまる」と回答した学生が2016 年は 61.41 %、2017 年は 63.66%、2018 年は 65.28% と3 か年平均で 63.36% という結果になった。この数字は「家族とよく喋りますか」とほぼ同数である。つまり、家庭が楽しければ家族とよく喋る。当たり前ではあるが、このことは楽しい家庭環境がコミュニケーション力を育むことに大きく影響を与えていることを証明している。



表⑦ 楽しい家庭ですか？

| 2016 | 思わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 楽しい家庭 |
|------|------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|
|      |      | 23    | 53     | 110    | 170    | 126    |       |
|      |      | 4.80% | 11.00% | 22.80% | 35.30% | 26.10% |       |
| 2017 | 思わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 楽しい家庭 |
|      |      | 15    | 31     | 91     | 127    | 113    |       |
|      |      | 4.00% | 8.20%  | 24.10% | 33.70% | 30.00% |       |
| 2018 | 思わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 楽しい家庭 |
|      |      | 16    | 23     | 111    | 137    | 145    |       |
|      |      | 3.7%  | 5.3%   | 25.7%  | 31.7%  | 33.6%  |       |

| 楽しい家庭              | 思わない              |
|--------------------|-------------------|
| 2016 296人 (61.41%) | 2016 76人 (15.77%) |
| 2017 247人 (63.66%) | 2017 46人 (12.20%) |
| 2018 282人 (65.28%) | 2018 39人 (9.03%)  |
| 合計 818人 (63.36%)   | 合計 161人 (12.47%)  |

では「よく喋るタイプ」に「当てはまる」と回答した学生のうち、どれくらいの学生が「とても楽しい家庭」に「当てはまる」のか。(表⑧)

表⑧ あなたはよく喋るタイプですか？× 楽しい家庭ですか？

| 2016  | 思わない |    |    |     | 楽しい家庭 |        |
|-------|------|----|----|-----|-------|--------|
| Q1/Q5 | 1    | 2  | 3  | 4   | 5     |        |
| 無口    | 1    | 8  | 2  | 3   | 3     | 32     |
|       | 2    | 3  | 19 | 27  | 39    | 6.64%  |
|       | 3    |    | 12 | 50  | 49    |        |
|       | 4    | 8  | 13 | 22  | 65    | 162    |
| よく喋る  | 5    | 4  | 7  | 8   | 14    | 33.60% |
|       |      |    |    |     | 39    |        |
| 2017  | 思わない |    |    |     | 楽しい家庭 |        |
| Q1/Q5 | 1    | 2  | 3  | 4   | 5     |        |
| 無口    | 1    | 5  | 1  | 1   | 3     | 26     |
|       | 2    | 4  | 16 | 20  | 20    | 6.90%  |
|       | 3    | 3  | 5  | 38  | 41    |        |
|       | 4    | 1  | 6  | 25  | 42    | 127    |
| よく喋る  | 5    | 2  | 3  | 7   | 21    | 33.70% |
|       |      |    |    |     | 36    |        |
| 2018  | 思わない |    |    |     | 楽しい家庭 |        |
| Q1/Q5 | 1    | 2  | 3  | 4   | 5     |        |
| 無口    | 1    | 3  | 2  | 1   | 3     | 18     |
|       | 2    | 6  | 7  | 23  | 25    | 4.20%  |
|       | 3    | 4  | 7  | 55  | 57    |        |
|       | 4    | 1  | 4  | 19  | 37    | 135    |
| よく喋る  | 5    | 2  | 2  | 11  | 15    | 31.47% |
|       |      |    |    |     | 41    |        |
| 合計    | 思わない |    |    |     | 楽しい家庭 |        |
| Q1/Q5 | 1    | 2  | 3  | 4   | 5     |        |
| 無口    | 1    | 16 | 5  | 5   | 9     | 76     |
|       | 2    | 13 | 42 | 70  | 84    | 5.87%  |
|       | 3    | 7  | 24 | 143 | 147   |        |
|       | 4    | 10 | 23 | 66  | 144   | 424    |
| よく喋る  | 5    | 8  | 12 | 26  | 50    | 32.77% |
|       |      |    |    |     | 116   |        |

これも3か年の結果はほぼ同様で、32.77%の学生が「当てはまる」つまり3割強の学生が「自分はよく喋る」「とても楽しい家庭だ」と認識しているということである。



では「家族とよくしゃべり」「楽しい家庭」に「当てはまる」と答えた学生はどのくらいいるのだろうか。(表⑨)

2017 年が 49.6% と他年よりは若干低めではあるが、3 か年平均で 53.61% の学生が「家族とよくしゃべり」「楽しい家庭」に「当てはまる」と答えた。

わずか 3 か年の数字ではあるが、この結果だけで判断すると「家族とよく喋り、楽しい家庭に育つとよく喋る人になる」と言うことができるであろう。

表⑨ 家族とよく喋りますか？×楽しい家庭ですか？

| 2016 |       | 思わない |    |     | 楽しい家庭 |     |        |
|------|-------|------|----|-----|-------|-----|--------|
|      | Q4/Q5 | 1    | 2  | 3   | 4     | 5   |        |
| 喋らない | 1     | 9    | 12 | 1   | 1     |     | 45     |
|      | 2     | 9    | 15 | 20  | 10    | 2   | 9.34%  |
|      | 3     | 2    | 19 | 61  | 30    | 6   |        |
|      | 4     | 3    | 6  | 20  | 93    | 27  | 247    |
| 喋る   | 5     |      | 1  | 8   | 36    | 91  | 51.24% |
| 2017 |       | 思わない |    |     | 楽しい家庭 |     |        |
|      | Q4/Q5 | 1    | 2  | 3   | 4     | 5   |        |
| 喋らない | 1     | 10   | 2  | 1   |       | 1   | 29     |
|      | 2     | 2    | 15 | 10  | 3     |     | 7.69%  |
|      | 3     |      | 9  | 61  | 31    | 8   |        |
|      | 4     | 2    | 4  | 17  | 67    | 19  | 197    |
| 喋る   | 5     | 1    | 1  | 2   | 26    | 85  | 49.60% |
| 2018 |       | 思わない |    |     | 楽しい家庭 |     |        |
|      | Q4/Q5 | 1    | 2  | 3   | 4     | 5   |        |
| 喋らない | 1     | 8    | 2  | 1   | 2     |     | 24     |
|      | 2     | 3    | 11 | 13  | 9     | 1   | 5.56%  |
|      | 3     | 4    | 7  | 64  | 25    | 13  |        |
|      | 4     | 1    | 2  | 30  | 72    | 27  | 232    |
| 喋る   | 5     |      | 1  | 3   | 29    | 104 | 53.70% |
| 合計   |       | 思わない |    |     | 楽しい家庭 |     |        |
|      | Q4/Q5 | 1    | 2  | 3   | 4     | 5   |        |
| 喋らない | 1     | 27   | 16 | 3   | 3     | 1   | 98     |
|      | 2     | 14   | 41 | 43  | 22    | 3   | 7.77%  |
|      | 3     | 6    | 35 | 186 | 56    | 27  |        |
|      | 4     | 6    | 12 | 67  | 232   | 73  | 676    |
| 喋る   | 5     | 1    | 3  | 13  | 91    | 280 | 53.61% |

さて、ここまでは「喋る」という行為を中心に据えた問いかけであったが、そもそこの調査・研究は「若者の笑いに対する意識調査」であり、その目的は「コミュニケーションに役立つ笑いの意識を身に付ける」ための教育プログラムの開発である。つまり、ここでのコミュニケーションとは 1 対 1 のコミュニケーションというまでもなく、プレゼンテーション、つまり大勢の前で「喋る」ことでもある。

半数弱の追大生が「よく喋るタイプ」だと自認はしているが、では「あなたは大勢の前で喋るのが得意ですか？」との問いにはどう回答したのか。(表⑩-a)



表⑩-a あなたは大勢の前で喋るのは得意ですか？

| 2016 | 苦手 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 得意 |
|------|----|--------|--------|--------|--------|-------|----|
|      |    | 144    | 129    | 118    | 66     | 25    |    |
|      |    | 29.90% | 26.80% | 24.50% | 13.70% | 5.20% |    |
| 2017 | 苦手 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 得意 |
|      |    | 110    | 103    | 96     | 48     | 20    |    |
|      |    | 29.20% | 27.30% | 25.50% | 12.70% | 5.30% |    |
| 2018 | 苦手 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 得意 |
|      |    | 131    | 109    | 120    | 52     | 20    |    |
|      |    | 30.3%  | 25.5%  | 27.8%  | 12.0%  | 4.6%  |    |
| 合計   | 苦手 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 得意 |
|      |    | 385    | 341    | 334    | 166    | 65    |    |
|      |    | 29.80% | 26.40% | 25.90% | 12.90% | 5.00% |    |

| 得意                | 苦手                 |
|-------------------|--------------------|
| 2016 91人 (18.88%) | 2016 273人 (56.64%) |
| 2017 60人 (18.04%) | 2017 233人 (56.51%) |
| 2018 72人 (16.67%) | 2018 240人 (55.56%) |
| 合計 231人 (17.09%)  | 合計 726人 (56.24%)   |

「当てはまる」が2016年は18.88%、2017年は18.04%、2018年が16.67%と若干低めではあるが、3か年平均で約18%の学生しか大勢の前で喋る自信を持っていないのである。一方、人前で喋るのが苦手な学生も各年大差なく、平均で56.24%、6割弱の学生が「人前で喋るのは苦手」なのである。これは忌々しき問題である。この数字を変えていくにはどうすればよいかは今後の大きな課題である。

ちなみに男女差を見てみると（表⑩-b）男性のほうが「得意」と答えた割合が約6%高く、「苦手」の割合は女性のほうが約9%高い。つまり、女性のほうが人前に出ると控えめになる、つまり恥ずかしがりやということが明確に表れている。

表⑩-b あなたは大勢の前で喋るのは得意ですか？ 男女別

| 苦手   | 1      | 2   | 3   | 4      | 5  | 得意 |
|------|--------|-----|-----|--------|----|----|
|      | 50.92% |     |     | 20.65% |    |    |
| 【男性】 | 178    | 182 | 201 | 102    | 44 |    |
| 【女性】 | 197    | 148 | 121 | 60     | 20 |    |
|      | 62.19% |     |     | 15%    |    |    |

このような追大の危機的な状況の中で「よく喋るタイプ」でしかも「大勢の前で喋るのが得意だ」と言う頼もしい学生は果たしてどのくらい存在するのだろうか。（表⑪）



表⑪ あなたはよく喋るタイプですか？×あなたは大勢の前で喋るのは得意ですか？

| 2016 |       | 苦手  |     |     | 得意 |    |        |
|------|-------|-----|-----|-----|----|----|--------|
|      | Q1/Q2 | 1   | 2   | 3   | 4  | 5  |        |
| 無口   | 1     | 18  | 1   |     |    |    | 107    |
|      | 2     | 62  | 26  | 15  | 2  |    | 22.20% |
|      | 3     | 35  | 52  | 38  | 7  | 2  |        |
|      | 4     | 19  | 45  | 46  | 40 | 2  | 80     |
| よく喋る | 5     | 10  | 5   | 19  | 17 | 21 | 16.60% |
| 2017 |       | 苦手  |     |     | 得意 |    |        |
|      | Q1/Q2 | 1   | 2   | 3   | 4  | 5  |        |
| 無口   | 1     | 9   | 1   | 1   |    | 1  | 76     |
|      | 2     | 45  | 21  | 9   |    | 1  | 20.20% |
|      | 3     | 32  | 45  | 32  | 7  | 2  |        |
|      | 4     | 16  | 28  | 37  | 18 | 3  | 57     |
| よく喋る | 5     | 8   | 8   | 17  | 23 | 13 | 15.10% |
| 2018 |       | 苦手  |     |     | 得意 |    |        |
|      | Q1/Q2 | 1   | 2   | 3   | 4  | 5  |        |
| 無口   | 1     | 9   | 4   |     |    |    | 82     |
|      | 2     | 42  | 27  | 7   | 3  | 1  | 19.10% |
|      | 3     | 61  | 40  | 51  | 9  | 1  |        |
|      | 4     | 13  | 28  | 44  | 18 |    | 57     |
| よく喋る | 5     | 6   | 10  | 16  | 21 | 18 | 13.30% |
| 合計   |       | 苦手  |     |     | 得意 |    |        |
|      | Q1/Q2 | 1   | 2   | 3   | 4  | 5  |        |
| 無口   | 1     | 36  | 6   | 1   |    | 1  | 265    |
|      | 2     | 149 | 74  | 31  | 5  | 2  | 21.00% |
|      | 3     | 128 | 137 | 121 | 23 | 5  |        |
|      | 4     | 48  | 101 | 127 | 76 | 5  | 194    |
| よく喋る | 5     | 24  | 23  | 52  | 61 | 52 | 15.10% |

3 か年平均で 15.1% は存在するのだが、経年で数字を見ると 2016 年 16.6%、2017 年 15.1%、2018 年 13.3% と減少している。この傾向が続けば大変である。一方、「無口で、大勢の前も苦手」というタイプも減少している。こちらは良い傾向ではあるが、いずれにせよ引き続き調べる必要がある。

さて、「大勢の前で喋るのが得意だ」とは意味合いが異なるかもしれないが、コミュニケーションを図り人間関係を築く上で同様に重要な要素であり、「積極性」の表われでもあるのが「目立ちたがり」と言う性格である。

「あなたは目立ちたがり屋ですか？」(表⑫-a) との設問には、3 か年とも大差なく平均で 18% 弱の学生が「目立ちたがり」と答えている。反対に「控え目」と答えたのが 50% 強である。奥ゆかしさも美德ではあるが、多少目立ちたがり屋の方がよいのではないだろうか。



表⑫-a あなたは目立ちたがり屋ですか？

| 2016 | 控え目 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 目立ちたがり |
|------|-----|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
|      |     | 104    | 148    | 148    | 61     | 21    |        |
|      |     | 21.60% | 30.70% | 30.70% | 12.70% | 4.40% |        |
| 2017 | 控え目 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 目立ちたがり |
|      |     | 71     | 109    | 129    | 48     | 20    |        |
|      |     | 18.80% | 28.90% | 34.20% | 12.70% | 5.30% |        |
| 2018 | 控え目 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 目立ちたがり |
|      |     | 89     | 136    | 128    | 59     | 20    |        |
|      |     | 20.6%  | 31.5%  | 29.6%  | 13.7%  | 4.6%  |        |
| 合計   | 控え目 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 目立ちたがり |
|      |     | 264    | 393    | 355    | 168    | 61    |        |
|      |     | 21.30% | 31.70% | 28.60% | 13.50% | 4.90% |        |

| 目立ちたがり |               | 控え目  |               |
|--------|---------------|------|---------------|
| 2016   | 82人 (17.01%)  | 2016 | 252人 (52.28%) |
| 2017   | 68人 (18.04%)  | 2017 | 180人 (47.75%) |
| 2018   | 79人 (18.29%)  | 2018 | 225人 (52.08%) |
| 合計     | 229人 (17.74%) | 合計   | 657人 (50.89%) |

では、この「目立ちたがり屋」には男女差があるのだろうか。(表⑫-b)

3か年平均の結果を見てみると、「目立ちたがり屋」は女性のほうが約7% 低く、比例して「控え目」のほうは女性の方が約7% 高いことがわかる。

表⑫-b あなたは目立ちたがり屋ですか？ 男女別

| 控え目  | 1      | 2   | 3   | 4      | 5  | 目立ちたがり |
|------|--------|-----|-----|--------|----|--------|
|      | 48.94% |     |     | 20.93% |    |        |
| 【男性】 | 139    | 207 | 213 | 106    | 42 |        |
| 【女性】 | 144    | 176 | 182 | 56     | 18 |        |
|      | 55.56% |     |     | 12.85% |    |        |

「THE W」(2017年開始：日本テレビ)という女性芸人日本一を決める番組の登場に象徴されるように、今や、笑芸界への女性進出は珍しいものではなくなっている。しかし、このアンケート結果をみると、やはりまだ「目立ちたがり」は男性が一步先を進んでいると言える。

さて約6割が「家族とよく喋る」追大生であるが「よく喋る楽しい家庭」における「笑い」に関してはどうか。

「家族を笑わせますか？」(表⑬)との間に「当てはまる」と答えたのが3か年平均で45.23%である。



表⑬ 家族を笑わせますか？

| 2016 | 笑わせない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 笑わせる |
|------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|------|
|      |       | 42    | 85     | 127    | 152    | 76     |      |
|      |       | 8.70% | 17.60% | 26.30% | 31.50% | 15.80% |      |
| 2017 | 笑わせない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 笑わせる |
|      |       | 24    | 61     | 126    | 103    | 63     |      |
|      |       | 6.40% | 16.20% | 33.40% | 27.30% | 16.70% |      |
| 2018 | 笑わせない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 笑わせる |
|      |       | 23    | 67     | 151    | 128    | 61     |      |
|      |       | 5.3%  | 15.6%  | 35.1%  | 29.8%  | 14.2%  |      |
| 合計   | 笑わせない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 笑わせる |
|      |       | 89    | 213    | 404    | 383    | 200    |      |
|      |       | 6.90% | 16.50% | 31.30% | 29.70% | 15.50% |      |

| 笑わせる |               | 笑わせない |               |
|------|---------------|-------|---------------|
| 2016 | 220人 (47.32%) | 2016  | 127人 (26.35%) |
| 2017 | 165人 (44.03%) | 2017  | 65人 (22.55%)  |
| 2018 | 189人 (43.95%) | 2018  | 90人 (20.93%)  |
| 合計   | 503人 (45.23%) | 合計    | 302人 (23.43%) |

しかし「楽しい家庭ですか」(前出表⑦)と答えた 60% 強と比べると約 15% 少ないことになる。当然ではあるが、「楽しい」と「笑いがあること」とは必ずしも一致するのではないということであろう。

では先ほどの「家族を笑わせる」と回答したのはどんな学生なのか。

そこで「よく喋るタイプですか?」と「家族を笑わせますか?」の関係を見てみることにする。  
(表⑭)



表⑭ あなたはよく喋るタイプですか？×家族を笑わせますか？

| 2016 |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |    |  |        |
|------|-------|-------|----|-----|------|----|--|--------|
|      | Q1/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5  |  |        |
| 無口   | 1     | 11    | 1  | 3   | 2    | 2  |  | 55     |
|      | 2     | 10    | 33 | 30  | 27   | 5  |  | 11.40% |
|      | 3     | 5     | 26 | 60  | 30   | 13 |  |        |
|      | 4     | 9     | 18 | 27  | 73   | 25 |  | 149    |
| よく喋る | 5     | 7     | 7  | 7   | 20   | 31 |  | 30.90% |
| 2017 |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |    |  |        |
|      | Q1/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5  |  |        |
| 無口   | 1     | 4     | 3  | 3   |      | 2  |  | 39     |
|      | 2     | 10    | 22 | 24  | 13   | 7  |  | 10.34% |
|      | 3     | 4     | 20 | 53  | 32   | 9  |  |        |
|      | 4     | 1     | 12 | 34  | 34   | 21 |  | 103    |
| よく喋る | 5     | 5     | 4  | 12  | 24   | 24 |  | 27.30% |
| 2018 |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |    |  |        |
|      | Q1/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5  |  |        |
| 無口   | 1     | 4     | 4  | 3   | 1    | 1  |  | 36     |
|      | 2     | 8     | 20 | 31  | 16   | 4  |  | 8.43%  |
|      | 3     | 7     | 23 | 71  | 49   | 12 |  |        |
|      | 4     | 2     | 12 | 30  | 45   | 13 |  | 106    |
| よく喋る | 5     | 2     | 6  | 15  | 17   | 31 |  | 24.82% |
| 合計   |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |    |  |        |
|      | Q1/Q3 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5  |  |        |
| 無口   | 1     | 19    | 8  | 9   | 3    | 5  |  | 130    |
|      | 2     | 28    | 75 | 85  | 56   | 16 |  | 10.25% |
|      | 3     | 16    | 69 | 184 | 111  | 34 |  |        |
|      | 4     | 12    | 42 | 91  | 152  | 59 |  | 358    |
| よく喋る | 5     | 14    | 17 | 16  | 61   | 86 |  | 28.23% |

2016 年が 30.9%、2017 年は約 3% 少ない 27.3%、2018 年は更に約 2% ダウンの 24.82% である。3 か年平均 28.23% という数字を多いと見るか、少ないと見るか。また、わずか 3 か年での判断は早計かもしれないが、減少傾向にあるのが気になるところだ。

次に「家族とよく喋る」と「家族を笑わせる」の関係を見てみることにする。果たして「家族とよく喋り、家族を笑わせる」学生はどのくらいいるのだろうか。(表⑮)



表⑮ 家族とよく喋りますか？×家族を笑わせますか？

| 2016 |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |  |        |
|------|-------|-------|----|-----|------|-----|--|--------|
|      | Q4/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |  |        |
| 喋らない | 1     | 15    | 6  | 1   | 1    |     |  | 60     |
|      | 2     | 16    | 23 | 7   | 8    | 2   |  | 12.45% |
|      | 3     | 8     | 33 | 55  | 17   | 5   |  |        |
|      | 4     | 1     | 22 | 48  | 66   | 12  |  | 195    |
| 喋る   | 5     | 2     | 1  | 16  | 60   | 57  |  | 40.46% |
| 2017 |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |  |        |
|      | Q4/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |  |        |
| 喋らない | 1     | 10    | 1  | 1   | 1    | 1   |  | 32     |
|      | 2     | 7     | 14 | 7   | 2    |     |  | 8.49%  |
|      | 3     | 4     | 32 | 58  | 13   | 2   |  |        |
|      | 4     |       | 9  | 41  | 51   | 8   |  | 147    |
| 喋る   | 5     | 3     | 5  | 19  | 36   | 52  |  | 38.99% |
| 2018 |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |  |        |
|      | Q4/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |  |        |
| 喋らない | 1     | 10    | 2  | 1   |      |     |  | 40     |
|      | 2     | 6     | 22 | 4   | 5    |     |  | 9.30%  |
|      | 3     | 4     | 28 | 64  | 11   | 4   |  |        |
|      | 4     | 2     | 10 | 59  | 56   | 5   |  | 169    |
| 喋る   | 5     | 1     | 5  | 23  | 56   | 52  |  | 39.30% |
| 合計   |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |  |        |
|      | Q4/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |  |        |
| 喋らない | 1     | 35    | 9  | 3   | 2    | 1   |  | 132    |
|      | 2     | 29    | 59 | 18  | 15   | 2   |  | 10.24% |
|      | 3     | 16    | 93 | 177 | 41   | 11  |  |        |
|      | 4     | 3     | 41 | 148 | 173  | 25  |  | 511    |
| 喋る   | 5     | 6     | 11 | 58  | 152  | 161 |  | 39.64% |

2016 年は 40.46%、2017 年は微減の 38.99%、2018 年は 39.3%、平均 39.64% の学生が「家族とよく喋り、家族を笑わせている」という結果であった。およそ 4 割の学生が「家族とよく喋って、家族を笑わせている」のは好ましい結果である。

では「楽しい家庭」と「家族を笑わせる」関係となるとどうだろうか。(表⑯)



表⑩ 楽しい家庭ですか？×家族を笑わせますか？

| 2016  |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |        |
|-------|-------|-------|----|-----|------|-----|--------|
|       | Q5/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |        |
| 思わない  | 1     | 16    | 6  |     | 1    |     | 58     |
|       | 2     | 14    | 22 | 11  | 6    |     | 12.24% |
|       | 3     | 6     | 34 | 51  | 14   | 5   |        |
|       | 4     | 4     | 19 | 47  | 86   | 14  | 202    |
| 楽しい家庭 | 5     | 2     | 4  | 18  | 45   | 57  | 41.91% |
| 2017  |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |        |
|       | Q5/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |        |
| 思わない  | 1     | 9     | 3  | 1   | 1    | 1   | 35     |
|       | 2     | 7     | 16 | 7   |      | 1   | 9.28%  |
|       | 3     | 6     | 19 | 54  | 11   | 1   |        |
|       | 4     | 2     | 17 | 39  | 56   | 13  | 151    |
| 楽しい家庭 | 5     |       | 6  | 25  | 35   | 47  | 40.05% |
| 2018  |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |        |
|       | Q5/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |        |
| 思わない  | 1     | 12    | 2  | 1   |      |     | 29     |
|       | 2     | 4     | 11 | 4   | 4    |     | 6.74%  |
|       | 3     | 4     | 34 | 63  | 8    | 2   |        |
|       | 4     | 2     | 12 | 50  | 70   | 3   | 175    |
| 楽しい家庭 | 5     | 1     | 8  | 33  | 46   | 56  | 40.70% |
| 合計    |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |        |
|       | Q5/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |        |
| 思わない  | 1     | 37    | 11 | 2   | 2    | 1   | 122    |
|       | 2     | 25    | 49 | 22  | 10   | 1   | 9.61%  |
|       | 3     | 16    | 67 | 168 | 33   | 8   |        |
|       | 4     | 8     | 48 | 136 | 212  | 30  | 528    |
| 楽しい家庭 | 5     | 3     | 18 | 76  | 126  | 160 | 41.61% |

2016年は41.91%、2017年は40.05%、2018年は40.7%、平均41.61%の学生が「楽しい家庭で、家族を笑わせる」ということである。彼らは楽しい円満な家庭環境にあり、「楽しい家庭」環境が「よく喋り」「笑わせる」ことに良い影響を与えているということである。

## 2. 良好な人間関係を育む「笑い」

### 2-1 能動的な「笑い」

ここでは前提として、「笑う」という結果を引き出す能動的な行為、つまり「笑わせる」と言う行為を能動的な「笑い」として考察してゆくことにする。

前項では「家族」を相手に「笑わせる」のかどうかを見てきたが、ここでは笑わす対象を「家族」に限定せずに、間口を広げて「人を笑わせるのが得意ですか？」と問いかけた。(表⑪-a)



表⑰-a 人を笑わせるのは得意ですか？

|      |    |        |        |        |        |       |    |
|------|----|--------|--------|--------|--------|-------|----|
| 2016 | 苦手 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 得意 |
|      |    | 77     | 125    | 195    | 61     | 24    |    |
|      |    | 16.00% | 25.90% | 40.50% | 12.70% | 5.00% |    |
| 2017 | 苦手 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 得意 |
|      |    | 38     | 103    | 160    | 49     | 27    |    |
|      |    | 10.10% | 27.30% | 42.40% | 13.00% | 7.20% |    |
| 2018 | 苦手 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 得意 |
|      |    | 45     | 141    | 169    | 50     | 27    |    |
|      |    | 10.4%  | 32.6%  | 39.1%  | 11.6%  | 6.3%  |    |
| 合計   | 苦手 | 1      | 2      | 3      | 4      | 5     | 得意 |
|      |    | 160    | 369    | 524    | 160    | 78    |    |
|      |    | 13.40% | 26.50% | 41.30% | 12.80% | 5.90% |    |

|      |               |  |      |               |  |
|------|---------------|--|------|---------------|--|
| 得意   |               |  | 苦手   |               |  |
| 2016 | 85人 (17.63%)  |  | 2016 | 202人 (41.91%) |  |
| 2017 | 76人 (20.16%)  |  | 2017 | 141人 (37.40%) |  |
| 2018 | 77人 (17.82%)  |  | 2018 | 186人 (43.06%) |  |
| 合計   | 238人 (18.44%) |  | 合計   | 529人 (40.98%) |  |

2016 年は「当てはまる」が 17.63% であったが、2017 年は 20.16%、2018 年は 17.82%、3 か年で平均 18.44% である。それに対して「当てはまらない」が平均 40.98% であった。

「笑わせる」という能動的な行為に対して、本当に「ウケている」のか「ウケていない」のかは判らないが、回答者自身が「受けている」自信があつて「笑わせるのが得意」と認識しているのだと判断せざるを得ない。また、そのように自認することが円滑なコミュニケーション形成において重要なことであろう。つまり、前向きな姿勢ということである。

では、この設問での男女差はどうであろうか。(表⑰-b)

表⑰-b 人を笑わせるのは得意ですか？ 男女別

|      |        |     |     |        |    |    |
|------|--------|-----|-----|--------|----|----|
| 苦手   | 1      | 2   | 3   | 4      | 5  | 得意 |
|      | 40.45% |     |     | 20.23% |    |    |
| 【男性】 | 93     | 193 | 278 | 94     | 49 |    |
| 【女性】 | 62     | 163 | 233 | 61     | 27 |    |
|      | 41.21% |     |     | 16.12% |    |    |

3 か年平均で「得意」は男性の方が約 4% 高いが、「苦手」は大差がない。このデータだけで判断はできないが、前述の「目立ちたがり」と同様に、「笑わせること」も男性の方が一歩先を進んでいると言えるのかもしれない。

では「よく喋る」と「人を笑わせる」こととの関係はどうなのか。「下手な鉄砲も数撃ちや当たる」ではないが、打たなければ当たらない、つまり確率の問題で「よく喋らなければ笑わせられない」はずである。



「よく喋りかつ人を笑わせるのが得意」と自認する学生はでおうであろうか。(表⑱)

表⑱ あなたはよく喋るタイプですか？×人を笑わせるのは得意ですか？

| 2016 |        | 苦手 |     |     | 得意 |    |        |
|------|--------|----|-----|-----|----|----|--------|
|      | Q1/Q12 | 1  | 2   | 3   | 4  | 5  |        |
| 無口   | 1      | 13 | 1   | 3   | 2  |    | 90     |
|      | 2      | 39 | 37  | 24  | 4  | 1  | 18.67% |
|      | 3      | 14 | 43  | 69  | 7  | 1  |        |
|      | 4      | 8  | 37  | 75  | 26 | 6  | 70     |
| よく喋る | 5      | 3  | 7   | 24  | 22 | 16 | 14.52% |
| 2017 |        | 苦手 |     |     | 得意 |    |        |
|      | Q1/Q12 | 1  | 2   | 3   | 4  | 5  |        |
| 無口   | 1      | 6  | 3   | 2   |    | 1  | 60     |
|      | 2      | 20 | 31  | 22  | 1  | 2  | 15.92% |
|      | 3      | 7  | 40  | 60  | 9  | 2  |        |
|      | 4      | 4  | 17  | 54  | 21 | 6  | 61     |
| よく喋る | 5      | 1  | 12  | 22  | 18 | 16 | 16.18% |
| 2018 |        | 苦手 |     |     | 得意 |    |        |
|      | Q1/Q12 | 1  | 2   | 3   | 4  | 5  |        |
| 無口   | 1      | 7  | 5   | 1   |    |    | 72     |
|      | 2      | 20 | 40  | 17  | 1  | 2  | 16.78% |
|      | 3      | 12 | 58  | 77  | 14 | 1  |        |
|      | 4      | 4  | 30  | 49  | 16 | 4  | 59     |
| よく喋る | 5      | 2  | 7   | 23  | 19 | 20 | 13.75% |
| 合計   |        | 苦手 |     |     | 得意 |    |        |
|      | Q1/Q12 | 1  | 2   | 3   | 4  | 5  |        |
| 無口   | 1      | 26 | 9   | 6   | 2  | 1  | 222    |
|      | 2      | 79 | 108 | 63  | 6  | 5  | 17.24% |
|      | 3      | 33 | 141 | 206 | 30 | 4  |        |
|      | 4      | 16 | 84  | 178 | 63 | 16 | 190    |
| よく喋る | 5      | 6  | 26  | 69  | 59 | 52 | 14.75% |

2016年は14.52%、2017年は微増の16.18%、2018年は13.75%と若干の減少はあるものの平均で14.75%である。

確率の問題と述べたが、「よく喋る」ことは「笑わせる」ことの必要最低条件ではあるだろうが、言葉数が少なくても「笑わせるのが得意」、つまり天才的なヒットメーカーも存在するであろう。

「どんなかなぁー」「3分間待つのだぞ！」の笑福亭仁鶴師も連射砲のごとく喋りまくり、笑わせまくって一世を風靡した爆笑王であったが、家では寡黙であったという。しかし、そんな天才肌ではない凡人は日ごろからよく喋ることが必要不可欠であろう。

因みに「人を笑わせるのが得意」に「当てはまる」と回答した学生（3と回答した学生も含む）に対する「あなたは漫才で言うとどちらのタイプ（ボケ&ツッコミ）ですか？」という設問に対して興味深い結果が出た。(表⑲-a)



表⑨-a あなたは漫才で言うどちらのタイプですか？

| 2016 | ツッコミ | 1      | 2      | 3      | 4      | 5      | ボケ |
|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
|      |      | 43     | 64     | 137    | 58     | 35     |    |
|      |      | 12.80% | 19.00% | 40.70% | 17.20% | 10.40% |    |
| 2017 | ツッコミ | 1      | 2      | 3      | 4      | 5      | ボケ |
|      |      | 29     | 52     | 102    | 60     | 34     |    |
|      |      | 10.50% | 18.80% | 36.80% | 21.70% | 12.30% |    |
| 2018 | ツッコミ | 1      | 2      | 3      | 4      | 5      | ボケ |
|      |      | 31     | 61     | 116    | 61     | 35     |    |
|      |      | 10.2%  | 20.1%  | 38.2%  | 20.1%  | 11.5%  |    |
| 合計   | ツッコミ | 1      | 2      | 3      | 4      | 5      | ボケ |
|      |      | 103    | 177    | 355    | 179    | 104    |    |
|      |      | 11.70% | 18.90% | 38.90% | 19.20% | 11.20% |    |

| ボケ                | ツッコミ               |
|-------------------|--------------------|
| 2016 93人 (27.60%) | 2016 107人 (31.75%) |
| 2017 94人 (33.93%) | 2017 81人 (29.24%)  |
| 2018 96人 (31.58%) | 2018 92人 (30.26%)  |
| 合計 283人 (30.83%)  | 合計 280人 (30.50%)   |

「ボケ」(回答 4、5)と「ツッコミ」(回答 1、2)を比較すると、2016 年では「ボケ」が 27.6% で「ツッコミ」が 31.75%、2017 年は「ボケ」が 33.930% で「ツッコミ」が 29.24%、2018 年は「ボケ」が 31.58% で「ツッコミ」が 30.5%、3 か年平均はなんと「ボケ」の 30.83% に対して「ツッコミ」が 30.5%、人数比で 283 人対 280 人とほぼ同数であった。

この結果は偶然なのだろうか。他大学生の場合はどうなるのか気になるところであるが、追大生が漫才コンビを組む際に役割分担で採めることはないと言えよう。

因みに男女差はあるのだろうか。(表⑨-b)

表⑨-b あなたは漫才で言うどちらのタイプですか？

| ツッコミ | 1      | 2  | 3   | 4      | 5  | ボケ |
|------|--------|----|-----|--------|----|----|
|      | 31.32% |    |     | 31.52% |    |    |
| 【男性】 | 67     | 94 | 191 | 98     | 64 |    |
| 【女性】 | 32     | 81 | 151 | 74     | 39 |    |
|      | 29.97% |    |     | 29.97% |    |    |

3 か年平均の男女別を見てみると、驚くことに女性は「ボケ」「ツッコミ」とともに 113 人と同数であった。(※前出の表⑨-a と表⑨-b の人数が合わないのは、性別未回答があるため)

男女コンビを組むより、同性コンビの方が組みやすいということである。

さて、一口に「笑わせる」と言っても、その手法は様々である。日常生活においては言葉遊びの類が一般的であろう。とりわけ「冗談」と称されるものである。その「冗談」に対しても解釈は多様であるが、ここではその解釈はさておき、日常的に日本人同士において通じる用語としての「冗



談」をさすことにする。コミュニケーションにおいて、その「冗談」が言えるかどうかが重要である。「あなたはよく冗談を言うタイプですか？」との設問に対して「当てはまる」と答えた学生は2016年が54.89%、2017年は53.72%、2018年が49.77%と、平均で52.84%の学生が「よく冗談を言うタイプ」と自認している。(表⑳)

表㉔ あなたはよく冗談を言うタイプですか？

| 2016 | 言わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | よく言う |
|------|------|-------|--------|--------|--------|--------|------|
|      |      | 19    | 62     | 136    | 162    | 102    |      |
|      |      | 4.00% | 12.90% | 28.30% | 33.70% | 21.20% |      |
| 2017 | 言わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | よく言う |
|      |      | 10    | 46     | 118    | 123    | 79     |      |
|      |      | 2.70% | 12.20% | 31.40% | 32.70% | 21.00% |      |
| 2018 | 言わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | よく言う |
|      |      | 17    | 65     | 133    | 139    | 74     |      |
|      |      | 4.0%  | 15.2%  | 31.1%  | 32.5%  | 17.3%  |      |
| 合計   | 言わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | よく言う |
|      |      | 46    | 173    | 387    | 424    | 255    |      |
|      |      | 3.40% | 12.60% | 29.60% | 33.30% | 21.10% |      |

| よく言う |               | 言わない |               |
|------|---------------|------|---------------|
| 2016 | 254人 (54.89%) | 2016 | 87人 (16.84%)  |
| 2017 | 202人 (53.72%) | 2017 | 56人 (14.89%)  |
| 2018 | 213人 (49.77%) | 2018 | 83人 (19.16%)  |
| 合計   | 679人 (52.84%) | 合計   | 219人 (17.04%) |

では「よく喋る」と「よく冗談を言う」との関係性はどうか。「よく喋り、しかもよく冗談を言う」学生は2016年が35.6%、2017年が33.51%とさほど大差はないが、2018年は28.71%と少なく、3カ年平均33.39%であった。つまり追大生の3割強が「よく喋り、しかもよく冗談を言う」のである。(表㉕)



表㉑ あなたはよく喋るタイプですか？×あなたはよく冗談をいうタイプですか？

| 2016 |       | 言わない |    |     | よく言う |     |  |        |
|------|-------|------|----|-----|------|-----|--|--------|
|      | Q1/Q7 | 1    | 2  | 3   | 4    | 5   |  |        |
| 無口   | 1     | 6    | 2  | 3   | 3    | 5   |  | 47     |
|      | 2     | 8    | 31 | 41  | 21   | 4   |  | 9.77%  |
|      | 3     | 1    | 15 | 57  | 44   | 16  |  |        |
|      | 4     | 3    | 12 | 27  | 79   | 31  |  | 171    |
| よく喋る | 5     | 1    | 2  | 8   | 15   | 46  |  | 35.60% |
| 2017 |       | 言わない |    |     | よく言う |     |  |        |
|      | Q1/Q7 | 1    | 2  | 3   | 4    | 5   |  |        |
| 無口   | 1     | 1    | 4  | 4   |      | 3   |  | 32     |
|      | 2     | 7    | 20 | 26  | 19   | 4   |  | 8.51%  |
|      | 3     | 1    | 12 | 54  | 40   | 10  |  |        |
|      | 4     | 1    | 5  | 24  | 53   | 19  |  | 126    |
| よく喋る | 5     |      | 5  | 10  | 11   | 43  |  | 33.51% |
| 2018 |       | 言わない |    |     | よく言う |     |  |        |
|      | Q1/Q7 | 1    | 2  | 3   | 4    | 5   |  |        |
| 無口   | 1     | 3    | 5  | 4   |      | 1   |  | 40     |
|      | 2     | 7    | 25 | 29  | 14   | 4   |  | 9.41%  |
|      | 3     | 1    | 20 | 70  | 53   | 16  |  |        |
|      | 4     | 4    | 12 | 20  | 48   | 19  |  | 122    |
| よく喋る | 5     | 2    | 3  | 10  | 21   | 34  |  | 28.71% |
| 合計   |       | 言わない |    |     | よく言う |     |  |        |
|      | Q1/Q7 | 1    | 2  | 3   | 4    | 5   |  |        |
| 無口   | 1     | 10   | 11 | 11  | 3    | 9   |  | 119    |
|      | 2     | 22   | 76 | 69  | 54   | 12  |  | 9.48%  |
|      | 3     | 3    | 47 | 181 | 137  | 42  |  |        |
|      | 4     | 8    | 29 | 71  | 180  | 69  |  | 419    |
| よく喋る | 5     | 3    | 10 | 28  | 47   | 123 |  | 33.39% |

では前出の「家族を笑わせますか？」と「よく冗談を言うタイプですか？」の関係はどうだろうか。(表㉒)



表② あなたはよく冗談を言うタイプですか？×家族を笑わせますか？

| 2016 |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |        |
|------|-------|-------|----|-----|------|-----|--------|
|      | Q7/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |        |
| 言わない | 1     | 7     | 6  | 4   | 2    |     | 45     |
|      | 2     | 7     | 25 | 17  | 12   | 1   | 9.36%  |
|      | 3     | 8     | 25 | 58  | 36   | 9   |        |
|      | 4     | 11    | 19 | 36  | 71   | 25  | 168    |
| よく言う | 5     | 9     | 9  | 12  | 31   | 41  | 34.93% |
| 2017 |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |        |
|      | Q7/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |        |
| 言わない | 1     | 3     | 1  | 4   | 2    |     | 30     |
|      | 2     | 3     | 23 | 16  | 3    | 1   | 7.98%  |
|      | 3     | 8     | 16 | 58  | 29   | 7   |        |
|      | 4     | 5     | 17 | 35  | 48   | 18  | 124    |
| よく言う | 5     | 5     | 3  | 13  | 21   | 37  | 32.98% |
| 2018 |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |        |
|      | Q7/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |        |
| 言わない | 1     | 1     | 6  | 6   | 2    | 1   | 33     |
|      | 2     | 10    | 16 | 27  | 11   | 1   | 7.75%  |
|      | 3     | 4     | 24 | 57  | 34   | 13  |        |
|      | 4     | 5     | 17 | 44  | 56   | 17  | 127    |
| よく言う | 5     | 3     | 3  | 14  | 25   | 29  | 29.81% |
| 合計   |       | 笑わせない |    |     | 笑わせる |     |        |
|      | Q7/Q6 | 1     | 2  | 3   | 4    | 5   |        |
| 言わない | 1     | 11    | 13 | 14  | 6    | 1   | 108    |
|      | 2     | 20    | 64 | 60  | 26   | 3   | 8.55%  |
|      | 3     | 20    | 65 | 173 | 99   | 29  |        |
|      | 4     | 21    | 53 | 115 | 175  | 60  | 419    |
| よく言う | 5     | 17    | 15 | 19  | 77   | 107 | 33.17% |

2016 年が 34.93%、2017 年が 32.93%、2018 年が 29.81%、平均で 33.17% が「当てはまる」と答えている。

では「よく冗談を言うタイプ」で「人を笑わせるのが得意」な学生は果たしてどれくらいいるのだろうか。(表③)



表②③ あなたはよく冗談を言うタイプですか？×人を笑わせるのは得意ですか？

| 2016 |        | 苦手 |     |     |    | 得意 |  |        |
|------|--------|----|-----|-----|----|----|--|--------|
|      | Q7/Q12 | 1  | 2   | 3   | 4  | 5  |  |        |
| 言わない | 1      | 15 | 2   | 2   |    |    |  | 67     |
|      | 2      | 19 | 31  | 9   | 3  |    |  | 13.93% |
|      | 3      | 21 | 46  | 60  | 8  | 1  |  |        |
|      | 4      | 11 | 37  | 86  | 26 | 2  |  | 73     |
| よく言う | 5      | 10 | 9   | 38  | 24 | 21 |  | 15.18% |
| 2017 |        | 苦手 |     |     |    | 得意 |  |        |
|      | Q7/Q12 | 1  | 2   | 3   | 4  | 5  |  |        |
| 言わない | 1      | 7  | 2   | 1   |    |    |  | 44     |
|      | 2      | 14 | 21  | 10  | 1  |    |  | 11.70% |
|      | 3      | 10 | 40  | 58  | 7  | 3  |  |        |
|      | 4      | 4  | 33  | 59  | 22 | 5  |  | 65     |
| よく言う | 5      | 3  | 6   | 32  | 19 | 19 |  | 17.29% |
| 2018 |        | 苦手 |     |     |    | 得意 |  |        |
|      | Q7/Q12 | 1  | 2   | 3   | 4  | 5  |  |        |
| 言わない | 1      | 9  | 5   | 3   |    |    |  | 63     |
|      | 2      | 15 | 34  | 13  | 3  |    |  | 14.72% |
|      | 3      | 14 | 62  | 51  | 4  | 2  |  |        |
|      | 4      | 2  | 32  | 76  | 24 | 5  |  | 67     |
| よく言う | 5      | 4  | 7   | 25  | 18 | 20 |  | 15.65% |
| 合計   |        | 苦手 |     |     |    | 得意 |  |        |
|      | Q7/Q12 | 1  | 2   | 3   | 4  | 5  |  |        |
| 言わない | 1      | 31 | 9   | 6   |    |    |  | 174    |
|      | 2      | 48 | 86  | 32  | 7  |    |  | 13.54% |
|      | 3      | 45 | 148 | 169 | 19 | 6  |  |        |
|      | 4      | 17 | 102 | 221 | 72 | 12 |  | 205    |
| よく言う | 5      | 17 | 22  | 95  | 61 | 60 |  | 15.95% |

これに「当てはまる」つまり「よく冗談を言い、人を笑わせるのが得意」な学生は2016 年が15.18%、2017 年が17.29%、2018 年が15.65%、3 か年平均で15.95% であった。

以上の結果から考えられることは、よく冗談を言うとは自覚していても、家族を笑わせるよりも、広く人を笑わせる方が難しいということである。

## 2-2 受動的な「笑い」

次に受動的な「笑い」について考えてみたい。能動的な「笑い」である「笑わせる」行為に対して、受動的な「笑い」とは、その反対の行為、つまり何らかの要因によって「笑わされた」結果としての「笑う」という行為のことである。この「笑う」という行為に関して学生はどう自己分析しているのだろうか。

「あなた自身はよく笑うタイプですか？」(表②④-a) との問いに、3 か年平均で72.05% が「当てはまる」と回答している。



表④-a あなた自身はよく笑うタイプですか？

|      |      |       |       |        |        |        |    |
|------|------|-------|-------|--------|--------|--------|----|
| 2016 | 笑わない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 笑う |
|      |      | 5     | 37    | 91     | 157    | 179    |    |
|      |      | 1.10% | 7.90% | 19.40% | 33.50% | 38.20% |    |
| 2017 | 笑わない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 笑う |
|      |      | 3     | 30    | 63     | 119    | 154    |    |
|      |      | 0.80% | 8.10% | 17.10% | 32.20% | 41.70% |    |
| 2018 | 笑わない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 笑う |
|      |      | 3     | 32    | 87     | 114    | 182    |    |
|      |      | 0.7%  | 7.7%  | 20.8%  | 27.3%  | 43.5%  |    |
| 合計   | 笑わない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 笑う |
|      |      | 11    | 99    | 241    | 390    | 515    |    |
|      |      | 1.00% | 8.00% | 18.40% | 32.90% | 39.70% |    |

| 笑う                 | 笑わない             |
|--------------------|------------------|
| 2016 336人 (71.64%) | 2016 42人 (8.96%) |
| 2017 273人 (73.96%) | 2017 33人 (6.94%) |
| 2018 296人 (70.81%) | 2018 35人 (8.37%) |
| 合計 905人 (72.09%)   | 合計 110人 (8.76%)  |

良好なコミュニケーションを築くための「笑い」は、相手を「笑わせる」と言う行為だけではなく、相手への気遣いであり、傾聴のリアクションとしての「笑う」という行為も重要である。

この「よく笑う」行為には、男女の差があるのだろうか。一般的には女性の方が男性よりよく笑うといわれているが、3か年平均でやはり女性の方が12%高い結果が出ている。(表④-b)

表④-b あなた自身はよく笑うタイプですか？ 男女別

| 笑わない | 1      | 2  | 3   | 4      | 5   | 笑う |
|------|--------|----|-----|--------|-----|----|
|      | 11.64% |    |     | 67.54% |     |    |
| 【男性】 | 8      | 72 | 143 | 218    | 246 |    |
| 【女性】 | 2      | 22 | 89  | 163    | 257 |    |
|      | 4.50%  |    |     | 78.80% |     |    |

また前述のように、コミュニケーションには時と場合によって「愛想笑い」も必要である。そこで「あなたは人の冗談に対して好意的に笑う方ですか？」と聞いてみた。(表⑤-a)



表㉔-a あなたは人の冗談に対して好意的に笑う方ですか？

|      |        |       |       |        |        |        |     |
|------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|-----|
| 2016 | 好意的でない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 好意的 |
|      |        | 7     | 31    | 141    | 183    | 114    |     |
|      |        | 1.50% | 6.50% | 29.60% | 38.40% | 23.90% |     |
| 2017 | 好意的でない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 好意的 |
|      |        | 4     | 12    | 98     | 158    | 104    |     |
|      |        | 1.10% | 3.20% | 26.10% | 42.00% | 27.70% |     |
| 2018 | 好意的でない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 好意的 |
|      |        | 8     | 28    | 117    | 174    | 95     |     |
|      |        | 1.9%  | 6.6%  | 27.7%  | 41.2%  | 22.5%  |     |
| 合計   | 好意的でない | 1     | 2     | 3      | 4      | 5      | 好意的 |
|      |        | 19    | 71    | 356    | 515    | 313    |     |
|      |        | 1.30% | 5.00% | 28.10% | 40.00% | 25.60% |     |

|      |               |        |             |
|------|---------------|--------|-------------|
| 好意的  |               | 好意的でない |             |
| 2016 | 297人 (62.39%) | 2016   | 38人 (7.98%) |
| 2017 | 262人 (69.68%) | 2017   | 16人 (4.26%) |
| 2018 | 269人 (63.74%) | 2018   | 36人 (8.53%) |
| 合計   | 828人 (64.99%) | 合計     | 90人 (7.06%) |

「当てはまる」は3か年とも大きな差はなく、平均で 64.99% の学生が「好意的に笑う」と言う結果であった。笑わせなくとも、好意的に笑うこともコミュニケーションにおいては重要なマナーである。

では「好意的に笑う」のに男女差はあるだろうか。(表㉔-b)

表㉔-b あなたは人の冗談に対して好意的に笑う方ですか？

|        |        |    |     |        |     |     |
|--------|--------|----|-----|--------|-----|-----|
| 好意的でない | 1      | 2  | 3   | 4      | 5   | 好意的 |
|        | 19.40% |    |     | 53.73% |     |     |
| 【男性】   | 12     | 40 | 72  | 95     | 49  |     |
| 【女性】   | 6      | 30 | 136 | 221    | 145 |     |
|        | 6.69%  |    |     | 68.03% |     |     |

男女差の3か年平均を比べてみると、男性に対して女性の方が約 14% も上回っている。これも、女性の方がよく笑うという表れであろう。

因みに「笑う」と「笑わせる」ことの関係性はどうか。つまり「自分がよく笑うタイプでありながら人を笑わせるのも得意」ということである。(表㉔)



表㉔ あなた自身はよく笑うタイプですか？×笑わせるのは得意ですか？

| 2016 |        | 苦手 |    |    |    | 得意 |  |        |
|------|--------|----|----|----|----|----|--|--------|
|      | Q9/Q12 | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |  |        |
| 笑わない | 1      | 3  |    |    | 1  | 1  |  | 33     |
|      | 2      | 17 | 13 | 6  | 1  |    |  | 7.04%  |
|      | 3      | 18 | 27 | 42 | 3  | 1  |  |        |
|      | 4      | 19 | 48 | 67 | 22 | 1  |  | 74     |
| 笑う   | 5      | 19 | 32 | 77 | 32 | 19 |  | 15.78% |
| 2017 |        | 苦手 |    |    |    | 得意 |  |        |
|      | Q9/Q12 | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |  |        |
| 笑わない | 1      | 2  |    | 1  |    |    |  | 24     |
|      | 2      | 10 | 12 | 6  |    | 2  |  | 6.50%  |
|      | 3      | 5  | 24 | 30 | 3  | 1  |  |        |
|      | 4      | 8  | 32 | 58 | 18 | 3  |  | 68     |
| 笑う   | 5      | 12 | 32 | 63 | 27 | 20 |  | 18.43% |
| 2018 |        | 苦手 |    |    |    | 得意 |  |        |
|      | Q9/Q12 | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |  |        |
| 笑わない | 1      | 2  | 1  |    |    |    |  | 23     |
|      | 2      | 7  | 13 | 9  | 2  | 1  |  | 5.50%  |
|      | 3      | 12 | 33 | 34 | 5  | 3  |  |        |
|      | 4      | 9  | 36 | 52 | 14 | 3  |  | 63     |
| 笑う   | 5      | 13 | 53 | 70 | 26 | 20 |  | 15.07% |
| 2018 |        | 苦手 |    |    |    | 得意 |  |        |
|      | Q9/Q12 | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |  |        |
| 笑わない | 1      | 2  | 1  |    |    |    |  | 23     |
|      | 2      | 7  | 13 | 9  | 2  | 1  |  | 5.50%  |
|      | 3      | 12 | 33 | 34 | 5  | 3  |  |        |
|      | 4      | 9  | 36 | 52 | 14 | 3  |  | 63     |
| 笑う   | 5      | 13 | 53 | 70 | 26 | 20 |  | 15.07% |

3 か年で 2017 年が 18.43% と高かったものの、平均で 15.07% が「自分もよく笑い、かつ、人を笑わせるのが得意」と言うことである。「笑わせる」だけでなく「自分も笑う」ということは、円滑なコミュニケーションを図る上では非常に好ましいことである。

### 3. 芸能と「笑い」

#### 3-1 古典芸能への理解

古典芸能を理解することは文化の継承はもとより、伝統的に受け継がれた「言葉遊び」や「洒落」を理解することでもあり、日本固有の伝統的な「笑い」、換言すれば途絶えることのない「日本の普遍的な笑い」が解るということである

そこで、古典芸能と言われるものに対する経験（接触）の差異を調べた結果が以下の表である。  
(表㉕)



表㉗ あなたは以下に挙げた芸能を授業（過去も含めて）以外で見たことがありますか？

| 2016 |      |      | 1          | 2          | 3          | 4          | 5        |      |
|------|------|------|------------|------------|------------|------------|----------|------|
|      | 落語   | 全くない | 149(31.1%) | 112(23.4%) | 107(22.3%) | 94(19.6%)  | 17(3.5%) | よくある |
|      | 能・狂言 | 全くない | 269(56.4%) | 93(19.5%)  | 72(15.1%)  | 37(7.8%)   | 6(1.3%)  | よくある |
|      | 歌舞伎  | 全くない | 273(57.4%) | 95(20%)    | 70(14.7%)  | 30(6.3%)   | 8(1.7%)  | よくある |
|      | 文楽   | 全くない | 274(57.4%) | 95(20%)    | 71(14.9%)  | 31(6.5%)   | 6(1.3%)  | よくある |
| 2017 |      |      | 1          | 2          | 3          | 4          | 5        |      |
|      | 落語   | 全くない | 150(39.8%) | 63(16.7%)  | 85(22.5%)  | 62(16.4%)  | 17(4.5%) | よくある |
|      | 能・狂言 | 全くない | 236(62.6%) | 65(17.2%)  | 53(14.1%)  | 16(4.2%)   | 7(1.9%)  | よくある |
|      | 歌舞伎  | 全くない | 247(65.5%) | 58(15.4%)  | 52(13.8%)  | 13(3.5%)   | 7(1.9%)  | よくある |
| 2018 |      |      | 1          | 2          | 3          | 4          | 5        |      |
|      | 落語   | 全くない | 191(44.5%) | 74(17.2%)  | 85(19.8%)  | 60(14.1%)  | 19(4.4%) | よくある |
|      | 能・狂言 | 全くない | 293(68.5%) | 66(15.4%)  | 50(11.7%)  | 16(3.7%)   | 3(0.7%)  | よくある |
|      | 歌舞伎  | 全くない | 281(66%)   | 74(17.4%)  | 47(11%)    | 17(4%)     | 7(1.6%)  | よくある |
| 合計   |      |      | 1          | 2          | 3          | 4          | 5        |      |
|      | 落語   | 全くない | 490(38.4%) | 249(19.5%) | 277(21.7%) | 216(16.9%) | 43(3.4%) | よくある |
|      | 能・狂言 | 全くない | 798(62.2%) | 224(17.5%) | 175(13.7%) | 69(5.4%)   | 16(1.2%) | よくある |
|      | 歌舞伎  | 全くない | 801(62.6%) | 227(17.7%) | 169(13.2%) | 60(4.7%)   | 22(1.7%) | よくある |

3 か年平均で「歌舞伎」「文楽（2016 年のみ）」「能・狂言」とも見たことが「よくある」は 10% にも満たないが、「落語」でも「当てはまる」が 20.3% と決して好ましい結果ではなかった。

### 3-2 「笑い」の傾向

まずは「以下の 3 つの『笑い』パターンの中であなたが好きなものはどれですか？」（表㉘）と問うてみた。

表㉘ 以下の 3 つの『笑い』パターンの中であなたが好きなものはどれですか？（複数回答）

| 2016 | 1 | 一発ギャグ系        | 109(20.4%)  |
|------|---|---------------|-------------|
|      | 2 | 音楽ネタ系         | 113(21%)    |
|      | 3 | ダジャレや言葉の掛け合い系 | 312(58.4%)  |
| 2017 | 1 | 一発ギャグ系        | 114(25.3%)  |
|      | 2 | 音楽ネタ系         | 86(19.1%)   |
|      | 3 | ダジャレや言葉の掛け合い系 | 251(55.7%)  |
| 2018 | 1 | 一発ギャグ系        | 120(24.1%)  |
|      | 2 | 音楽ネタ系         | 97(19.5%)   |
|      | 3 | ダジャレや言葉の掛け合い系 | 281(56.4%)  |
| 合計   | 1 | 一発ギャグ系        | 463(27.3%)  |
|      | 2 | 音楽ネタ系         | 393(20.1%)  |
|      | 3 | ダジャレや言葉の掛け合い系 | 1095(56.1%) |



「笑い」のパターン例が3つだけなので結論付けはできないが、「一発ギャグ系」や「音楽ネタ系」は好みの差が大きく、それに比べて「ダジャレや言葉の掛け合い系」を好む者が半数を超えていることがわかった。

次は笑芸のジャンルに関する設問である。

「あなたは下に挙げた『お笑い』の中でどれが一番好きですか？」(表②)

表② あなたは下に挙げた「お笑い」の中でどれが一番好きですか？

|      |   |           |  |            |
|------|---|-----------|--|------------|
| 2016 | 1 | 落語        |  | 13(2.7%)   |
|      | 2 | 漫才        |  | 181(38.3%) |
|      | 3 | コント       |  | 107(22.6%) |
|      | 4 | ピン芸人(1人芸) |  | 10(2.1%)   |
|      | 5 | バラエティー番組  |  | 138(29.2%) |
|      | 6 | 特になし      |  | 24(5.1%)   |
| 2017 | 1 | 落語        |  | 6(1.7%)    |
|      | 2 | 漫才        |  | 130(35.8%) |
|      | 3 | コント       |  | 73(20.1%)  |
|      | 4 | ピン芸人(1人芸) |  | 9(2.5%)    |
|      | 5 | バラエティー番組  |  | 129(35.5%) |
|      | 6 | 特になし      |  | 16(4.4%)   |
| 2018 | 1 | 落語        |  | 9(1.8%)    |
|      | 2 | 漫才        |  | 148(30.3%) |
|      | 3 | コント       |  | 125(25.6%) |
|      | 4 | ピン芸人(1人芸) |  | 18(3.7%)   |
|      | 5 | バラエティー番組  |  | 165(33.8%) |
|      | 6 | 特になし      |  | 23(4.7%)   |
| 合計   | 1 | 落語        |  | 28(2.1%)   |
|      | 2 | 漫才        |  | 459(34.7%) |
|      | 3 | コント       |  | 305(23%)   |
|      | 4 | ピン芸人(1人芸) |  | 37(2.8%)   |
|      | 5 | バラエティー番組  |  | 432(32.6%) |
|      | 6 | 特になし      |  | 63(4.8%)   |

上位3位は2018年が他年と違うものの「漫才」「バラエティー」「コント」と想定通りの結果である。これらは「ダジャレや言葉の掛け合い系」であり、前出の「以下の3つの『笑い』パターン」の中であなたが好きなものはどれですか？」(表②)の結果を裏付けている。



#### 4. 言葉と笑い

前項の「笑い」の傾向を受ける形で、ほんの数例ではあるが言葉遊びの理解度を試してみた。昔ながらの「しゃれことば」と単純な「ダジャレ」である。(表③⑩)

「次に挙げた冗談（言葉遊び）のうち、面白いとおもったものに◎、理解できたが面白くないものに○、理解できなかったものに×を記入してください」

|                         |
|-------------------------|
| 1、ウサギの逆立ちや！ → 耳が痛い      |
| 2、ゆがんだ松の木や！ → 走らにやならぬ   |
| 3、男の子が池にはまった → ぼっちゃーん   |
| 4、隣の家に囲いができたで → ヘー      |
| 5、この井戸は深いかな？ → ほんのソコまでや |

結果は以下の通りである。

表③⑩次に挙げた冗談のうち、面白いと思ったものに◎、理解できたが面白くないものに○

| 2016 |   | ◎  | ○   | ×   |
|------|---|----|-----|-----|
|      | 1 | 6  | 107 | 314 |
|      | 2 | 11 | 95  | 320 |
|      | 3 | 64 | 278 | 86  |
|      | 4 | 40 | 290 | 98  |
|      | 5 | 49 | 249 | 131 |

| 2017 |   | ◎  | ○   | ×   |
|------|---|----|-----|-----|
|      | 1 | 7  | 90  | 232 |
|      | 2 | 5  | 68  | 257 |
|      | 3 | 51 | 221 | 55  |
|      | 4 | 32 | 226 | 70  |
|      | 5 | 50 | 197 | 78  |

| 2018 |   | ◎  | ○   | ×   |
|------|---|----|-----|-----|
|      | 1 | 13 | 95  | 279 |
|      | 2 | 6  | 86  | 292 |
|      | 3 | 38 | 253 | 96  |
|      | 4 | 30 | 249 | 103 |
|      | 5 | 33 | 223 | 128 |



それぞれの言い草の理解度を見てみると以下ようになった。

1、ウサギの逆立ちや！（小言を言われたときに使う）→耳が痛い

|      | 面白いと思った   | 理解できたが面白くない | 理解できなかった    |
|------|-----------|-------------|-------------|
| 2016 | 6(1.41%)  | 107(25.06%) | 314(73.54%) |
| 2017 | 7(2.13%)  | 90(27.36%)  | 232(70.52%) |
| 2018 | 13(3.36%) | 95(24.55%)  | 279(72.09%) |

2、ゆがんだ松の木や！（急いでいるときに使う）→走（はし）らにゃならぬ

|      | 面白いと思った   | 理解できたが面白くない | 理解できなかった    |
|------|-----------|-------------|-------------|
| 2016 | 11(2.58%) | 95(22.30%)  | 320(75.12%) |
| 2017 | 5(1.52%)  | 68(20.61%)  | 257(77.88%) |
| 2018 | 6(1.56%)  | 86(22.40%)  | 292(76.04%) |

3、A「男の子が池にはまったらどんな音がする？」 B「ぼっちゃ〜ん！」

|      | 面白いと思った    | 理解できたが面白くない | 理解できなかった   |
|------|------------|-------------|------------|
| 2016 | 64(14.95%) | 278(64.95%) | 86(20.09%) |
| 2017 | 51(15.60%) | 221(67.58%) | 55(16.82%) |
| 2018 | 38(9.82%)  | 253(65.37%) | 96(24.81%) |

4、A「隣の家に囲いができたで」 B「へー」

|      | 面白いと思った   | 理解できたが面白くない | 理解できなかった    |
|------|-----------|-------------|-------------|
| 2016 | 40(9.35%) | 290(67.76%) | 98(22.90%)  |
| 2017 | 32(9.76%) | 226(68.90%) | 70(21.34%)  |
| 2018 | 30(7.85%) | 249(65.18%) | 103(26.96%) |

5、A「この井戸は深いか？」 B「ほんのソコまでや」

|      | 面白いと思った    | 理解できたが面白くない | 理解できなかった    |
|------|------------|-------------|-------------|
| 2016 | 49(11.42%) | 249(58.04%) | 131(30.54%) |
| 2017 | 50(15.38%) | 197(60.62%) | 78(24.00%)  |
| 2018 | 33(8.59%)  | 223(58.07%) | 128(33.33%) |

| 合計 | 面白いと思った     | 理解できたが面白くない | 理解できなかった    |
|----|-------------|-------------|-------------|
| 1  | 26(2.27%)   | 292(25.55%) | 825(72.24%) |
| 2  | 32(2.78%)   | 249(21.65%) | 869(75.57%) |
| 3  | 153(13.40%) | 752(65.85%) | 237(20.75%) |
| 4  | 102(8.96%)  | 765(67.22%) | 271(23.81%) |
| 5  | 132(11.60%) | 669(58.79%) | 337(29.61%) |

擬音系のダジャレには理解を示すものの「面白くない」という反応であり、古典的な所謂「言いぐさ」は理解ができないようだ。特に1の「ウサギの逆立ちで、耳が痛い」の「耳が痛い」という



こと自体が理解できていないのであり、また、「ウサギの逆立ち」という状況を真面目にとらえず  
ぎて、「譬えの洒落」というものが最早理解されないのである。

いずれにせよ、これだけの例で軽々に判断はできないが、日常の環境の変化や語彙の多少が「言  
葉遊び」に大きく影響を与えていることは間違いのないであろう。「駄洒落」の様な日本語の特質で  
ある「同音異義」を楽しむようなものは、語彙の引き出しが必用であり、文字離れが進む今日ま  
ます理解されなくなってゆくのであろう。

## まとめ

ここで、今一度このアンケート調査の目的を確認しておく。「ユーモアを解したコミュニケーション  
ン能力のある人材育成のための教育プログラムの研究」に資することである。ここで言う「ユー  
モア」はこの際敢えて「笑い」と同義語として捉えることにして、果たして追大生は「人を笑せる  
ようになりたい」と思っているのだろうか。(表㉑)

表㉑ 人を笑せられるようになりたい

| 2016 | 思わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | なりたい |
|------|------|-------|--------|--------|--------|--------|------|
|      |      | 34    | 58     | 147    | 140    | 100    |      |
|      |      | 7.10% | 12.10% | 30.70% | 29.20% | 20.90% |      |
| 2017 | 思わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | なりたい |
|      |      | 19    | 47     | 104    | 102    | 98     |      |
|      |      | 5.10% | 12.70% | 28.10% | 27.60% | 26.50% |      |
| 2018 | 思わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | なりたい |
|      |      | 23    | 51     | 140    | 107    | 103    |      |
|      |      | 5.4%  | 12.0%  | 33.0%  | 25.2%  | 24.3%  |      |
| 合計   | 思わない | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | なりたい |
|      |      | 76    | 156    | 391    | 349    | 301    |      |
|      |      | 6.20% | 12.40% | 29.60% | 28.50% | 23.30% |      |

| なりたい |              | 思わない |              |
|------|--------------|------|--------------|
| 2016 | 240人 (50.1%) | 2016 | 92人 (19.2%)  |
| 2017 | 200人 (54.1%) | 2017 | 66人 (17.8%)  |
| 2018 | 210人 (49.5%) | 2018 | 74人 (17.5%)  |
| 合計   | 650人 (51.1%) | 合計   | 232人 (18.2%) |

2016 年 50.1%、2017 年は 54.1%、2018 年は 49.5% と平均で半数以上の学生が「人を笑わせるよ  
うになりたい」と望んでいることがわかった。基本的には「笑わせたい願望」はあると考えてよ  
い。

ここで前出の設問「人を笑わせるのは得意ですか？」(表㉒)を振り返ってもらいたい。この設  
問対して 1、2 の回答、つまり「苦手」と答えた学生の「あなたは人を笑わせたいと思いますか？」  
の答えとの関係を見てみると(表㉓)人を笑わせるのが苦手と思っている者でも、人を笑わせたい  
気持ちは弱くはないということが見て取れる。



表③② 人を笑わせるのは得意ですか？×あなたは人を笑わせたいと思いますか？

| 2016 |         | 思わない |    |     |     | 笑わせたい |        |
|------|---------|------|----|-----|-----|-------|--------|
|      | Q12/Q14 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5     |        |
| 苦手   | 1       | 16   | 10 | 21  | 12  | 8     | 52     |
|      | 2       | 2    | 24 | 38  | 39  | 13    | 14.73% |
|      | 3       | 1    | 6  | 51  | 32  | 26    |        |
|      | 4       |      | 1  | 6   | 12  | 20    | 46     |
| 得意   | 5       |      |    | 1   |     | 14    | 13.03% |
| 2017 |         | 思わない |    |     |     | 笑わせたい |        |
|      | Q12/Q14 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5     |        |
| 苦手   | 1       | 3    | 10 | 11  | 6   | 5     | 37     |
|      | 2       | 4    | 20 | 37  | 27  | 10    | 13.65% |
|      | 3       |      | 4  | 33  | 30  | 17    |        |
|      | 4       |      | 1  | 1   | 16  | 12    | 51     |
| 得意   | 5       |      |    | 1   | 3   | 20    | 18.82% |
| 2018 |         | 思わない |    |     |     | 笑わせたい |        |
|      | Q12/Q14 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5     |        |
| 苦手   | 1       | 11   | 4  | 18  | 4   | 4     | 42     |
|      | 2       | 3    | 24 | 55  | 25  | 19    | 13.21% |
|      | 3       | 1    | 1  | 39  | 45  | 21    |        |
|      | 4       |      | 3  | 1   | 13  | 13    | 40     |
| 得意   | 5       |      |    |     | 2   | 12    | 12.58% |
| 合計   |         | 思わない |    |     |     | 笑わせたい |        |
|      | Q12/Q14 | 1    | 2  | 3   | 4   | 5     |        |
| 苦手   | 1       | 30   | 24 | 50  | 22  | 17    | 131    |
|      | 2       | 9    | 68 | 130 | 91  | 42    | 13.91% |
|      | 3       | 2    | 11 | 123 | 107 | 64    |        |
|      | 4       |      | 5  | 8   | 41  | 45    | 137    |
| 得意   | 5       |      |    | 2   | 5   | 46    | 14.54% |

「人を笑わせるのが苦手だ笑わしたいと思わない」のが3か年平均で131人（13.91%）に対して「人を笑わせるのが苦手だが笑わせたい」のが172人（18.26%）で、苦手でも笑わせたい願望はあるのだ。

さて、大阪人の「オチ無いのん？」と何にでも笑いを求めるステレオタイプをどう思っているのだろうか。

そこで最後の設問はズバリ「なんでも『笑い』にしようとする大阪気質は？」は好きか嫌いかである。（表③③）

表③③ なんでも「笑い」にしようとする大阪気質は？

| 2016 | 嫌い | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 大好き |
|------|----|-------|--------|--------|--------|--------|-----|
|      |    | 21    | 53     | 127    | 144    | 134    |     |
|      |    | 4.40% | 11.10% | 26.50% | 30.10% | 28.00% |     |
| 2017 | 嫌い | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 大好き |
|      |    | 18    | 18     | 110    | 110    | 115    |     |
|      |    | 4.90% | 4.90%  | 29.60% | 29.60% | 31.00% |     |
| 2018 | 嫌い | 1     | 2      | 3      | 4      | 5      | 大好き |
|      |    | 12    | 26     | 129    | 134    | 123    |     |
|      |    | 2.8%  | 6.1%   | 30.4%  | 31.6%  | 29.0%  |     |



| 大好き  |              | 嫌い   |              |
|------|--------------|------|--------------|
| 2016 | 278人 (58.1%) | 2016 | 74人 (15.5%)  |
| 2017 | 225人 (60.6%) | 2017 | 36人 (9.8%)   |
| 2018 | 257人 (60.6%) | 2018 | 38人 (9.0%)   |
| 合計   | 760人 (59.7%) | 合計   | 148人 (11.6%) |

2016 年は 479 人中 58.1% の 278 人が、2017 年は 371 人中 60.6% の 225 人が、2018 年は 424 人中 257 人 60.6% が、平均で 59.7% と約 6 割の学生が「大好き」つまり「なんでも『笑い』にしようとする大阪気質」が好きなのである。

因みに、3 年間の回答者の出身が大阪か大阪以外かは下表を参照願いたい。

|      | 大阪出身 | 大阪以外 | 合計   |
|------|------|------|------|
| 2016 | 252  | 230  | 482  |
| 2017 | 191  | 186  | 377  |
| 2018 | 230  | 202  | 432  |
| 合計   | 673  | 618  | 1291 |

これまで 3 年間の調査結果を見てきたが、すべての設問で大きな差は見られなかった。

追大生の約 6 割がよく喋り、7 割以上が友人とよく喋り、約 6 割は家族とよく喋るという好ましい結果が出たものの、大勢の前では自信が減少し、喋ることができなくなる学生が多いということも浮き彫りになった。

親しい相手ではなくとも、また、大勢の前であろうとも臆さず喋ることができるようになることが重要である。これは話し方の上手下手の問題ではなく、度胸の問題である。度胸をつけるには自信を持つ必要がある。

一方、ユーモアの心を育てるには、「笑い」に対する理解が不可欠である。また、日常に活かせる「笑い」は「言葉遊び」に多くの手本がある。しかし、それを理解するためには「語彙力」が必要である。

授業で音読をさせても漢字が読めない、熟語を知らない、声が小さい、つまり自信を持って読むことができない学生が目立つ。言葉に対する興味がなく、知らないことを恥ずかしいことと思わず、知ろうとすることへの意欲が感じられない学生が多い。コミュニケーションのスタートはここからではないだろうか。つまり、言葉に興味を持ち、人に興味を持ち、自分に自信が持てるようになる教育方法を考える必要がある。

いずれにせよ、この結果が追大生だけの特徴を表しているのか、今の若者全般にあてはまるのか引き続き追大生を対象に経年調査を行うとともに他大学生を対象に調査する必要もあるだろう。



付録

## 3年間の調査対象学生出身地

|     |     |      |        |
|-----|-----|------|--------|
| 大阪府 | 673 | 東京都  | 3      |
| 兵庫県 | 228 | 三重   | 3      |
| 京都府 | 118 | 沖縄県  | 2      |
| 滋賀県 | 71  | 熊本県  | 2      |
| 奈良県 | 53  | 群馬県  | 2      |
| 和歌山 | 17  | 神奈川県 | 2      |
| 愛媛県 | 11  | 長崎県  | 2      |
| 高知県 | 11  | 長野県  | 2      |
| 広島県 | 9   | 鳥取   | 2      |
| 岡山県 | 8   | 茨城県  | 1      |
| 徳島県 | 6   | 香港   | 1      |
| 福岡県 | 6   | 佐賀県  | 1      |
| 愛知県 | 5   | 鹿児島県 | 1      |
| 香川県 | 5   | 新潟県  | 1      |
| 福井県 | 5   | 青森県  | 1      |
| 静岡県 | 4   | 千葉県  | 1      |
| 石川県 | 4   | 大分県  | 1      |
| 中国  | 4   | 栃木県  | 1      |
| 北海道 | 4   | 不明   | 20     |
|     |     |      | 計1291人 |



## 追手門学院大学・笑学研究所「笑いに」関するアンケート

このアンケートは、追手門学院大学「笑学研究所」が本学の学生を対象に行う「笑者の笑い」に関する基礎調査です。「笑う」という行動、「笑わせる」という行為など、円滑なコミュニケーション活動にとって大変重要な要素である「笑い」に関する調査の資料として、またコミュニケーションスキルアップのためのプログラム開発に活かすべく実施しますので、よく考えて回答にご協力ください。

| 見性  | 天性                                                                                                                                                                                                                                                                       | 年齢      | 性別 | 学部 | 出身地 | 都・道・府・市 | 市 |           |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----|----|-----|---------|---|-----------|
| Q1  | あなたはよく笑うタイプですか？                                                                                                                                                                                                                                                          | 無口      | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よく笑う      |
| Q2  | あなたは笑顔を顔で出せるのは得意ですか？                                                                                                                                                                                                                                                     | 苦手      | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | 得意        |
| Q3  | 友人とよく語り合いますか？                                                                                                                                                                                                                                                            | 得意      | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よく笑う      |
| Q4  | 家族とよく語り合いますか？                                                                                                                                                                                                                                                            | 得意      | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よく笑う      |
| Q5  | 楽しい家族ですか？                                                                                                                                                                                                                                                                | そうは思わない | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | とても楽しい家族だ |
| Q6  | 家族を笑わせますか？                                                                                                                                                                                                                                                               | 笑わせない   | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | 笑わせる      |
| Q7  | あなたはよく冗談を言いますか？                                                                                                                                                                                                                                                          | 言わない    | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よく言う      |
| Q8  | (Q7で3、4、5を選んだ方のみお答えください)<br>Q7を言う場合、その場の空気をよく考えますか？                                                                                                                                                                                                                      | 考えない    | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よく考える     |
| Q9  | あなたはよく笑うタイプですか？                                                                                                                                                                                                                                                          | 笑わない    | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よく笑う      |
| Q10 | (Q8で3、4、5を選んだ方のみお答えください)<br>Q9というように笑いますか？なるべく具体的に回答してください                                                                                                                                                                                                               |         |    |    |     |         |   |           |
| Q11 | あなたは自分たちが得意ですか？                                                                                                                                                                                                                                                          | 得意      | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | 得意        |
| Q12 | 人を笑わせるのは得意ですか？                                                                                                                                                                                                                                                           | 得意      | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | 得意        |
| Q13 | (Q12で3、4、5を選んだ方のみお答えください)<br>Q12を言うとき、その場の空気をよく考えますか？                                                                                                                                                                                                                    | 考えない    | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よく考える     |
| Q14 | (Q12で1、2、3を選んだ方のみお答えください)<br>Q12を言うとき、その場の空気をよく考えますか？                                                                                                                                                                                                                    | 考えない    | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よく考える     |
| Q15 | あなたは人の笑顔を好みますか？                                                                                                                                                                                                                                                          | 好まない    | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | 好む        |
| Q16 | あなたは以下に挙げた言葉(言葉遊び)を面白く感じますか？                                                                                                                                                                                                                                             | 全くない    | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よくある      |
| Q17 | 以下の3つの「笑い」のシーンの中であなたが好きなものはどれですか？(複数回答可)<br>1. 一語ギャグ系 2. 言葉遊び系 3. ダジャレや言葉の掛け合い系                                                                                                                                                                                          | 全くない    | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よくある      |
| Q18 | あなたは以下に挙げた「お笑い」の中でどれが一番好きですか？<br>1. 落語 2. 漫才 3. コメディ 4. ビンゴ(人形) 5. パラダイム系 6. 特になし                                                                                                                                                                                        | 全くない    | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よくある      |
| Q19 | あなたは喜劇映画を見ますか？(テレビ、映画どちらでも可)                                                                                                                                                                                                                                             | 全く見ない   | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | よく見る      |
| Q20 | (Q18で3、4、5を選んだ方のみお答えください)<br>Q20は喜劇映画の要素あるものはギャグを具体的に回答してください                                                                                                                                                                                                            |         |    |    |     |         |   |           |
| Q21 | あなたが好きな「お笑い」のベスト3を挙げてください<br>1. 2. 3.                                                                                                                                                                                                                                    |         |    |    |     |         |   |           |
| Q22 | 次に挙げた言葉(言葉遊び)のうち、面白くないと思ったものに○、理解できなかったものに△、面白くないものに□、理解できなかったものに×を口の中に記入してください<br>1. □ ウサギの頭立ちや(小豆を言われたときに笑う)一語が面白い<br>2. □ 伊がんだ徳の家や(「悪い悪い」といって言う)一語が面白い<br>3. □ A「男の子が可愛いわねえたらどんな男がするぞ」 B「ほっとくーん！」<br>4. □ A「男の子が可愛いわねえたらどんな男がするぞ」 B「へー」<br>5. □ A「この男は可愛いぞ」 B「ほんのこまぞ」 |         |    |    |     |         |   |           |
| Q23 | 人を笑わせるのが好きですか？                                                                                                                                                                                                                                                           | そうは思わない | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | とても好き     |
| Q24 | なんでも「笑い」にしようとする気持ちはありますか？                                                                                                                                                                                                                                                | 嫌い      | 1  | 2  | 3   | 4       | 5 | 大好き       |

ご協力ありがとうございました  
追手門学院大学・笑学研究所



## 2019 年度笑学研究所活動記録

### 2019 年

- 4 月25日 第 1 回所員会議 於：本学研究所
- 6 月13日 第 2 回所員会議 於：本学研究所
- 7 月11日 第 3 回所員会議 於：本学研究所
- 8 月20日 研究会（発表者：木村未来、瀬沼文彰、大谷邦郎）
- 8 月22日 宮水学園 教養講座（於：西宮市民会館アミティホール）  
「笑いとコミュニケーション」講師：高垣伸博
- 9 月19日 第 4 回所員会議 於：本学研究所
- 10月24日 第 5 回所員会議 於：本学研究所
- 11月10日 日本笑い学会オープン講座（於：関西大学梅田キャンパス）  
「スポーツ場面での笑い」講師：辰本頼弘
- 11月14日 第 6 回所員会議 於：本学研究所
- 12月12日 第 7 回所員会議 於：本学研究所

### 2020 年

- 1 月 9 日 第 8 回所員会議 於：本学研究所
- 1 月29日 「笑学」授業成果発表会 於：学校法人柳学園 蒼開高等学校  
講評：高垣伸博
- 2 月 6 日 第 9 回所員会議 於：本学研究所
- 3 月12日 第 10 回所員会議 於：本学研究所

### メディア掲載

- ・「洪野日向子の“武器”スマイル 科学的にもパフォーマンス向上の研究結果 専門家『プレーに良い影響与える循環作る』」（夕刊フジ 2019. 8. 8）
- ・「伝える力 お笑いで培う 洲本 コントや漫才 高校生挑戦＝兵庫」（大阪読売新聞 2020. 2. 2）

## 2019 年度笑学研究所所員および研究員一覧

|         |       |                                                        |
|---------|-------|--------------------------------------------------------|
| 所 長     | 高垣 伸博 | 国際教養学部 教授（マスコミ論、放送演芸論）                                 |
| 副 所 長   | 木村 英樹 | 追手門学院大学 客員教授                                           |
| 所 員     | 浦 光博  | 心理学部 学部長・教授（社会心理学）                                     |
| 所 員     | 真銅 正宏 | 追手門学院大学 副学長、国際教養学部教授（日本近現代文学）                          |
| 所 員     | 辰本 頼弘 | 社会学部 教授（スポーツ科学）                                        |
| 所 員     | 広瀬 依子 | 国際教養学部 講師（上方芸能、伝統芸能）                                   |
| 所 員     | 横田 修  | 社会学部 准教授（演技・演劇教育論）                                     |
| 客員研究員   | 大坂 幸司 | 株式会社日本旅行勤務、追手門学院大学校友会理事                                |
| 客員研究員   | 大谷 邦郎 | グッドニュース情報発信塾塾長、NPO 法人発達障害を持つ大人の会（DDAC）監事、元・MBS ラジオ報道部長 |
| 客員研究員   | 木村 未来 | 国際教養学部 非常勤講師、元・読売新聞文化芸術部記者                             |
| 客員研究員   | 瀬沼 文彰 | 西武文理大学兼任講師、桜美林大学非常勤講師、日本笑い学会理事                         |
| 客員研究員   | 鳶野 克己 | 立命館大学 教授、日本笑い学会副会長                                     |
| 客員研究員   | 福山 侑希 | 藍野花園病院 臨床心理士                                           |
| 特 別 顧 問 | 坂井東洋男 | 追手門学院大学学事顧問、元学長                                        |
| 特 別 顧 問 | 西上 雅章 | 通天閣観光（株） 代表取締役会長、追手門学院大学客員教授                           |

# 追手門学院大学笑学研究所規程

2015 年 9 月 4 日

制定

(設置)

第 1 条 追手門学院大学学則第 58 条に基づき、追手門学院大学（以下「本学」という。）に、笑学研究所（以下「研究所」という。）を設置する。

(目的)

第 2 条 研究所は、本学の総合大学としての学問的蓄積を生かし、人類の誇りうる能力であり文化である笑いを対象にした、総合的な学問研究を発展させることを目的とする。

(事業)

第 3 条 研究所は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 笑いとユーモアの文化に関する研究
- (2) 笑いを活用した教育プログラムに関する研究
- (3) 上方芸能に関する研究
- (4) 笑いに関する図書及び資料等の情報収集並びに提供に関すること。
- (5) 笑いに関する教材等の編纂並びに出版物の刊行に関すること。
- (6) 研究会および講演会・シンポジウム等の開催
- (7) その他研究所の運営に関すること。

(所長)

第 4 条 研究所に、所長を置く。

- 2 所長は、学長の推薦により常任理事会の議を経て学長が任命する。
- 3 所長は、研究所を代表し、研究所の運営を統括する。
- 4 所長の任期は、4 月 1 日から 2 年間とし、年度の途中で任命された場合は、就任した年度の翌年度の 4 月 1 日から起算して 2 年を経過する日までを任期とする。ただし、再任を妨げない。

(副所長)

第 5 条 研究所に、副所長を置くことができる。

- 2 副所長は、所長の推薦により、学長が任命する。
- 3 副所長は、所長を補佐し、所長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 4 副所長の任期は、4 月 1 日から 2 年間とし、年度の途中で任命された場合は、就任した年度の翌年度の 4 月 1 日から起算して 2 年を経過する日までを任期とする。ただし、再任を妨げず、所長の終期を超えることができない。

(所員)

第 6 条 研究所に、所員を置くことができる。

- 2 所員は、大学の専任教職員の中から、第2条の目的を達成するために必要な専門性を有する者を所長が推薦し、学長が委嘱する。ただし、任期は2年とし、再任を妨げない。

(客員研究員)

第7条 研究所に、客員研究員を置くことができる。

- 2 客員研究員は、学外の有識者の中から、第2条の目的を達成するために必要と判断される者を所長が推薦し、学長が委嘱する。ただし、任期は1年とし、再任を妨げない。

(特別顧問)

第8条 研究所に、特別顧問を置くことができる。

- 2 特別顧問は、所長の推薦により学長が任命する。  
3 特別顧問は、研究所の事業推進について所長に助言等を与える。

(事務の所管)

第9条 研究所の事務は、研究・社会連携課の所管とする。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、大学教育研究評議会の議を経て学長が決定する。

附 則

この規程は、2015年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、2016年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2019年4月1日から施行する。

---

## 追手門学院大学笑学研究所年報 第5号

2020年3月30日発行

発行者：追手門学院大学笑学研究所

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番地15号

TEL：072-665-5024

印刷所：協和印刷株式会社

〒615-0052 京都市右京区西院清水町13

TEL：075-312-4010

---